下の原A遺跡

株式会社中村の事務所及び倉庫建設に
先立つ埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書

2022年3月

長野県飯田市教育委員会

下の原A遺跡　正誤表

頁	図	番号	誤	正
60	第7図	15	土坑777	土坑776
60	第7図	17	土坑779	土坑778
63	第10図	25	土坑1008	土坑1068
64	第11図	タイトル	遺物	土器
64	第11図	36・37	土坑1161	土坑1164
67	第14図	30	遺構外	土坑742
67	第14図	タイトル	1～38	1～29　31～38
72	第19図	12・13	―	土坑1040
73	第20図	11	土坑1151	土坑1157

序

私たちの飯田市は美しく豊かな自然に恵まれ、古くから多くの先人たちの足跡が市内各所に刻まれ、伝統文化と厚い人情味にあふれたまちです。平成29年度からスタートした飯田市の総合計画、いいだ未来デザイン2028はリニア中央新幹線開通の翌年にあたる2028年に、みんなで実現したい「くらしの姿」「まちの姿」をビジョンとして掲げ、その実現に向けて多様な主体がそれぞれの立場で「飯田の未来づくり」にチャレンジするための指針として策定しました。その基本目標４、およびいいだ未来デザイン2028の分野別計画である第２次飯田市教育振興基本計画の中期４年の重点目標には、「豊かな『学びの土壌』を活かした『学習と交流』を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む」を掲げています。

下の原Ａ遺跡が所在する伊賀良地区は、古代東山道の育良駅家推定地があり、平安時代には高燥な台地上の開発が進み、伊賀良庄として荘園が置かれました。鎌倉時代には北条氏の一族、そして信濃国守護職小笠原氏が勢力伸長の基盤とした、重要な役割を果たした地域です。また、江戸時代には佐竹蓬平や鈴木芙蓉といった画家を輩出した地域でもあります。古来豊かな歴史･文化を育んできた地といえます。

一方、多くの地方都市にみられるように、飯田市でも近年主要幹線道路の整備とともに市街地が拡大し、店舗・事業所が郊外に移転するなど、中心市街地の空洞化が深刻な問題となっています。伊賀良地区は中央自動車道飯田インターチェンジが供用されてからこうした市街地化の波に早くから呑み込まれた地域の一つで、宅地化が著しく進行する一方、調査地点周辺は事業所の進出しており、人口も市内最大となっています。今回の開発もこうした時流に沿ったものであります。

しかし、一方で事業計画地は、埋蔵文化財包蔵地下の原Ａ遺跡の一画です。隣接地では、昭和62年度に工場建設に先立ち発掘調査が実施され、縄文時代中期・弥生時代後期のムラのあとが見つかっています。今回の発掘調査でも､竪穴建物や土坑とよばれるさまざまな形や大きさの穴などが調査されました。

調査した遺構のうち、溝状址と小穴の一部が時期不明となる他は、出土遺物から縄文時代中期に位置づくものです。この時期は、縄文時代のうちで規模が大きな集落が市内各地で調査されており、当地域が最も繁栄した時代ということができます。隣接するこれまでの調査地点で調査された竪穴建物とは時期を異にすること、また、600基を超える土坑が一面に分布していることから、本遺跡が当地域でも主要な集落の一つであったことが明らかになりました。

たゆみない文化財保護活動により、このような地域の歴史が次第に明らかになりつつありますが、調査記録をとどめた本報告書が活用されてはじめて、地区および市域の方々の財産として生命を与えられることになります。また、そうなることを切に望む次第です。

最後になりましたが、文化財保護の本旨にご理解を賜りご協力いただきました地元関係者の皆様、ならびに発掘調査に従事された方々に深甚なる感謝を捧げまして発刊の辞といたします。

2022年３月

飯田市教育委員会

教育長　　代田　昭久

例　　言

1．本書は民間開発に先立ち実施された、長野県飯田市下殿岡所在の下の原Ａ遺跡の緊急発掘調査報告書である。

2．調査は飯田市教育委員会が直営実施した。

3．調査は、平成３年度に現地作業、同４年度に整理作業、令和３年度に報告書作成作業を行った。

4．発掘作業・整理作業にあたり、遺跡略号ＴＳＨに地番を付し、ＴＳＨ454-10を一貫して用いた。

5．調査には以下の遺構略号を使用している。
　竪穴建物址－ＳＢ、溝址－ＳＤ、土坑－ＳＫ

6．本書の記載順は遺構別を優先し、遺構図は挿図とした。

7．土層の色調については、『新版標準土色帖』を用い、マンセル表示で示した。

8．本書に関わる図面の整理は、調査員・整理作業員の協力により馬場保之が行った。

9．本書の執筆と編集は馬場が行った。

10．本書に関連した出土遺物および図面・写真類は飯田市教育委員会が管理し、飯田市考古資料館・飯田市考古博物館に保管している。

本文目次

序
例言
目次
第Ⅰ章　経過 …… 1
　第１節　調査の経過 …… 1
　第２節　調査組織 …… 1
第Ⅱ章　遺跡の環境 …… 3
　第１節　自然環境 …… 3
　第２節　歴史環境 …… 3
第Ⅲ章　調査結果 …… 10
　第１節　調査区の設定 …… 10
　第２節　基本層序 …… 10
　第３節　遺構と遺物 …… 10
　　(1) 竪穴建物址 …… 10
　　(2) 竪穴 …… 15
　　(3) 土坑 …… 15
　　(4) 溝址・溝状址 …… 16
　　(5) 遺構外出土遺物 …… 16
第Ⅳ章　総括 …… 34
引用参考文献 …… 35
報告書抄録 …… 95

挿図目次

挿図１　調査地点位置図 …… 4
挿図２　調査遺跡および周辺遺跡位置図 …… 6
挿図３　調査区の設定 …… 8
挿図４　遺構全体図 …… 9
挿図５　竪穴建物址38 …… 11
挿図６　竪穴建物址39 …… 12
挿図７　竪穴建物址40 …… 13
挿図８　竪穴６～８ …… 14

挿図９　土坑平面図（１）…… 17・18
挿図10　土坑平面図（２）…… 19・20
挿図11　土坑平面図（３）…… 21・22
挿図12　土坑平面図（４）…… 23
挿図13　土坑平面図（５）…… 24
挿図14　土坑平面図（６）…… 25
挿図15　土坑平面図（７）…… 26
挿図16　土坑平面図（８）…… 27
挿図17　土坑平面図（９）…… 28
挿図18　土坑平面図(10)…… 29
挿図19　土坑平面図(11)…… 30
挿図20　土坑平面図(12)…… 31
挿図21　土坑平面図(13)…… 32

図版目次

第１図　下の原Ａ遺跡出土土器（１）…… 54
第２図　下の原Ａ遺跡出土土器（２）…… 55
第３図　下の原Ａ遺跡出土土器（３）…… 56
第４図　下の原Ａ遺跡出土土器（４）…… 57
第５図　下の原Ａ遺跡出土土器（５）…… 58
第６図　下の原Ａ遺跡出土土器（６）…… 59
第７図　下の原Ａ遺跡出土土器（７）…… 60
第８図　下の原Ａ遺跡出土土器（８）…… 61
第９図　下の原Ａ遺跡出土土器（９）…… 62
第10図　下の原Ａ遺跡出土土器(10)…… 63
第11図　下の原Ａ遺跡出土土器(11)…… 64
第12図　下の原Ａ遺跡出土土器(12)…… 65
第13図　下の原Ａ遺跡出土土器(13)…… 66
第14図　下の原Ａ遺跡出土土器(14)…… 67
第15図　下の原Ａ遺跡出土石器（１）…… 68
第16図　下の原Ａ遺跡出土石器（２）…… 69
第17図　下の原Ａ遺跡出土石器（３）…… 70
第18図　下の原Ａ遺跡出土石器（４）…… 71
第19図　下の原Ａ遺跡出土石器（５）…… 72
第20図　下の原Ａ遺跡出土石器（６）…… 73
第21図　下の原Ａ遺跡出土石器（７）…… 74
第22図　下の原Ａ遺跡出土石器（８）…… 75

表　目　次

第１表　土坑観察表…… 36～50
第２表　石器観察表…… 51～53

写真図版目次

図版１　遺構全景（南東から）　同（南西から）　調査区全景…… 77
図版２　竪穴建物址38　同炉　同遺物出土状況…… 78
図版３　竪穴建物址38遺物出土状況（P4脇）　竪穴建物址39　同炉…… 79
図版４　竪穴建物址39遺物出土状況　同P7遺物出土状況　同貯蔵穴…… 80
図版５　竪穴建物址40　同炉…… 81
図版６　竪穴建物址40炉　土坑625 ～ 631周辺　土坑799周辺…… 82
図版７　土坑827遺物出土状況　土坑835 ～ 844周辺　土坑971他 …… 83
図版８　土坑1001　土坑1097　1トレンチ（北西→南東）…… 84
図版９　3トレンチ（北西→南東）　重機作業風景　発掘作業風景…… 85
図版10　発掘作業風景　全体清掃…… 86
図版11　竪穴建物址38…… 87
図版12　竪穴建物址39…… 88
図版13　竪穴建物址39…… 89
図版14　竪穴建物址39　竪穴建物址40…… 90
図版15　土坑752　土坑827…… 91
図版16　土坑961　土坑1001　土坑1004 …… 92
図版17　土坑1004・遺構外　土坑1055　土坑1177…… 93
図版18　遺構外…… 94

第Ⅰ章　経　　過

第１節　調査の経過

飯田市下殿岡所在の埋蔵文化財包蔵地下の原Ａ遺跡（調査時の遺跡名は下原遺跡）において、民間の事務所・倉庫の建設が計画され、工事の施工前に発掘調査が必要かどうかの問い合わせが飯田市教育委員会にあった。そこで、建物位置が決定した時点で現地協議を行う旨を事業者計画者側に伝えた。

現地協議は、県教育委員会文化課・飯田市教育委員会社会教育課と事業者計画者の立会のもと実施した。協議の結果、用地内の試掘調査を行い、遺構・遺物の状況を把握し、再度協議することとした。

協議の結果を受け、遺構の分布状況を把握するための試掘調査に着手した。

平成３年10月５日に用地内に重機による試掘トレンチをあける作業に入った。試掘トレンチは用地内に「ロ」の字形に４本設定した。重機作業終了後、作業員を入れ、遺構の確認作業を実施した結果、竪穴建物址・土坑等の遺構を検出した。そこで、再度協議を実施し、建物部分については記録保存を行うため、発掘調査を実施することとなった。なお、建物部分から外れる試掘トレンチ部分についても、調査を実施するものとした。

調査はまず、建物部分以外のトレンチから始めた。この部分は10月９日から人力により各遺構を掘り下げ、写真撮影、測量等を行い10月22日に作業を終了した。引き続き、11月６日から建物部分の調査に入った。重機により表土を除去し、11日から並行して人力による遺構検出作業を行った。13日からは検出された遺構の掘り下げを行い、随時写真撮影、測量作業を実施した。12月25日に掘り下げ作業を終了した。ラジコンヘリによる全体写真の撮影、測量図面類の確認・補正を行い、平成４年１月10日現地での調査を終了した。

その後、飯田市考古資料館において現地で記録された図面・写真類の整理、出土遺物の水洗・注記・接合・復元等整理作業を平成４年度にかけて行った。

令和３年度は本報告書刊行作業を行った。

第２節　調査組織

⑴　**調査団**

調査担当者　　小林正春・佐合英治・馬場保之

調　査　員　　佐々木嘉和・吉川　豊・澁谷恵美子・福沢好晃

作　業　員　　地元作業員の方々

⑵　**指導**　　長野県教育委員会

⑶　**事務局**　　飯田市教育委員会

平成３・４年度

安野　節　　（社会教育課長）

中井洋一　（　　〃　　文化係長、平成３年度）
原田吉樹　（　　〃　　文化係長、平成４年度）
小林正春　（　　〃　　文化係）
吉川　豊　（　　〃　　〃　）
馬場保之　（　　〃　　〃　）
澁谷恵美子（　　〃　　〃　）
福沢好晃　（　　〃　　〃　、平成４年度）
篠田　恵　（　　〃　　社会教育係、平成４年度）

令和３年度
馬場保之　（文化財保護活用課長）
関島隆夫　（文化財施設整備担当専門幹）
宮澤貴子　（文化財保護活用課　課長補佐兼文化財担当主幹）
下平博行　（　　〃　　課長補佐兼文化財保護係長）
吉川金利　（　　〃　　文化財保護担当専門主査）
澁谷恵美子（　　〃　　文化財保護係）
春日宇光　（　　〃　　〃　　）
坂井勇雄　（　　〃　　文化財活用係長）
羽生俊郎　（　　〃　　文化財活用係）
西脇　充　（　　〃　　〃　　）

第Ⅱ章　環　　境

第１節　自然環境（挿図１）

伊賀良地区は飯田市西部にあり、飯田市街地の南西に位置する。北側は鼎地区、東側は松尾・竜丘地区、南側は山本・三穂地区に接する。

飯田市は赤石山脈（南アルプス）と木曽山脈（中央アルプス）にはさまれた伊那谷の南端にあたり、両山脈の間を天竜川が南流する。天竜川に平行する河岸段丘地形を特徴とするが、両山脈の形成に関わる断層地塊運動に伴い盆地・大きな段丘崖が形成された結果であり、複雑な段丘地形を呈している。

伊賀良地区の場合、西側と東側で大きく地形が変化している。

西半は木曽山脈の前山である笠松山（1271m）・高鳥屋山（1397m）東山麓にあたり、飯田松川・茂都計川をはじめ、笠松山・高鳥屋山から流れ出す入野沢川・南沢川・滝沢川・新川等の河川によって形成された広大な扇状地が広がる。扇端はおおむね北方地籍では新井付近、大瀬木で伊賀良小学校付近、中村の長清寺付近であり、これより西側は傾斜の比較的急な斜面となっている。なお、扇端の一部は前述の線を大きく越えて東側に伸びており、下殿岡地籍まで達するものもある。扇端付近は通例湧水が豊かであるが、これら扇状地が小河川により幾重にも複合して形成されているため比較的湧水に恵まれ、今日でも横井戸として利用している住宅がみられる。扇状地の形成に大きな役割を果たした小河川は、現在堆積作用より下谷作用に転じているが、浸蝕力は弱く、開析谷の規模は比較的小さい。

これに対し、地区の東側は基本的には高位の段丘面を占めており、扇端から離れるほど地下水位が低くなる。

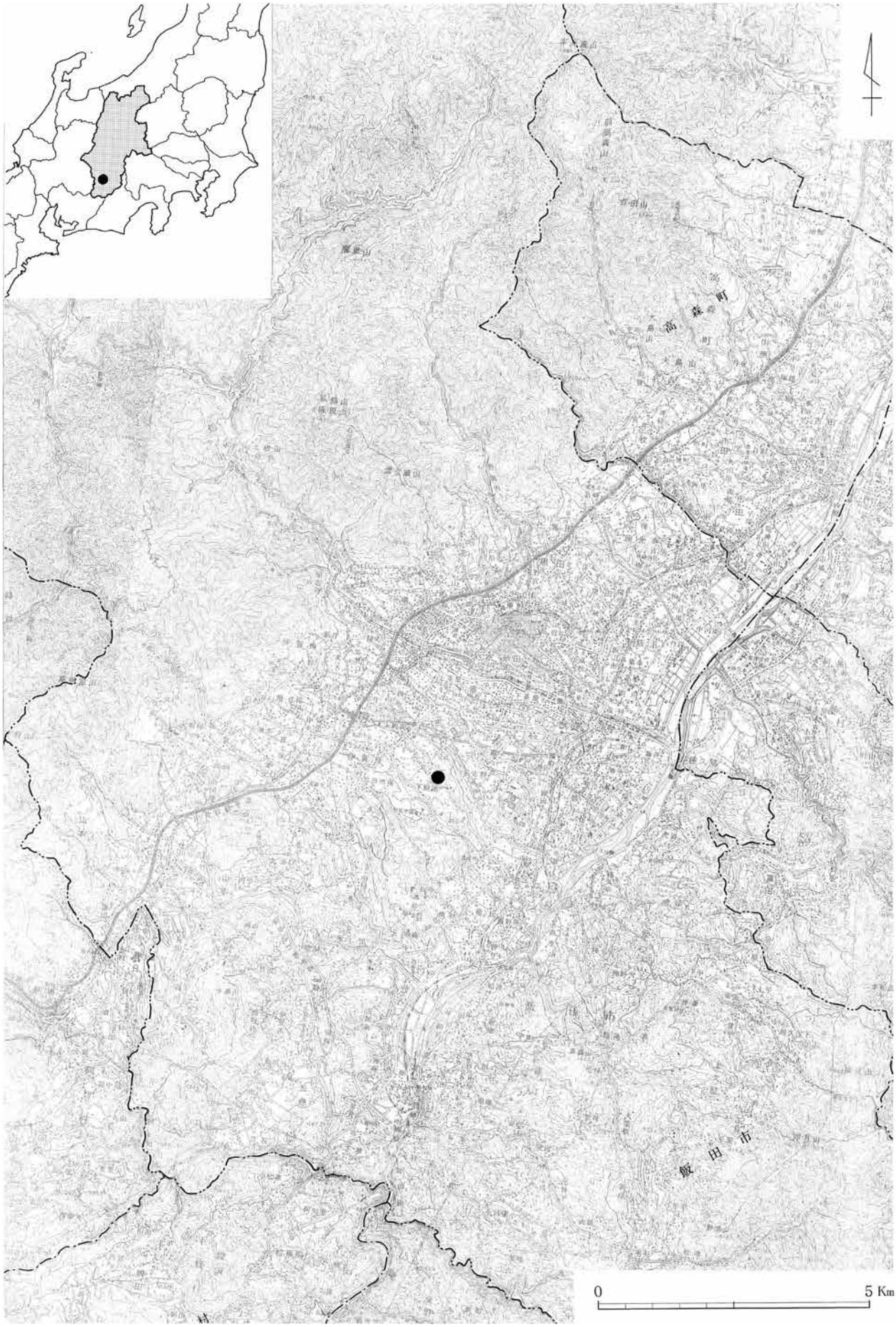
古代末以来、この高燥な地帯への井水の開削が繰り返し行われ、大井をはじめ多くの井水が開けられているほか、地区内の大小河川には人為的な改変が加えられてきた。

下の原Ａ遺跡は、毛賀沢川に面した中位段丘上、笠松山系から伸びる微高地の末端に位置する。調査区全面にロームが遺存しており、集落を営むのに適した所といえる。

第２節　歴史環境（挿図２）

伊賀良地区は埋蔵文化財包蔵地が濃密に分布しており、これまで発掘調査がなされた遺跡は、学術調査による立野、北方北の原（旧：山口）、北方西の原（旧：西ノ原）の各遺跡、中央自動車道建設にかかるよ志原（旧：ようじ原）、上中村（旧：上ノ平東部）、大羽（旧：寺山）、大東（旧：六反田）、酒屋前南（旧：大東）、酒屋前（旧：酒屋前、滝沢井尻）、小垣外・辻垣外、金谷（旧：三壷渕、上の金谷）の各遺跡、一般国道153号飯田バイパス建設にかかる殿原、八幡面、小垣外・辻垣外の各遺跡、広域農道西部山麓線建設にかかる飯田垣外、火振原、梅ヶ久保、細田北、河原林、北方大原（旧:大原、直刀原）、入野、立野、北方北の原の各遺跡、圃場整備に伴う小竹（旧：三尋石）、増泉寺付近、富士塚、富の平、中村中平の各遺跡、諸開発に伴う北方西の原、三尋石、酒屋前南（旧：酒屋前）、はりつけ原、中島平、宮ノ先、柵口、鳥屋平、中川、下の原Ａ（旧：下原）、高野、公文所前、等の各遺跡がある。

こうした文化財に表われた先人達の足跡は縄文時代草創期までさかのぼる。北方北の原遺跡では爪形



挿図１　調査地点位置図

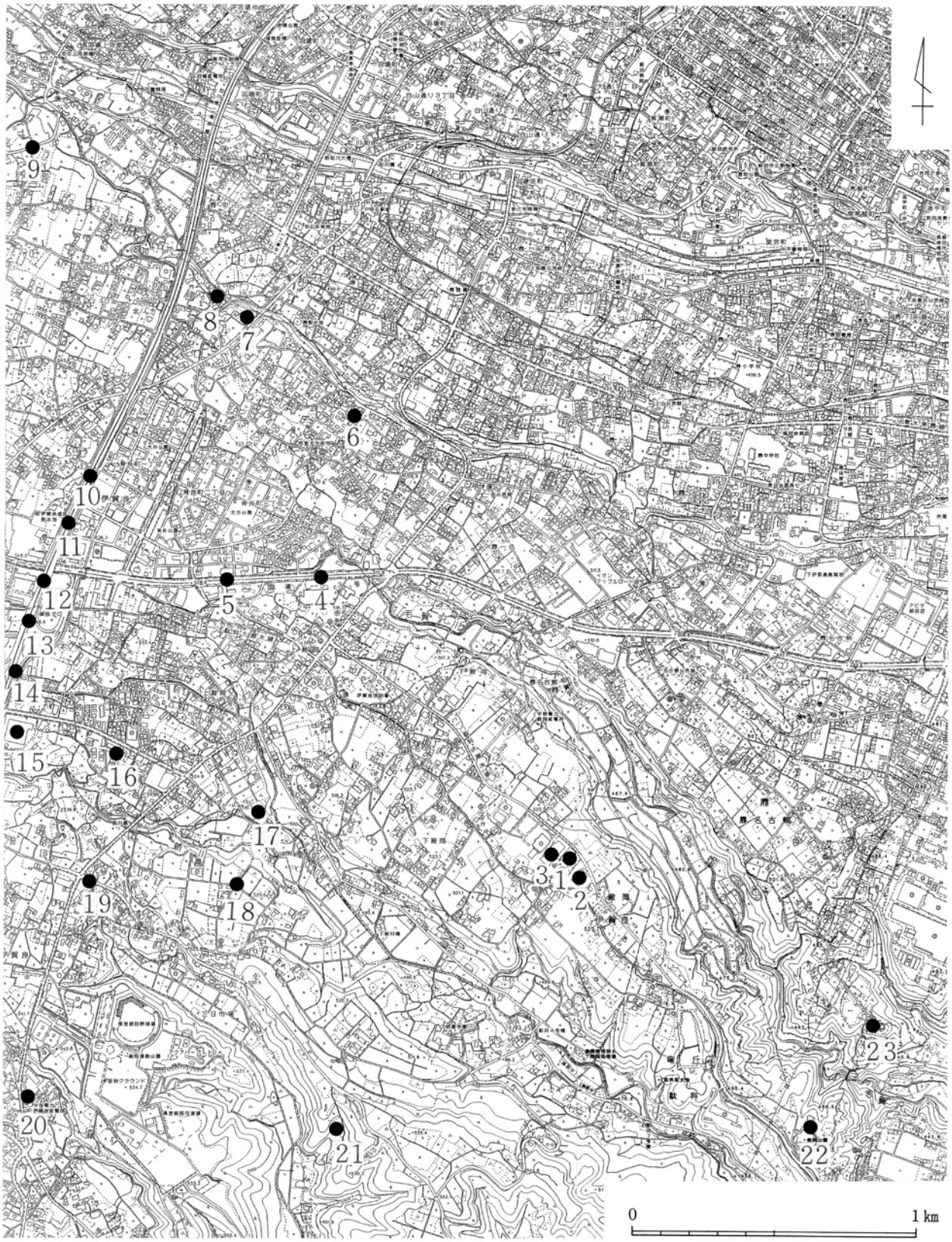
文土器・表裏縄文土器・押型文土器（立野式・樋沢式・細久保式土器）が出土している。加えて、立野式土器の標式遺跡である立野遺跡や北方北の原（旧：山口）遺跡といった縄文時代早・前期の遺跡は主に笠松山麓の比較的標高の高い所に立地している。前期終末では小垣外・辻垣外、殿原遺跡等扇状地の扇端付近の遺跡で竪穴建物址が調査されている。中期の遺跡は伊賀良地区の広範に分布しており、中央自動車道・西部山麓線路線にかかる扇状地上の諸遺跡や下の原Ａ（旧：下原）、公文所前といった段丘上の遺跡がある。殊に、下の原Ａ（旧：下原）遺跡では該期の中心的役割を果たしたと考えられる大集落の一画が調査されている。後期中葉から晩期にかけては、茂都計川に面した中村中平遺跡で、配石址・竪穴建物址・配石墓等の遺構や土偶・土製耳飾り・石棒・石剣を含む多量の遺物が調査され、不明な点の多かった該期の様子が解明されると期待されている。また、北方北の原遺跡では、縄文時代晩期後葉の竪穴建物址１棟・土器棺墓等が調査されている。この他、酒屋前、小垣外・辻垣外、殿原遺跡で断片的な資料ではあるが、遺構・遺物が確認されている。

弥生時代においても集落立地は基本的に前時代と変わらないと考えられるが、前期・中期についてはなお不明である。後期になると、遺跡数が増加するとともに調査例も増す。これまで調査された遺跡としては酒屋前南（旧：大東）、金谷（旧：上の金谷）、酒屋前（旧：酒屋前）、酒屋前（旧：滝沢井尻）、宮ノ先、中島平、中村中平、下の原Ａ（旧：下原）遺跡等がある。該期の集落展開としては、扇状地末端の湧水線および西方前山から東流する大小河川を利用した水田経営と高位段丘上での陸耕を基盤とするものが考えられる。殿原遺跡では散在ながらも比較的大規模な集落が営まれていたことが判明している。また、細田北遺跡では標高700ｍを超える高所から３軒の竪穴建物址が発見されており、人口の爆発的な増加とこうした高所にまで生産基盤を拡大するまでに至る生産力の向上を看取できる。

古墳は伊賀良地区では52基が確認されているが、現存するものは９基にすぎない。隣接する竜丘・松尾地区に比べ数も少ないが、平成26・27年度に発掘調査を実施した北方西の原遺跡では、４世紀中頃に位置づく当地方３例目の前方後方墳笛吹２号古墳と同５号古墳(円墳)、5 世紀後半の同３号古墳(円墳)・同１号古墳（方墳）や周溝墓・土壙墓群、それに南信地区では初見の積石塚３基等が調査された。いずれもこれまでの当地方の古墳時代観を覆すものである。一方、同時代の集落址の調査例は少なく、前期後半の金谷（旧：上の金谷)、後期の金谷（旧：三壷渕）や中島平遺跡、後期の中村中平遺跡が調査されているのみである。遺跡数も前時代に比べると著しく減少しており、小河川や湧水・湿地を控えた集落の展開が考えられる。中村中平遺跡では、遺跡北側の台地の縁に大名塚古墳が現存し、他に消滅したものとして中村狐塚古墳・寺畑古墳・宮原２号古墳があり、これらの築造を担った集落であろう。

奈良時代については、具体的な遺構・遺物の調査例は中村中平遺跡のみであり、掘立柱建物址が単独で調査されたのみで、詳細は不明である。地区内には、古代東山道の経路および「育良駅」の推定地や、荘園を構成する村落の起源等に関連すると思われる箇所があり、重要な役割を果たした地区ということができる。

平安時代については、その末期には伊賀良庄の名が文書に登場する。10世紀末一条天皇朝には妙香院領、11世紀中頃後冷泉天皇朝以降尊勝寺領であった（下伊那誌編纂会　1961)。その中には中村・久米・川路・殿岡が含まれることが文献等により明らかにされており、当地区がその中心的な位置を占めたことが考えられる。伊賀良井はじめ、当地区における大規模な井水開発の歴史は、この時代にはじまるともいわれている。殿原遺跡の溝址３の調査結果はこうした説をある程度裏付けるものといえる。なお、



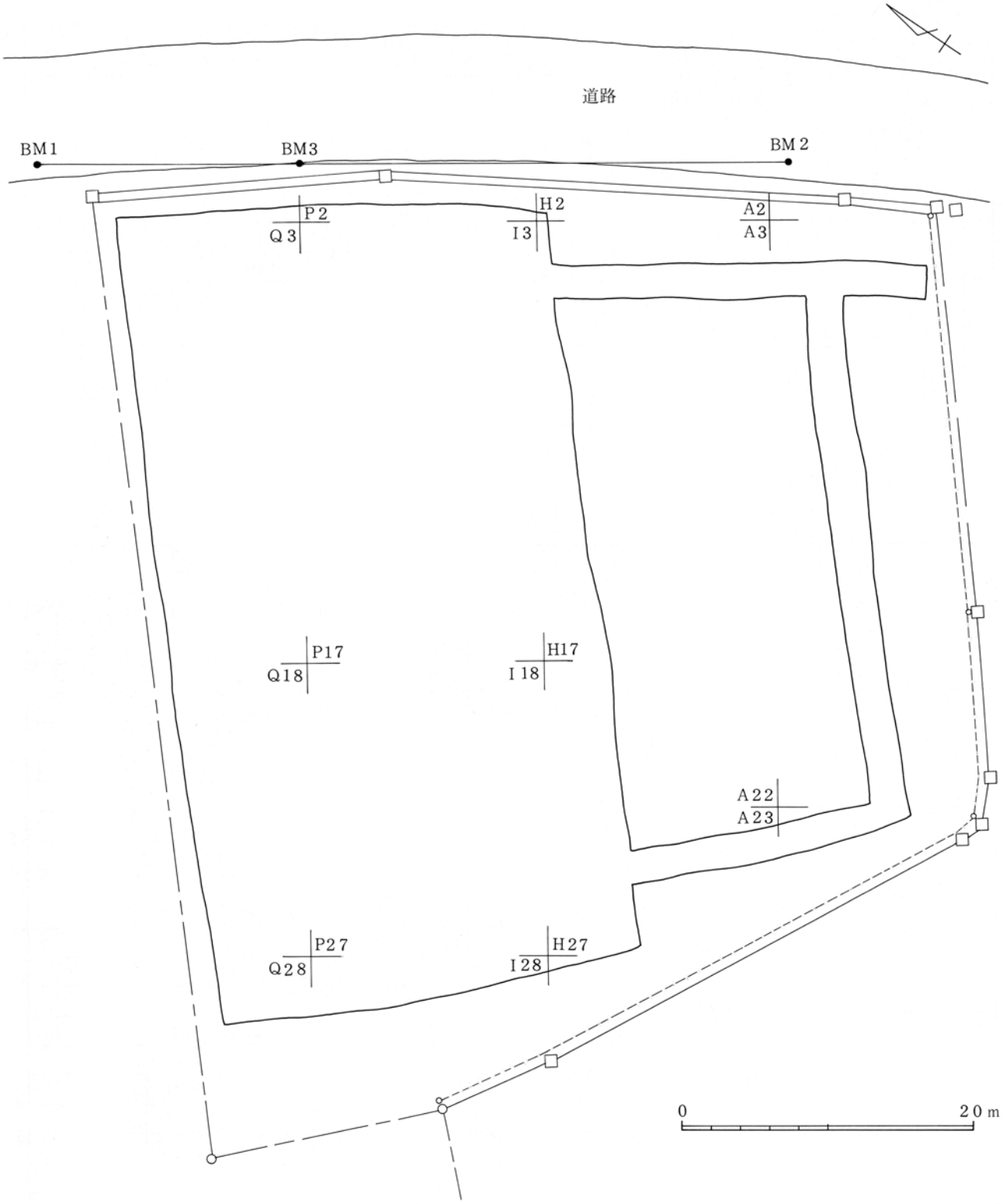
1.下の原A遺跡（今次調査地点）　2.下の原A遺跡　3.同前（旧:下原遺跡）　4.殿原遺跡　5.八幡面遺跡　6.北方西の原遺跡（旧:西ノ原遺跡）　7.同前　8.育良社付近遺跡　9.北方北の原遺跡　10.金谷遺跡（旧：上の金谷遺跡）　11.同前（旧：三壷渕遺跡）　12.小垣外・辻垣外遺跡　13.酒屋前遺跡（旧：滝沢井尻遺跡）　14.酒屋前遺跡（旧：酒屋前遺跡）15.酒屋前南遺跡（旧：酒屋前遺跡）　16.はりつけ原遺跡　17.中島平遺跡　18.宮ノ先遺跡　19.柵口遺跡　20.中川遺跡　21.土師洞窯址（旧:土器洞１号窯跡）　22.鈴岡城址　23.松尾城址

挿図２　調査遺跡および周辺遺跡位置図

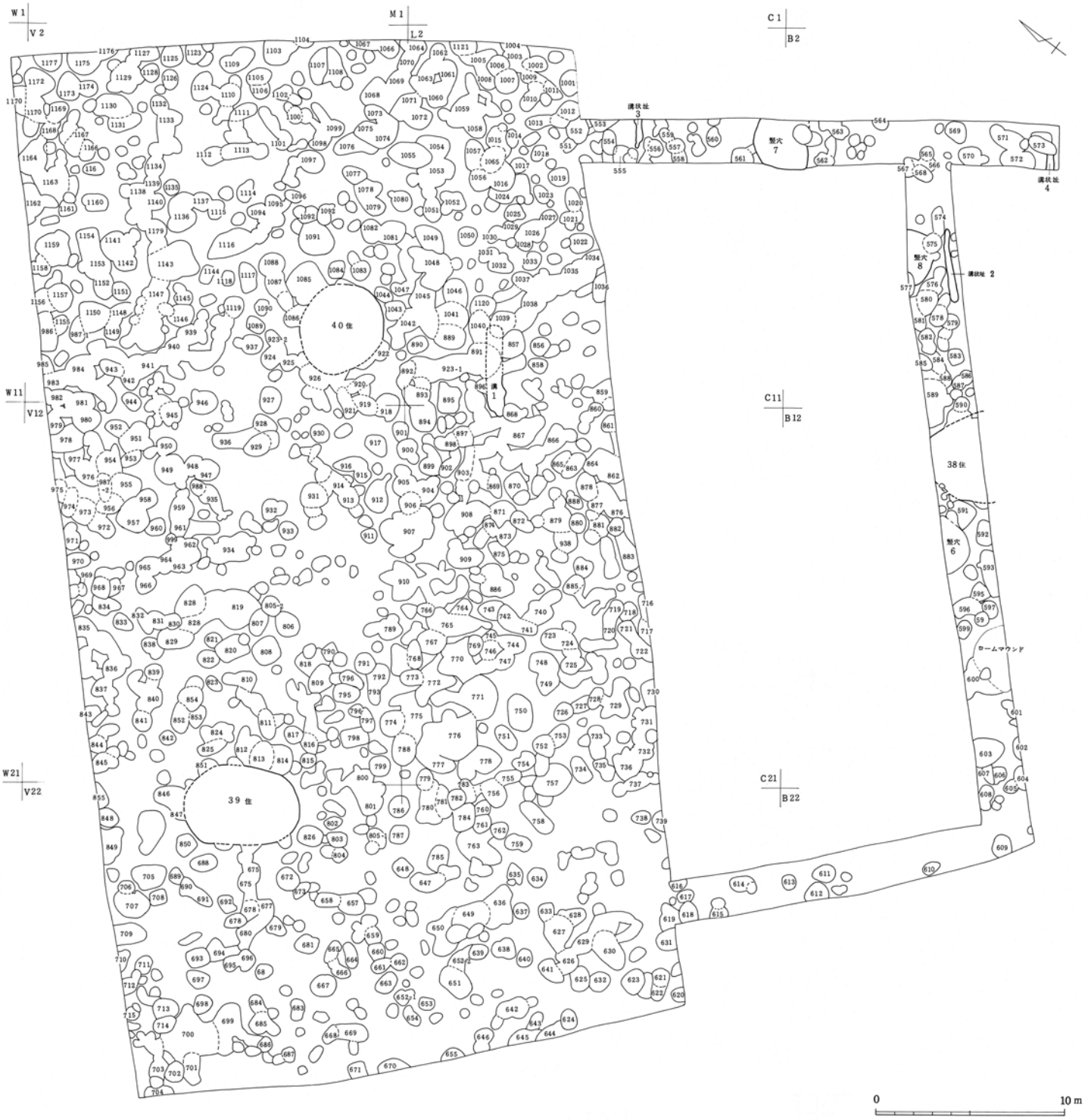
殿原遺跡では溝址３に近接して、馬の飼育に関連すると考えられる建物址・柵列が調査されている。詳細時期は不明であるが、溝址３とは重複がなく、伊賀良井・溝址３、毛賀沢川に画された部分に占地していることから、私牧に関わる遺構の可能性が指摘できる。一方、これまで実施された発掘調査の結果、大東（旧：六反田）、酒屋前（旧：滝沢井尻）、小垣外・辻垣外、金谷（旧：三壷渕・上の金谷）、宮ノ先、公文所前遺跡等地区内のほぼ全域にわたり、集落址の一部が調査されている。伊賀良庄の成立がどこまで遡るかは不明であるが、この時代の集落が前時代よりも増加することは、この地区の開発が一段と進んだ証左であろう。隣接する山本久米地区には、12世紀半ばには天台宗であった可能性が指摘され（佐藤　2013・2014）、現在は真言宗の古刹、光明寺がある。光明寺には、胎内に「保延六年」（1140年）の銘を持つ薬師如来坐像があり、また、かつては鎌倉初期に位置づけられていたものの近年12世紀代に遡ることが指摘されている阿弥陀如来坐像（国指定重要文化財）がある。また、保元元年（1156）年に光明寺の僧願西が埋納した如法経の経筒が熊野那智山で発見されている（佐藤　同前）。寺の創建はこれより遡ると考えられ、伊那谷の中ではいち早く中央の文化を取り入れた先進地域の一つであったと思われる。また、さらに、この時代には三日市場地籍に須恵器を生産した土師（かわらけ）洞窯跡があり、ここで生産された須恵器が下伊那全域に分布するなど、手工業生産の発達がみられる。

中世においては鎌倉時代には北条時政が伊賀良庄地頭であり、以後一族の江馬氏がこれを継いだ。その地頭代が地区内に居を構えたことは疑いなく、鎌倉末期には荘園を自領化していたことが三浦和田文書に窺える。

北条氏の滅亡後、信濃守護職小笠原氏は伊賀良庄を与えられ、その下で伊賀良地区の開発は急速に進んだとされる。地区内の井水の大半はこの時代の開発と考えられ、小笠原氏の勢力伸長の基盤として当地区が大きな役割を果たしたといえる。室町時代中期以降、小笠原氏内訌に伴い松尾城・鈴岡城の支城が各地に築かれ、地区内には下の城跡・桜山城跡がある。


道路
BM1
BM3
BM2
P2
Q3
H2
I3
A2
A3
P17
Q18
H17
I18
A22
A23
P27
Q28
H27
I28
0
20m

挿図３　調査区の設定


W1
V2
M1
L2
C1
B2
W11
V12
C11
B12
W21
V22
C21
B22
溝状址 3
溝状址 4
溝状址 2
整穴 7
整穴 8
整穴 6
40住
39住
38住
溝 1
ローム マウンド
0
10 m

挿図４　遺構全体図

第Ⅲ章　調査結果

第１節　調査区の設定（挿図３）

調査区の設定は、日本測地系に基づく飯田市埋蔵文化財基準メッシュ図導入前であり、任意で行った。調査区周辺に目印となる点が確認できなかったことから、市道上に設定された任意のＢＭ１・２を結ぶ線を基線に、２ｍ間隔で南側のＢＭ１から北に向かいアルファベットでＡ・Ｂ・Ｃ…Ｗ、直交方向に西に向かい１・２・３…30に区分した。ＢＭ１・２の基線は磁北に対して西に35.5°偏する。１～３トレンチ検出の遺構にあっては、グリッド名が付されていないものがあり、トレンチ名のみ示したものがある。

第２節　基本層序（挿図５）

地表より漆黒土１層（層厚15～25㎝）、褐色土２層（層厚15～20㎝）、褐色の漸移層９層（層厚約20㎝）で、地山である黄褐色のロームに至る。遺構確認面は９層上面で、遺構の遺存状況もまた比較的良好である。

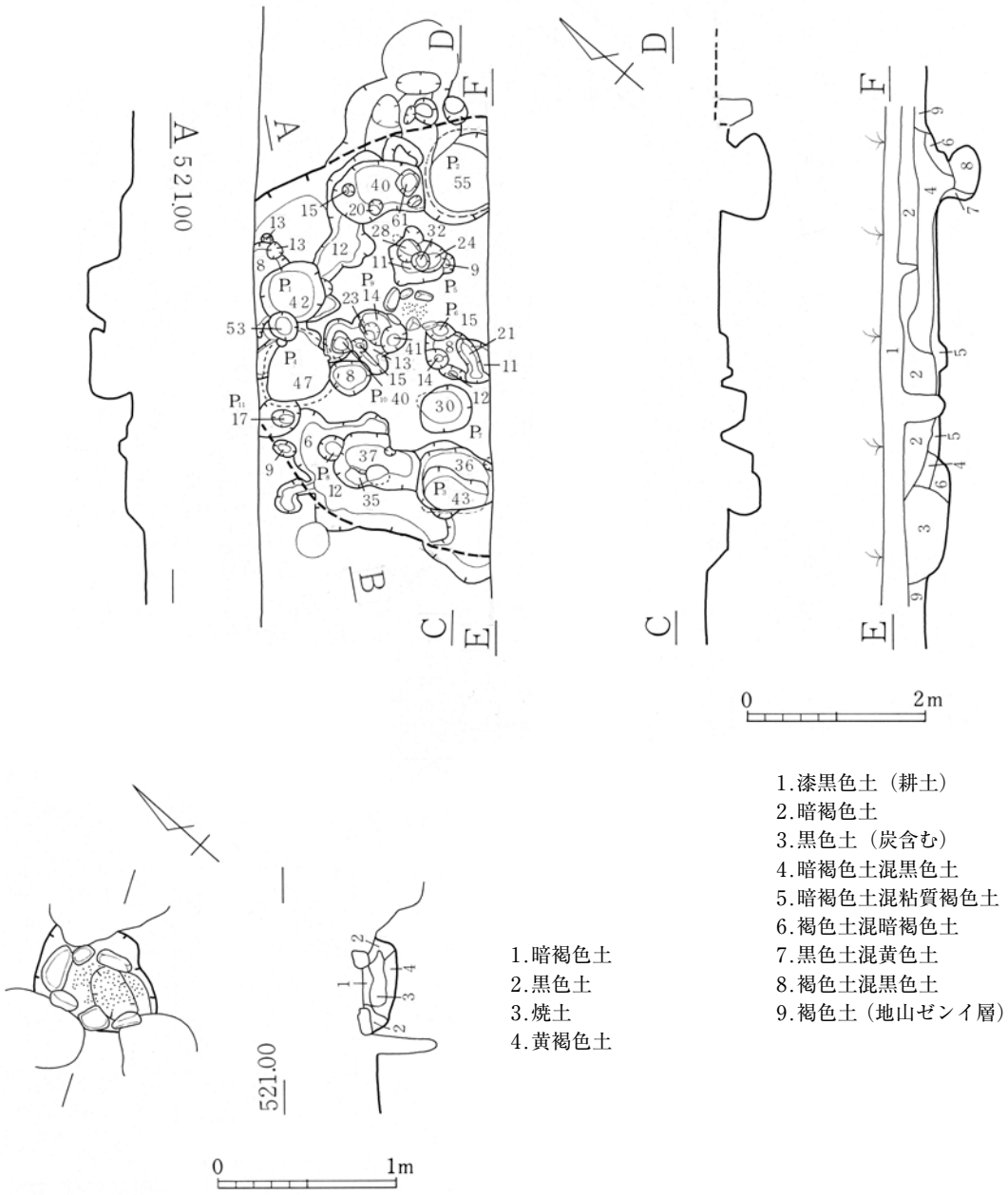
第３節　遺構と遺物（挿図４）

今次調査で確認された遺構・遺物は以下のとおりである。遺構番号については、以前に調査した隣接地で発見されたそれぞれの遺構の続き番号を付した。

⑴　竪穴建物址

①　竪穴建物址38（挿図５、第１図、第15図１～５、表２）

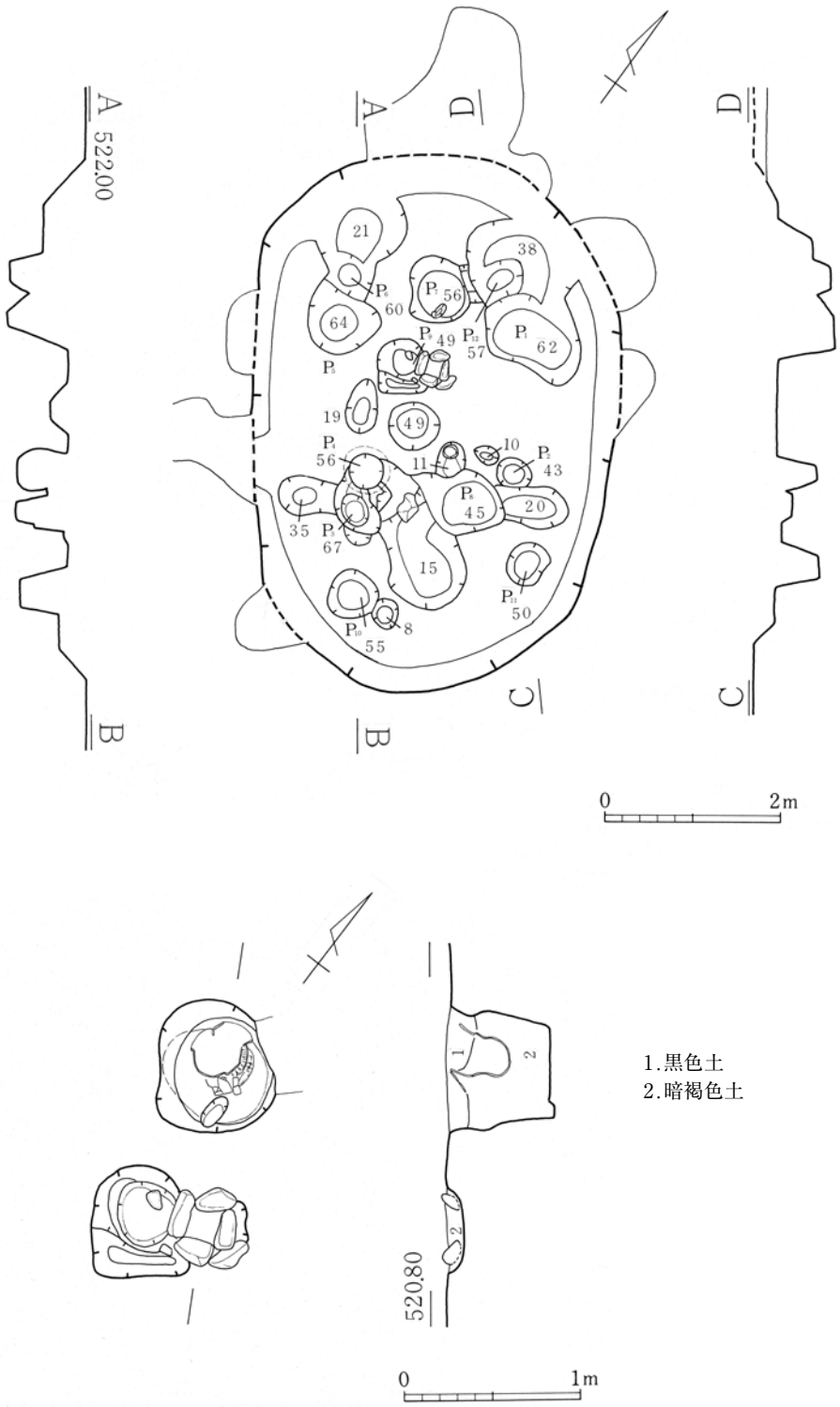
［検出位置］２トレンチ中央付近　［規模］4.8ｍ以上×－、深さ25㎝　［床面積］－㎡　［形態］不整円（ないし楕円）形　［主軸方向］Ｎ７°Ｗ　［重複等］土坑590・591と近接する　［調査所見］幅2.6ｍ程度のトレンチで把握したため、約1/2、西半を調査したにとどまる　［埋土］４層暗褐色土混黒色土　［壁］緩やかに立ち上がる　［床］５層暗褐色土混粘質褐色土で貼床され、Ｐ１・Ｐ５間は良好、Ｐ６～Ｐ９間の床面は極めて良好な床面が把握された　［周溝］Ｐ１北東側、Ｐ３・Ｐ８間に断片的に確認され、埋土黒色土である　［柱穴］４本主柱で、主柱穴はＰ２・Ｐ３・Ｐ４の３本を検出したと考える。埋土はＰ５・Ｐ10が漆黒土、Ｐ６・Ｐ７・Ｐ８が暗褐色土、Ｐ９が黄混暗褐色土、それ以外は黒色土でＰ４には炭が混じる。Ｐ１・Ｐ２は袋状を呈する　［炉］中央より北壁寄りに検出し、60×45㎝の不整楕円形を呈する。石囲炉で、炉石は１個を除き６個が原位置を保って遺存し、やや扁平な棒状礫が並べられていた。炉内に厚い焼土が確認された　［出土遺物］Ｐ４付近から床面直上で外に口縁を向けて深鉢が出土したほか、出土遺物は多い。第１図３は下伊那型櫛形文土器、同５は櫛形文が付される在地系中期中葉末の細隆線文土器の他、有孔鍔付土器（同１）が出土した。同13・同17は勝坂式系。また、石器類は、打製石斧、横刃型石器、磨石、剥片類が出土した　［時期］縄文時代中期中葉末に位置づく。



挿図５　竪穴建物址 38

② **竪穴建物址39**（挿図６、第２図～第５図、第15図６～第16図８、表２）

［検出位置］Ｐ21・Ｐ22・Ｐ23・Ｑ21・Ｑ22・Ｑ23　［規模］（6.0）×4.15m、深さ35㎝　［床面積］約21㎡　［形態］楕円形　［主軸方向］Ｎ33°Ｗ　［重複等］土坑812・813・814・846・847・851と重複する　［調査所見］主柱穴の変遷から住居の拡張が行われたと考えられる　［埋土］暗褐色土　［壁］緩やかに立ち上がる　［床］主柱穴に囲まれた中央部分にきわめて良好な硬い部分が確認された　［周溝］なし　［柱穴］Ｐ２・Ｐ３・Ｐ６・Ｐ12からＰ６・Ｐ11・Ｐ12・Ｐ13を主柱穴とする建替えと考えられる。Ｐ１は貯蔵穴と考えられる。Ｐ５から土器出土。Ｐ７は埋甕が正位に据えられるが、器体はやや斜めとなっている。埋土は上部が黒色土、埋甕以下が暗褐色土である。Ｐ８は当初の貯蔵穴と考えられる。Ｐ９上部から出土した土器は39住№１で取上げ。埋土は、Ｐ２・Ｐ６・

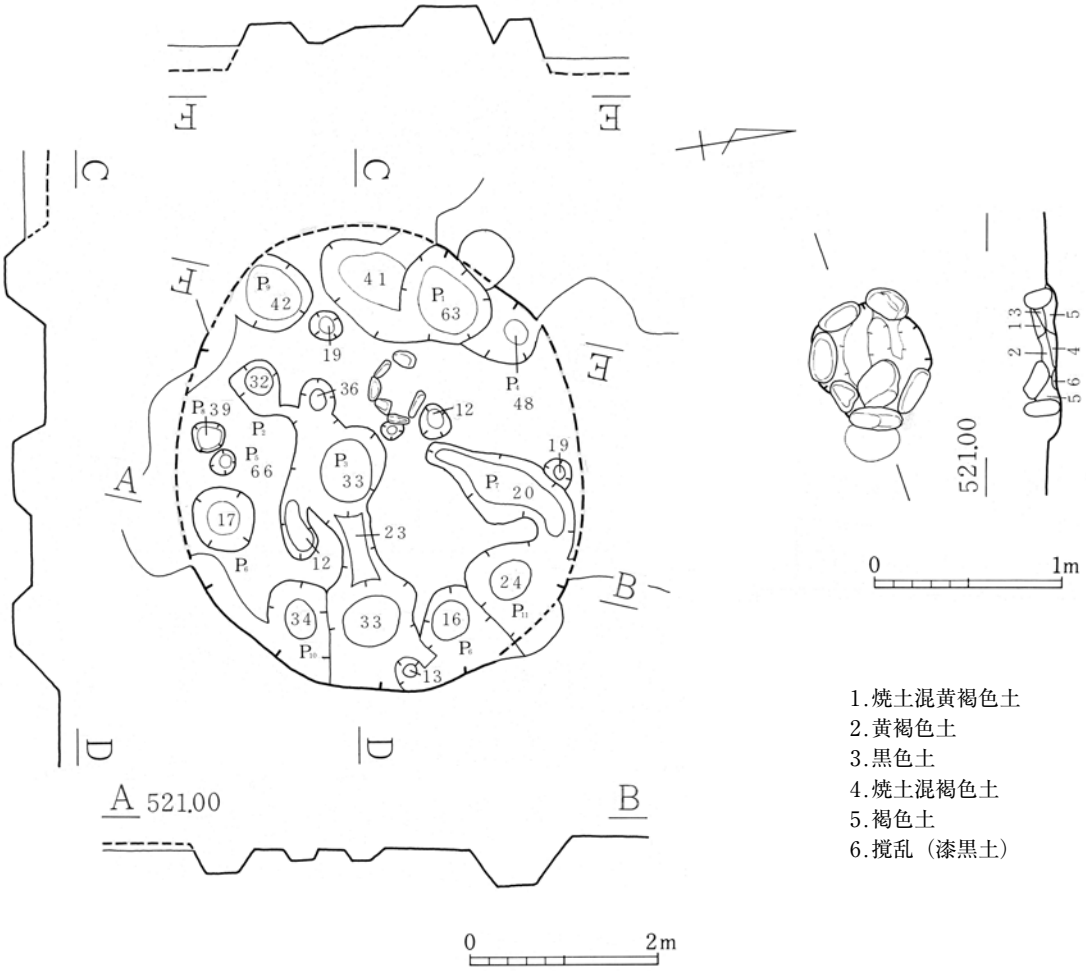

A
522.00
B
C
D
21
38
64
60
56
49
57
62
19
49
56
10
43
11
45
20
35
67
15
50
8
55
0
2m
1.黒色土
2.暗褐色土
520.80
0
1m

挿図６　竪穴建物址 39

Ｐ９・Ｐ11・Ｐ13が黒色土、Ｐ３・Ｐ４は黄土混黒色土、Ｐ10が暗褐色土、Ｐ12は漆黒土である　［炉］石囲炉。45×40cm、深さ10cm程度の小規模な炉で、長さ20～25cm、幅15cm程度、厚さ10cm程度の扁平な礫が炉石に用いられる。底面は焼土や焼け締まった痕跡はない　［出土遺物］平出ⅢＡの他、非在地系土器が出土した。第２図１は東海地方の山田平式、２は平出ⅢＡに近い下伊那型櫛形文土器。第３図１も下伊那型櫛形文土器、同２・第４図１・同２は平出ⅢＡ系土器、同３は焼町類型（新段階）かと思われる。石器類は、打製石斧、横刃型石器、石匙、粗製石匙、石錘、磨石、剥片類が出土した　［時期］縄文時代中期中葉に位置づく。

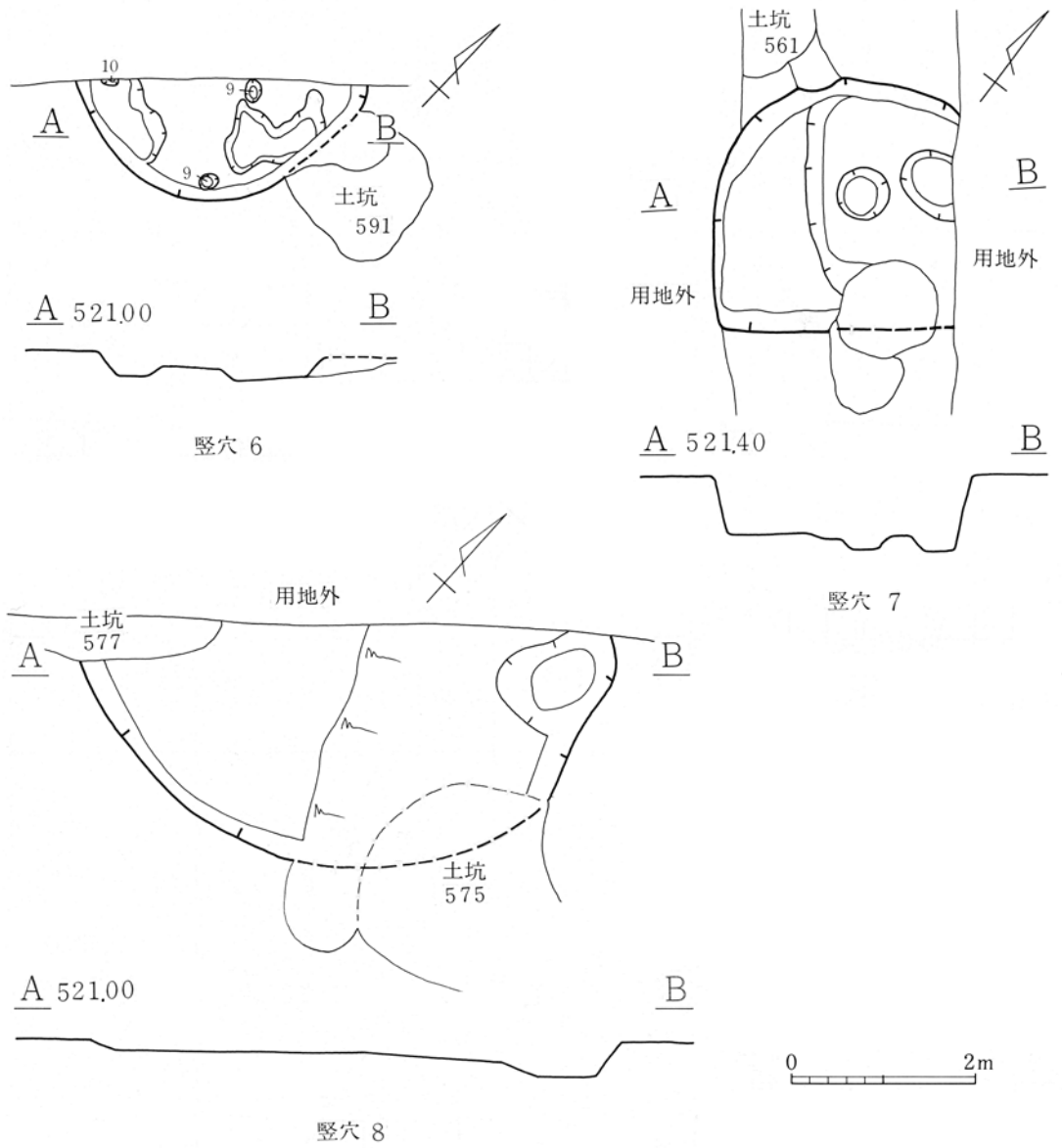
③　**竪穴建物址40**（挿図７、第６図１～35、第16図９～第17図３、表２）

［検出位置］Ｎ９・Ｎ10・Ｏ９・Ｏ10を中心に検出　［規模］5.0×4.4m、深さ15cm　［床面積］17㎡　［形態］不整楕円形（円形に近い）　［主軸方向］Ｎ82°Ｗ　［重複等］土坑922・926・1085・1086と重複する　［調査所見］重複遺構のため南東側以外の壁は把握できず　［埋土］黒色土　［壁］南東壁は比高差８cm程度で緩やかに立ち上がる　［床］ほぼ平坦であるが、硬い部分は確認できず　［周溝］



挿図７　竪穴建物址 40

なし　［柱穴］主柱穴はＰ４・Ｐ９・Ｐ10・Ｐ11の４本と考えられるが、Ｐ９とＰ10の間が空いていることから、５本柱穴の可能性もある。Ｐ１からミニチュア土器が出土した。埋土は、Ｐ１・Ｐ３・Ｐ７・Ｐ８・Ｐ10・Ｐ11が黒色土、Ｐ５が暗褐色土である　［炉］Ｐ４・Ｐ９間中央寄りに検出した。75×65㎝の石囲い炉で、やや扁平な炉石６個が原位置を保って遺存し、１個は炉内に転落したと考えられる。焼土は少なく、ところどころにブロック状に認められるが、締って硬いものではない　［出土遺物］櫛形文が付される在地系の細隆線文土器の他、非在地系土器が出土した。第６図３はミニチュア土器。同５・同23・同29は下伊那型櫛形文系、同15～19は細隆起線文、同８・同20～同24・同26・同34は勝坂式系、また石器類は、打製石斧、横刃型石器、粗製石匙、磨石、石皿、石核、剥片類が出土した　［時期］縄文時代中期中葉末に位置づく。



挿図８　竪穴６～８

⑵　竪穴

①　竪穴６（挿図８）

［検出位置］２トレンチ　［重複］土坑591　［調査所見］トレンチ外に約１／２がかかり、西側壁際が一段くぼむ。土坑591寄りに重複遺構あり　［規模］（320）×―cm、深さ14cm　［形態］不整円形を呈すると考えられる　［長軸方向］不明　［断面形］浅いⅢ状を呈すると考えられる　［埋土の状況］暗褐色土　［出土遺物］土器小片　［時期］縄文時代中期と考えられる。

②　竪穴７（挿図８、第６図36～41、第17図４～６）

［検出位置］Ｂ４・Ｂ５・Ｃ４・Ｃ５　［重複］土坑561　［調査所見］東側はトレンチ外にかかり、北東側が一段深くなる。平面で把握した際には単一の土坑としたが、埋土の状況から遺構の重複である可能性がある　［規模］―×（260）cm、深さ17（21）cm　［形態］不整円形を呈すると考えられる　［長軸方向］不明　［断面形］緩やかに掘り込まれ、各段は平坦な面をなす　［埋土の状況］褐色土（深い部分は黒色土）［出土遺物］中期中葉の在地系（平出ⅢＡ）および非在地系の土器他、打製石斧１、石錐１が出土した。第６図40は勝坂式系　［時期］縄文時代中期中葉に比定される。

③　竪穴８（挿図８）

［検出位置］２トレンチ　［重複］土坑575・577　［調査所見］トレンチ外に１／２がかかる　［規模］（288）×―cm、深さ14cm［形態］不整円形を呈すると考えられる　［長軸方向］不明　［断面形］東半は緩やかにくぼむ　［埋土の状況］黒色土混黄色土　［出土遺物］なし　［時期］不明である。

⑶　土坑（挿図９～28、第６図42～第11図、第17図８～第20図12・14～16、表１・２）

小規模なものが多く、特記されるもののみを記す。土坑799・土坑971は円形を呈し、ほぼ直に掘り込まれる。出土遺物で他の土坑と顕著な差はないが、形態から墓壙の可能性がある。土坑695も方形を呈するが規模や形態が類似する。

出土遺物についてみると土坑562（第７図１）は狢沢式。土坑580（同３）は２条の横走する細隆線から細隆線文土器とも考えたが、口縁外縁に縄文が施される。土坑632（同８）は内面に半截竹管による平行沈線が施され、中期以外の時期が考えられる。土坑636（同９）は勝坂系かと考えられる。土坑719（同10）は勝坂系の浅鉢口縁部、土坑752（同11）は口縁部に角押文が施される浅鉢で、狢沢式と考えられる。土坑776（同12）は平出ⅢＡ系かと考えられ、同13は藤内式。土坑827出土の同21・22、第８図２・３は藤内式で、第８図１は有孔鍔付土器と考えられる。土坑961（同11）は頸部に押圧が施される隆帯が巡らされる平出ⅢＡ系、土坑1001（第９図５）は東海系の山田平式、土坑1004出土の第９図６・第10図１は狢沢式、土坑1048第10図２～４・６は細隆線文で、うち４・６・10は同一個体、同５は櫛形文。土坑1055（第10図17、図版17下）は平出ⅢＡ系の土器で、口縁に３単位の突起が付され、端面に押圧が施される。半截竹管文により区画された口縁部文様帯には２条の細かな波状文が描かれる。下縁を流体で区画された頸部文様帯には対向する２条の弧線文が付され、起・終点に押圧が施される。胴部文様帯に弧線文に対応した位置に逆Ｕ字状の区画文が描かれる。土坑1056（第10図20）は勝坂系、土坑1080（同26～28）は同一個体、同29は勝坂系。土坑1141からは隆線間に細

かい平行沈線が充填される船元Ⅲ式土器が出土した（第11図18・19・21 ～ 23）。土坑1177（同45）は下伊那型櫛形文土器である。

⑷　溝址・溝状址

①　**溝址１**（挿図17）

Ｊ８～Ｊ12で調査された。長軸方向はＮ52.5°Ｅを示す。土坑857・868・891・896・1039・1040と重複する。出土遺物はなく、詳細は不明である。

②　**溝状址２**（挿図10、第17図７）

２トレンチで調査された。長さ3.8m、幅25 ～ 45cmを測り、長軸方向はＮ46.5°Ｅを示す。形状から、弥生時代の囲溝址の一部である可能性もある。縄文時代中期中葉の土器小片が出土したが、詳細は不明である。

③　**溝状址３**（挿図９）

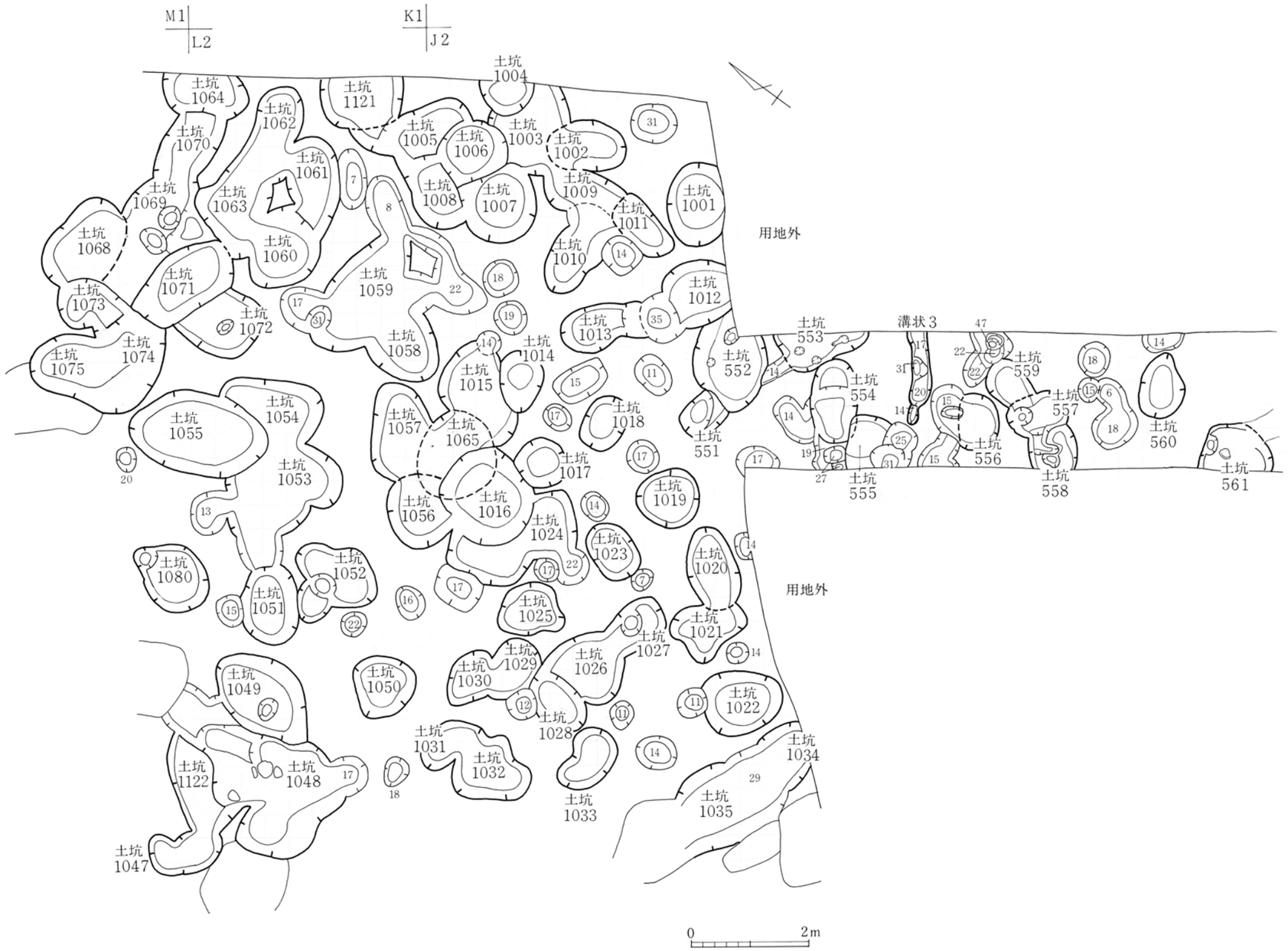
１トレンチ、土坑553 ～ 557・559付近で検出した。幅30 ～ 40cm、深さ14 ～ 31cmを測る。長軸方向はＮ48.5°Ｅを示す。出土遺物はなく、詳細は不明である。

④　**溝状址４**（挿図10）

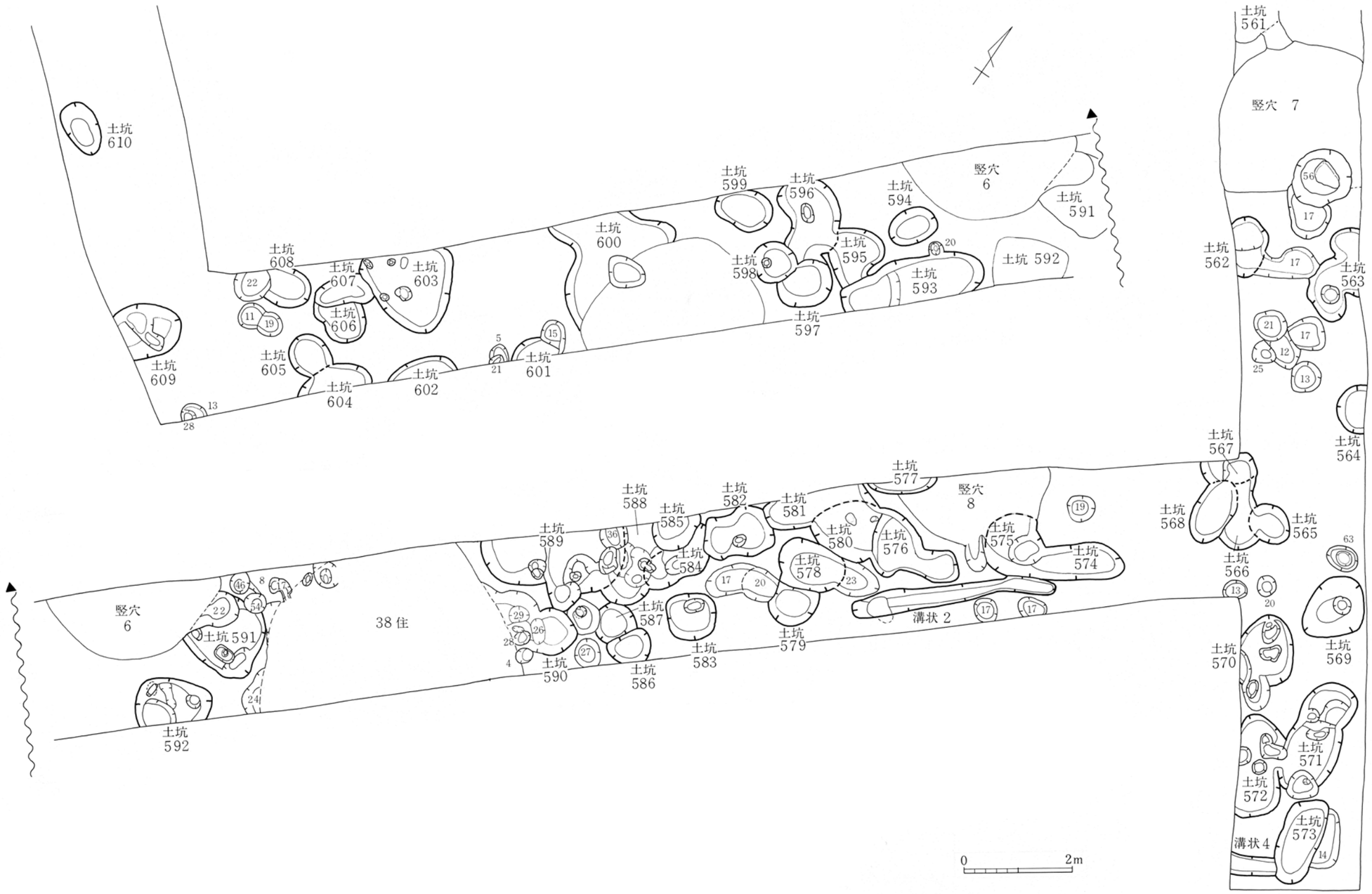
１トレンチ南東端で検出した。幅35cmを測る。長軸方向はＮ52.5°Ｅを示す。一部を検出したにとどまり、また出土遺物もないことから、詳細は不明である。

⑸　遺構外出土遺物（第12 ～ 14図、第20図13・17 ～第22図）

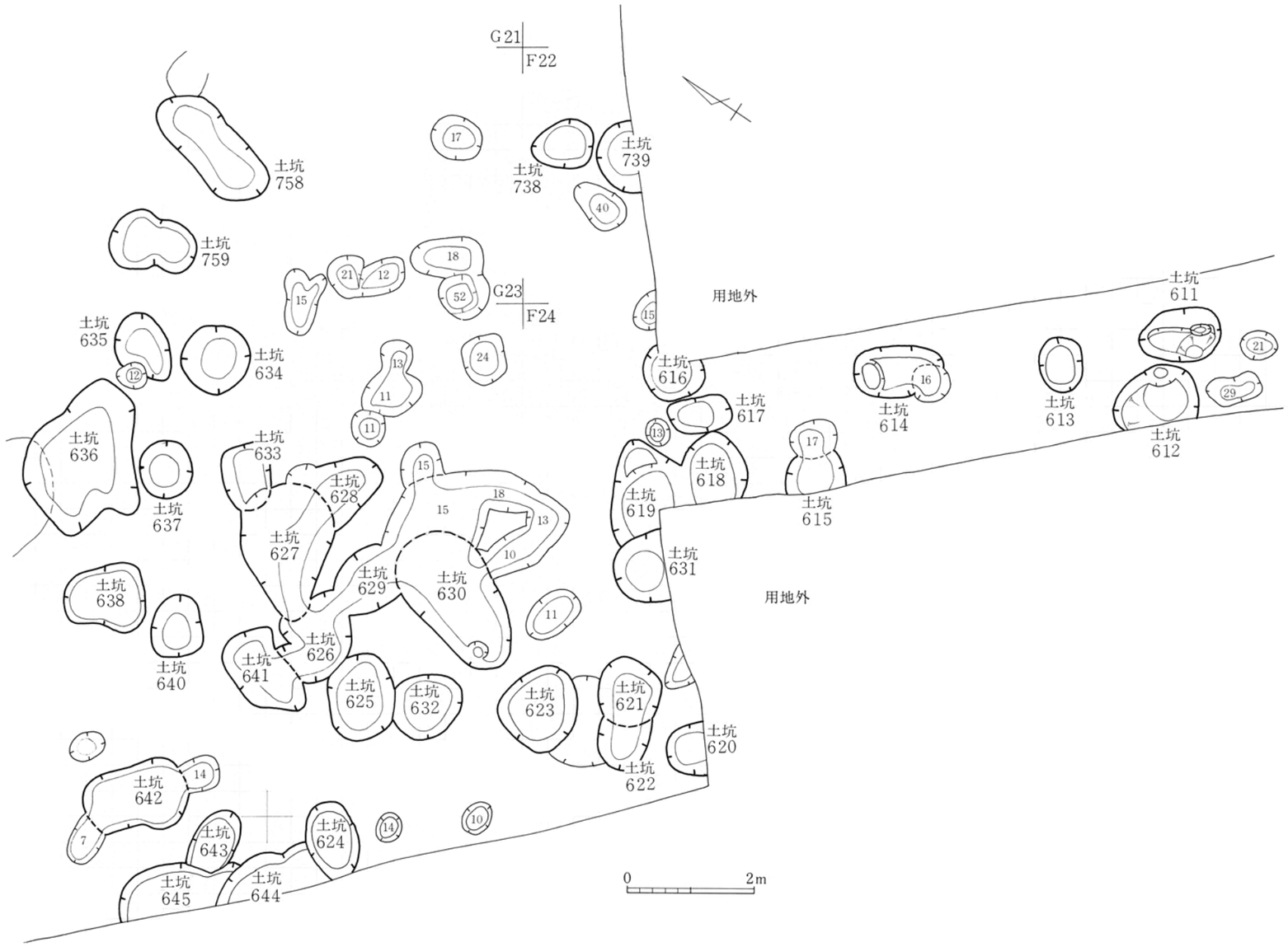
第12図１・２は平出ⅢＡ系で、２は胴部地文に縄文が施文される珍しい例である。同４は角押文により渦巻文が描かれる狢沢式。同５は口縁に渦巻突起が付され、口唇に刻み、口縁部文様体に連続押引文が付される。胎土に金雲母が含まれる非在地系の土器である。同６は藤内式のパネル文。同７は中葉末かと考えられる浅鉢。同９は藤内式かと考えられる。同11は東海系か。同12は口縁部に沈線文ないし縄文が施される。第13図１・第14図・15・16は同一個体で、口縁部に楕円区画文、頸部にＸ字状に隆帯＋平行沈線が施される。在地系と考えられるがあまり例をみない。第13図２は、肥厚口縁に蛇頭突起が付され、口縁外縁とその下位にＲＬ縄文が横位施文される勝坂系土器。同３は勝坂系。同４と第14図17は同一個体で後葉の細隆線文。第13図６は平出ⅢＡ系。同８は井戸尻Ⅱ式。同９は浅鉢。同10･24は山田平式。同11は勝坂系。同17は平出ⅢＡ系。同21は東海系の北裏Ｃ式もしくは山田平式。同27 ～ 31は下伊那型櫛形文土器で、27･31は同一個体。同33は細隆線文。同34 ～ 44は平出ⅢＡ系で、口縁が内湾すると考えられる41は類例がない。第14図２は井戸尻式、同３は器台。同４は勝坂系、同５は竹管による平行沈線と連続押引文に刺突文が充填される勝坂系土器。同６・９は勝坂系、同７は楕円区画文に角押文が施される狢沢式、同10は渦文の周囲に竹管の連続押引文が付される藤内式。同11は楕円区画文に押引沈線が施される狢沢式。同12は隆帯に押引沈線が付される勝坂系土器。同13は連続爪形文が付される勝坂系土器。同14は藤内式。同18・21は勝坂系。同24は平出ⅢＡ系。同26・27は藤内式のパネル文。同30 ～ 35は中葉末の細隆線文。同36は沈線区画に結節縄文が施される中期終末の土器。同37・38は土製円盤である。


M1
L2
K1
J2
土坑1004
土坑1064
土坑1121
土坑1062
土坑1070
土坑1005
土坑1006
土坑1003
土坑1002
土坑1061
土坑1069
土坑1063
土坑1008
土坑1007
土坑1009
土坑1011
土坑1001
用地外
土坑1068
土坑1060
土坑1010
土坑1071
土坑1059
土坑1012
土坑1073
土坑1072
土坑1013
土坑1058
土坑1014
土坑1075
土坑1074
土坑1015
土坑1018
土坑1055
土坑1054
土坑1057
土坑1065
土坑1017
土坑1053
土坑1056
土坑1016
土坑1019
土坑1024
土坑1023
土坑1080
土坑1052
土坑1020
土坑1051
土坑1025
土坑1021
土坑1027
土坑1029
土坑1026
土坑1030
土坑1049
土坑1050
土坑1022
土坑1028
土坑1031
土坑1032
土坑1034
土坑1122
土坑1048
土坑1033
土坑1035
土坑1047
溝状3
土坑553
土坑559
土坑554
土坑557
土坑552
土坑560
土坑556
土坑551
土坑555
土坑558
土坑561
0
2m

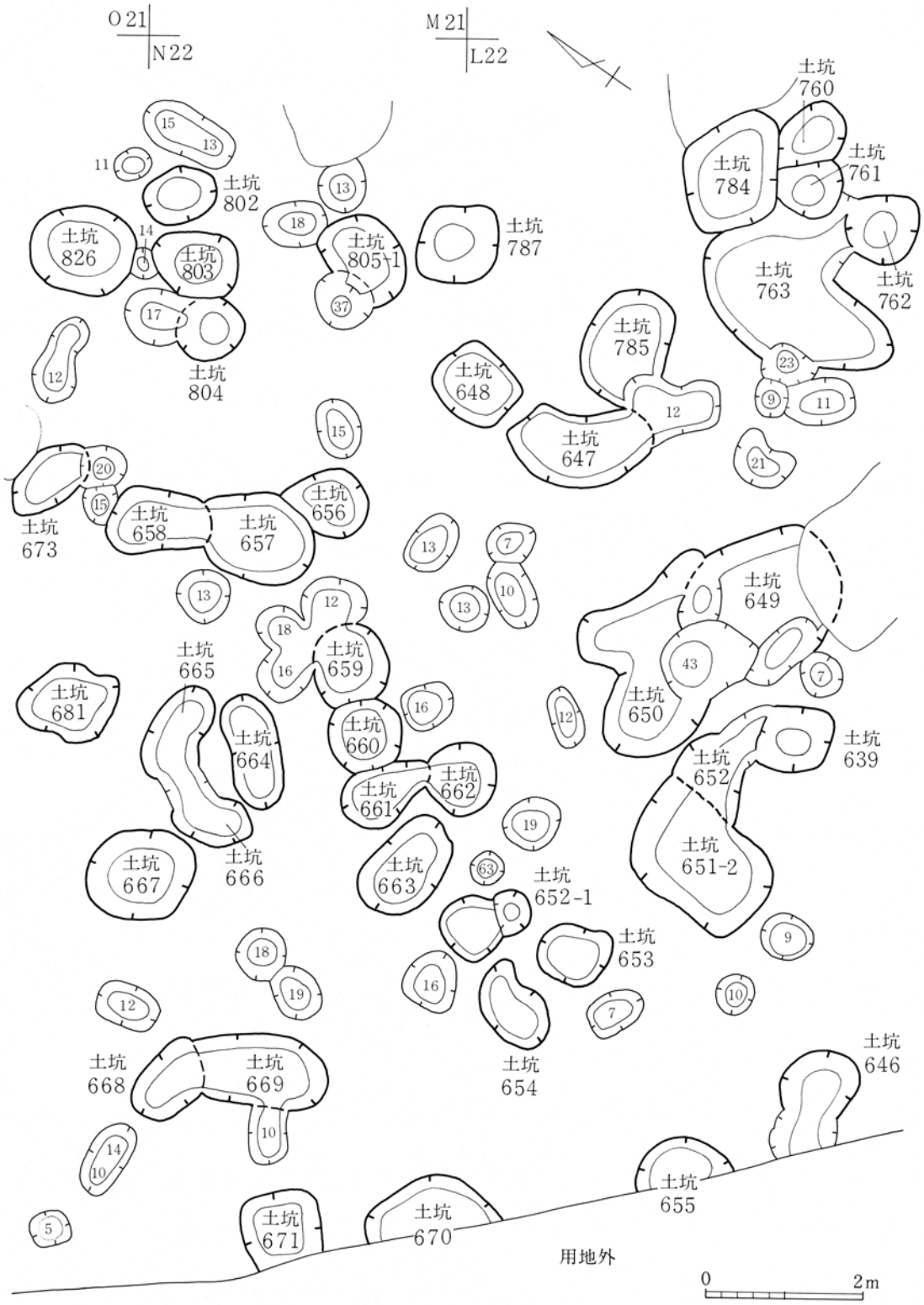
挿図９　土坑平面図（1）


土坑 610
土坑 609
土坑 608
土坑 607
土坑 606
土坑 605
土坑 604
土坑 603
土坑 602
土坑 601
土坑 600
土坑 599
土坑 598
土坑 597
土坑 596
土坑 595
土坑 594
土坑 593
土坑 592
土坑 591
竪穴 6
土坑 561
竪穴 7
土坑 562
土坑 563
土坑 564
土坑 565
土坑 566
土坑 567
土坑 568
土坑 569
土坑 570
土坑 571
土坑 572
土坑 573
土坑 574
土坑 575
土坑 576
土坑 577
土坑 578
土坑 579
土坑 580
土坑 581
土坑 582
土坑 583
土坑 584
土坑 585
土坑 586
土坑 587
土坑 588
土坑 589
土坑 590
土坑 591
竪穴 6
38 住
竪穴 8
溝状 2
溝状 4
0
2m

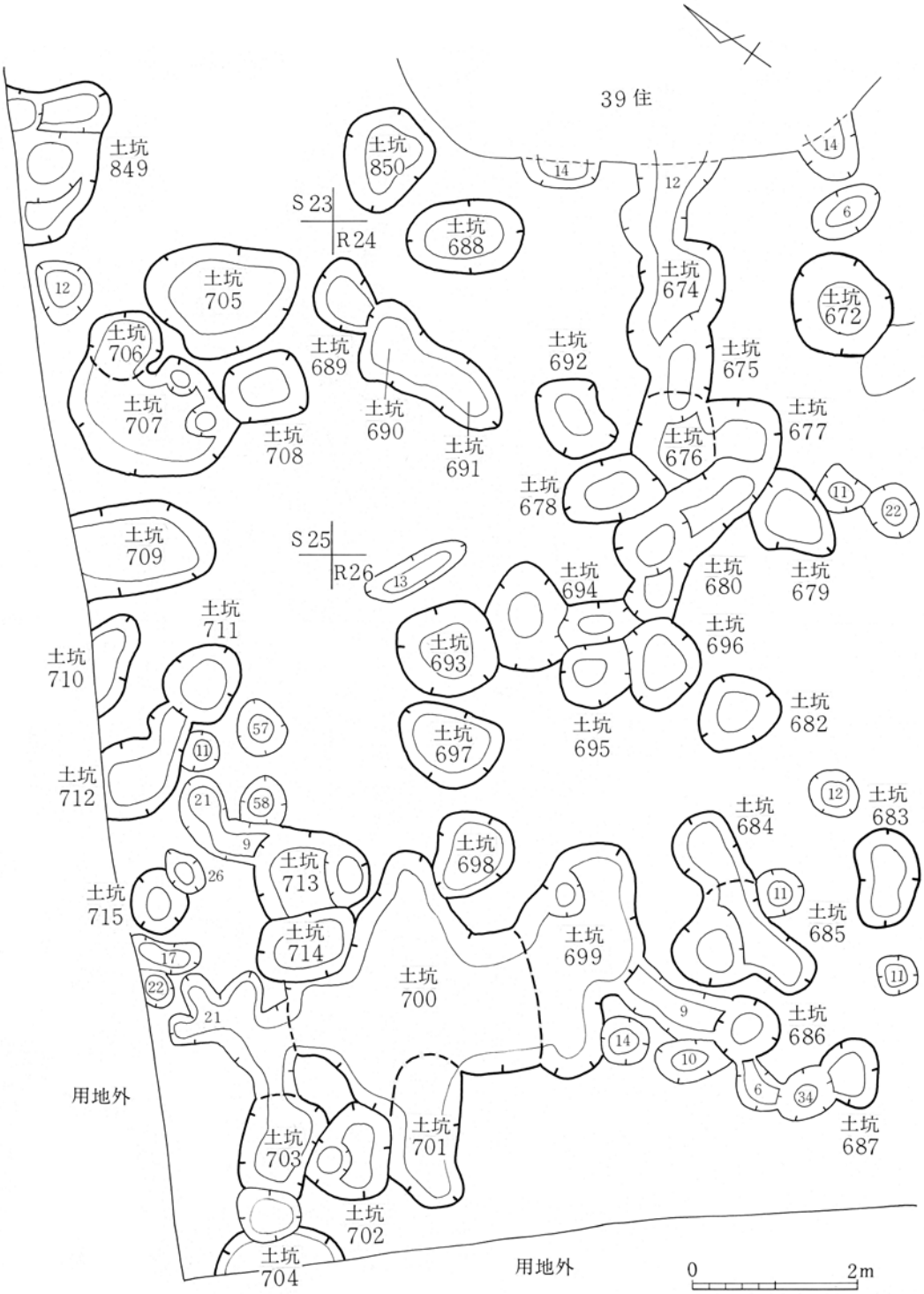
挿図 10　土坑平面図 (2)


G21
F22
G23
F24
土坑758
土坑759
土坑635
土坑634
土坑636
土坑637
土坑633
土坑628
土坑627
土坑629
土坑630
土坑638
土坑640
土坑641
土坑626
土坑625
土坑632
土坑623
土坑621
土坑620
土坑622
土坑642
土坑643
土坑624
土坑645
土坑644
土坑738
土坑739
用地外
土坑616
土坑617
土坑618
土坑619
土坑615
土坑614
土坑613
土坑611
土坑612
土坑631
用地外
0
2m

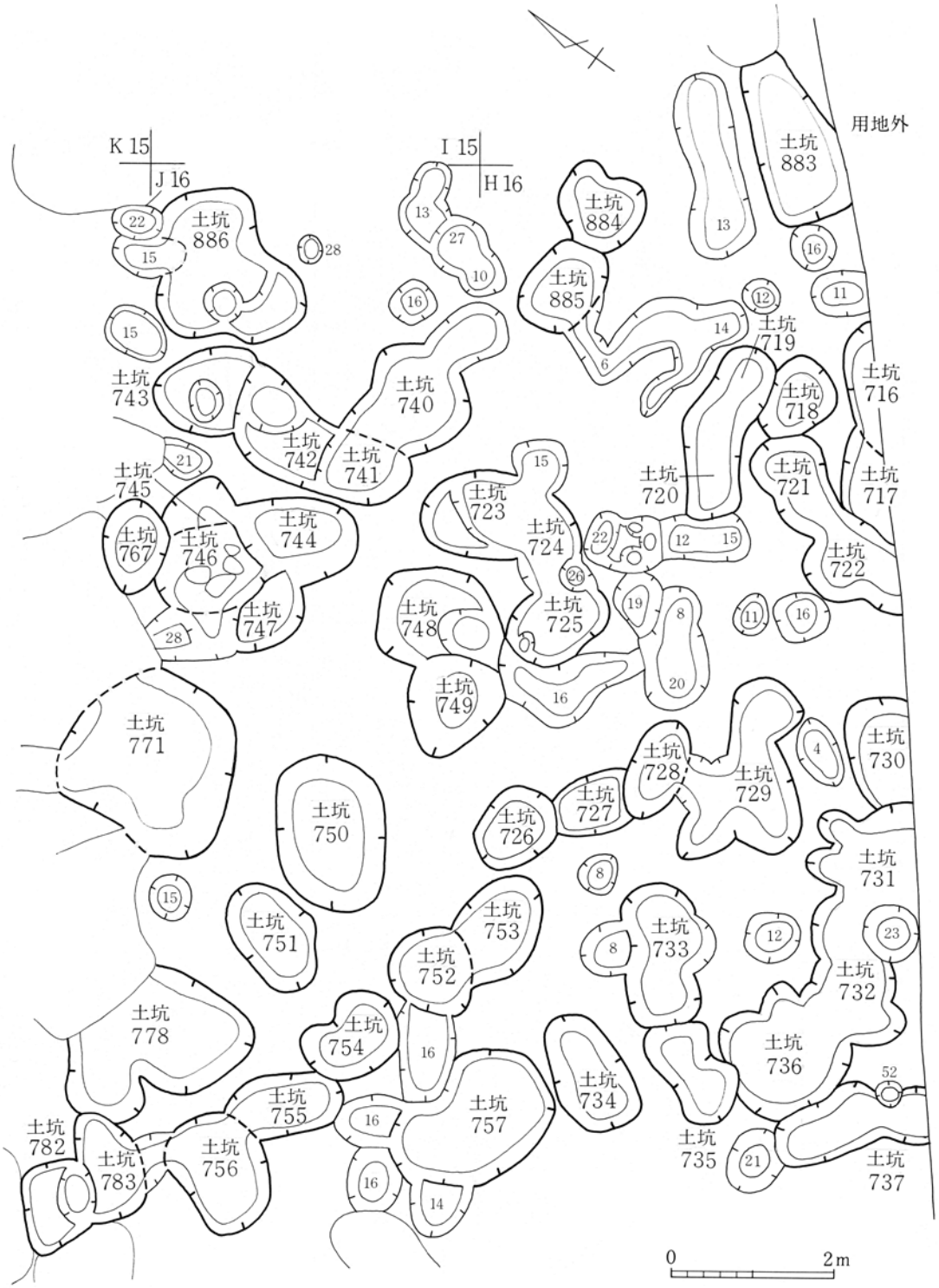
挿図 11　土坑平面図 (3)


O 21
N 22
M 21
L 22
土坑 760
土坑 761
土坑 784
土坑 763
土坑 762
土坑 802
土坑 826
土坑 803
土坑 805-1
土坑 787
土坑 804
土坑 785
土坑 648
土坑 647
土坑 673
土坑 658
土坑 657
土坑 656
土坑 649
土坑 665
土坑 659
土坑 681
土坑 650
土坑 664
土坑 660
土坑 639
土坑 652
土坑 661
土坑 662
土坑 651-2
土坑 667
土坑 666
土坑 663
土坑 652-1
土坑 653
土坑 668
土坑 669
土坑 654
土坑 646
土坑 655
土坑 671
土坑 670
用地外
0
2m

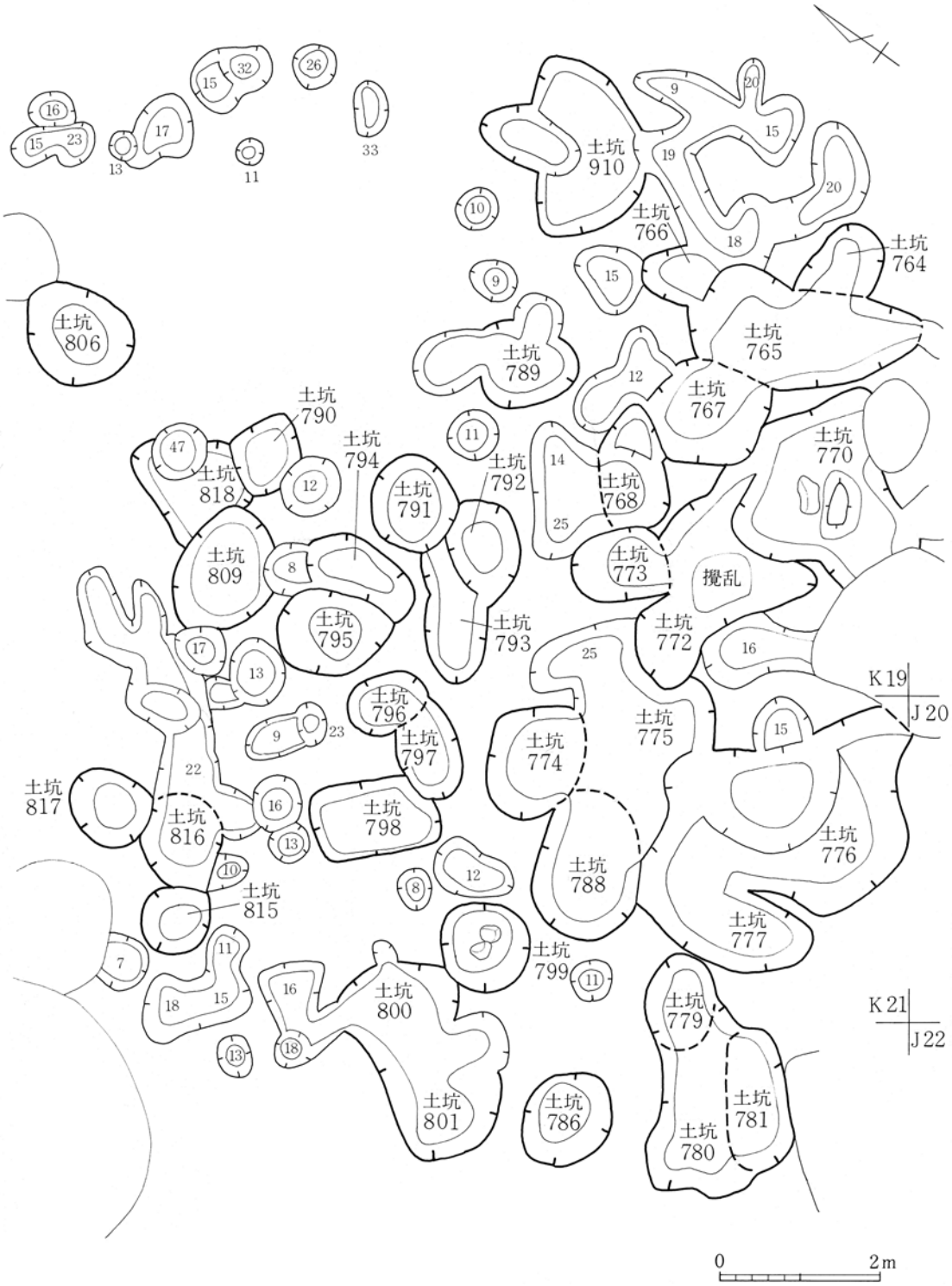
挿図 12　土坑平面図 (4)


39 住
土坑 849
土坑 850
S 23
R 24
土坑 688
土坑 705
土坑 706
土坑 707
土坑 708
土坑 689
土坑 690
土坑 691
土坑 692
土坑 674
土坑 675
土坑 672
土坑 676
土坑 677
土坑 678
土坑 679
土坑 680
土坑 709
S 25
R 26
土坑 694
土坑 696
土坑 693
土坑 682
土坑 697
土坑 695
土坑 711
土坑 710
土坑 712
土坑 684
土坑 683
土坑 698
土坑 713
土坑 715
土坑 714
土坑 685
土坑 699
土坑 700
土坑 686
用地外
土坑 703
土坑 701
土坑 687
土坑 702
土坑 704
用地外
0
2m

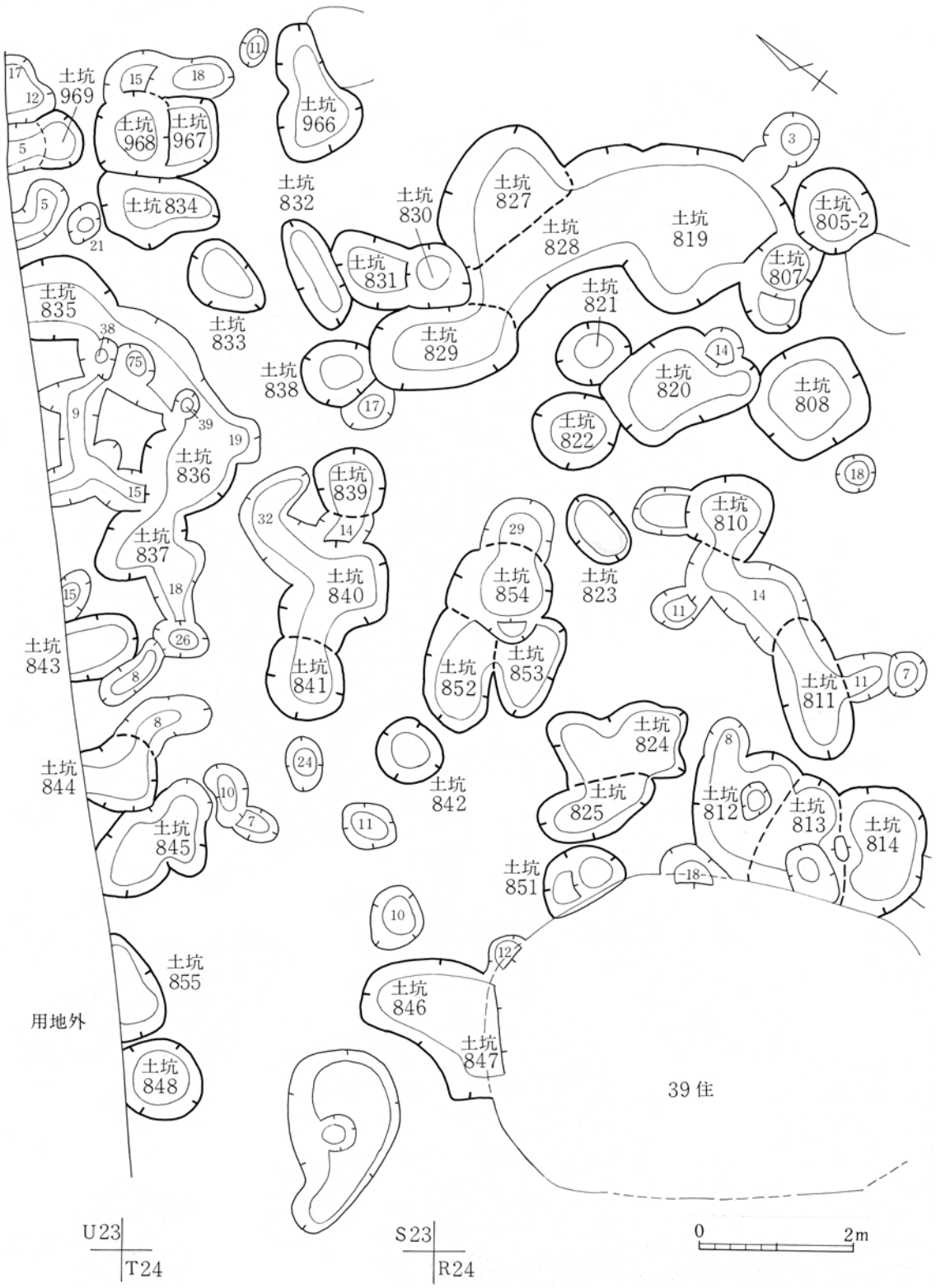
挿図 13　土坑平面図 (5)


K 15
J 16
I 15
H 16
用地外
土坑 886
土坑 884
土坑 885
土坑 883
土坑 719
土坑 718
土坑 716
土坑 717
土坑 743
土坑 740
土坑 742
土坑 741
土坑 745
土坑 767
土坑 746
土坑 744
土坑 747
土坑 723
土坑 724
土坑 720
土坑 721
土坑 722
土坑 748
土坑 725
土坑 749
土坑 771
土坑 750
土坑 728
土坑 729
土坑 727
土坑 726
土坑 730
土坑 731
土坑 751
土坑 753
土坑 752
土坑 733
土坑 732
土坑 778
土坑 754
土坑 736
土坑 734
土坑 755
土坑 757
土坑 782
土坑 783
土坑 756
土坑 735
土坑 737
0
2m

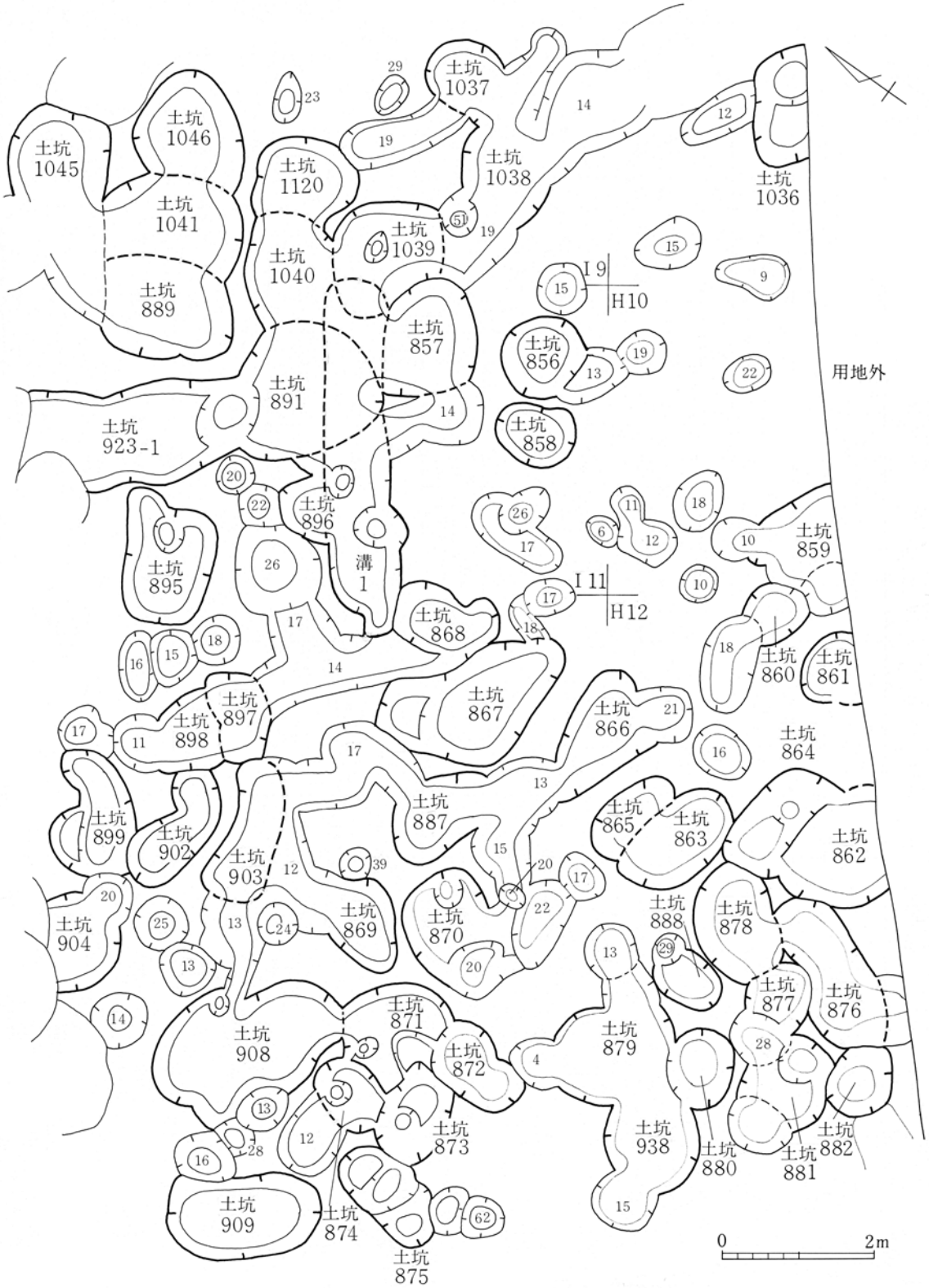
挿図 14　土坑平面図 (6)


土坑
910
土坑
766
土坑
764
土坑
765
土坑
767
土坑
770
土坑
806
土坑
789
土坑
790
土坑
818
土坑
794
土坑
791
土坑
792
土坑
768
土坑
809
土坑
795
土坑
793
土坑
773
撹乱
土坑
772
土坑
796
土坑
797
土坑
774
土坑
775
土坑
817
土坑
816
土坑
798
土坑
788
土坑
776
土坑
815
土坑
799
土坑
777
土坑
800
土坑
779
土坑
801
土坑
786
土坑
781
土坑
780
K 19
J 20
K 21
J 22
0
2m

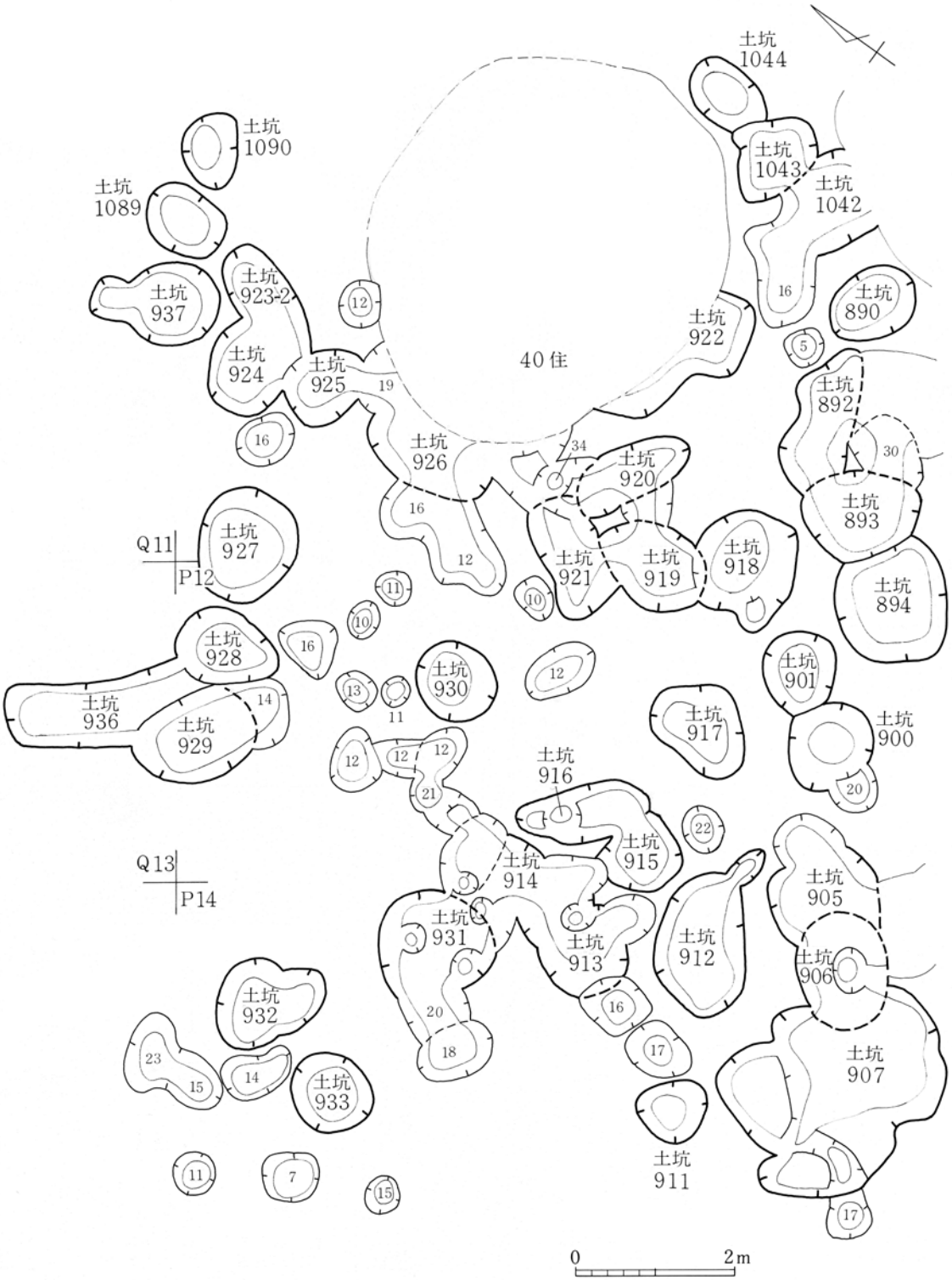
挿図 15　土坑平面図 (7)


土坑969
土坑968
土坑967
土坑966
土坑834
土坑832
土坑830
土坑827
土坑828
土坑819
土坑805-2
土坑807
土坑831
土坑821
土坑835
土坑833
土坑829
土坑838
土坑820
土坑808
土坑822
土坑836
土坑839
土坑810
土坑837
土坑840
土坑854
土坑823
土坑843
土坑841
土坑852
土坑853
土坑811
土坑824
土坑844
土坑842
土坑825
土坑812
土坑813
土坑814
土坑845
土坑851
土坑855
土坑846
用地外
土坑847
土坑848
39 住
U23
T24
S23
R24
0
2m

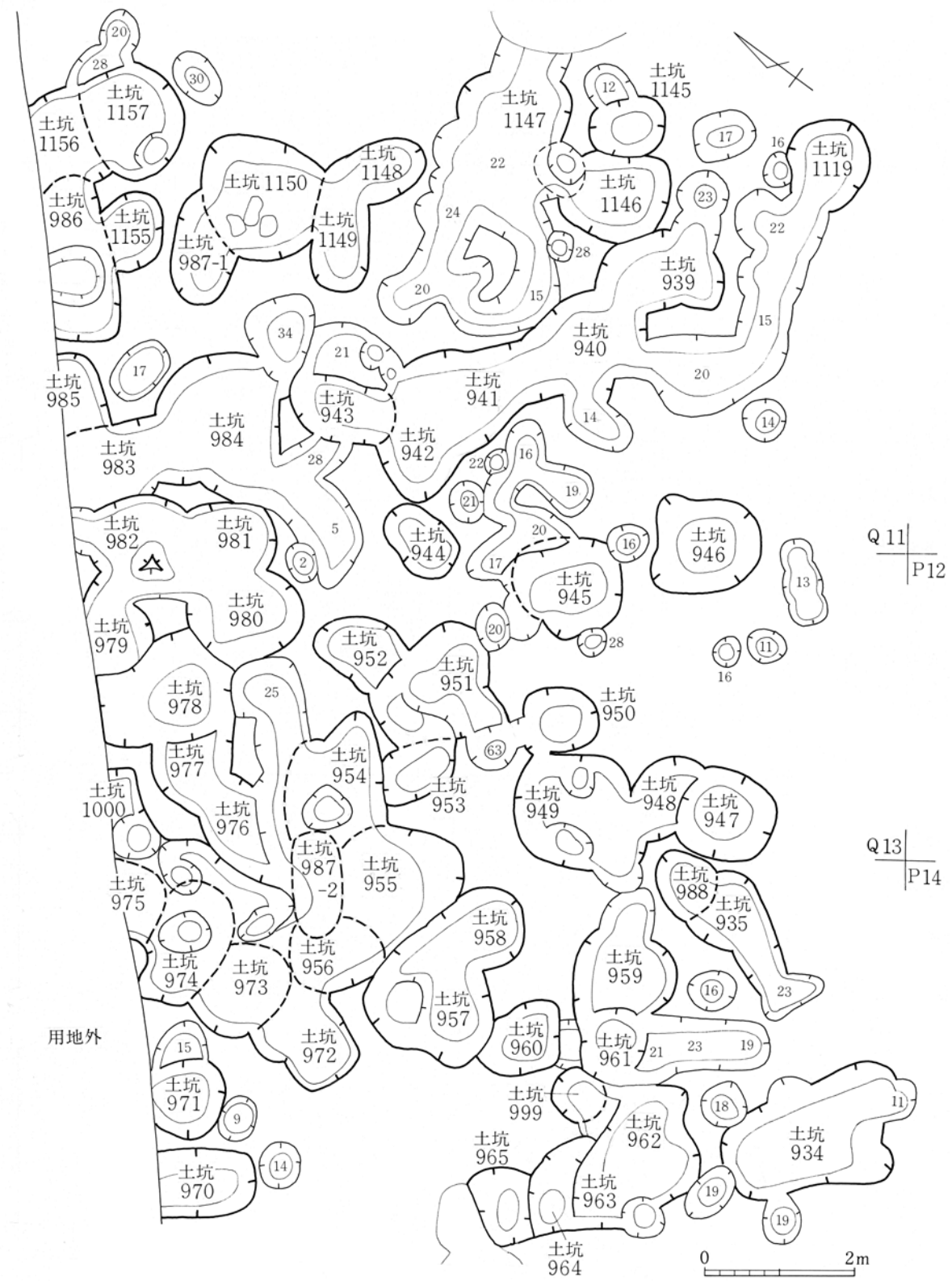
挿図 16　土坑平面図 (8)


土坑 1037
土坑 1046
土坑 1045
土坑 1041
土坑 889
土坑 1120
土坑 1040
土坑 1039
土坑 1038
土坑 1036
土坑 857
土坑 856
土坑 858
土坑 891
土坑 923-1
土坑 896
溝 1
土坑 895
土坑 868
土坑 867
土坑 859
土坑 860
土坑 861
土坑 897
土坑 898
土坑 866
土坑 864
土坑 887
土坑 865
土坑 863
土坑 862
土坑 899
土坑 902
土坑 903
土坑 869
土坑 870
土坑 888
土坑 878
土坑 904
土坑 877
土坑 876
土坑 871
土坑 908
土坑 872
土坑 879
土坑 873
土坑 938
土坑 880
土坑 881
土坑 882
土坑 909
土坑 874
土坑 875
I 9
H10
I 11
H12
用地外
0
2m

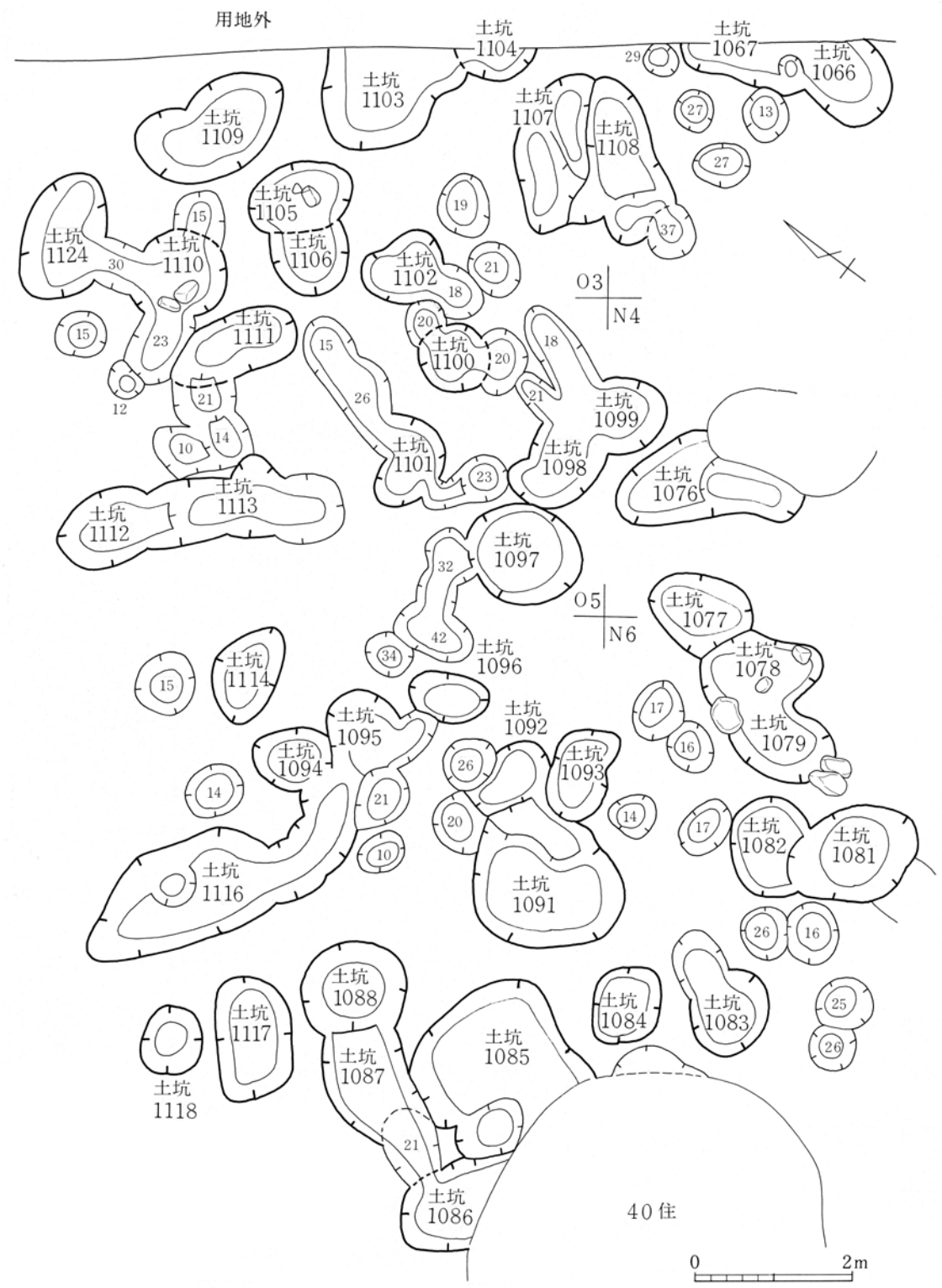
挿図 17　土坑平面図 (9)



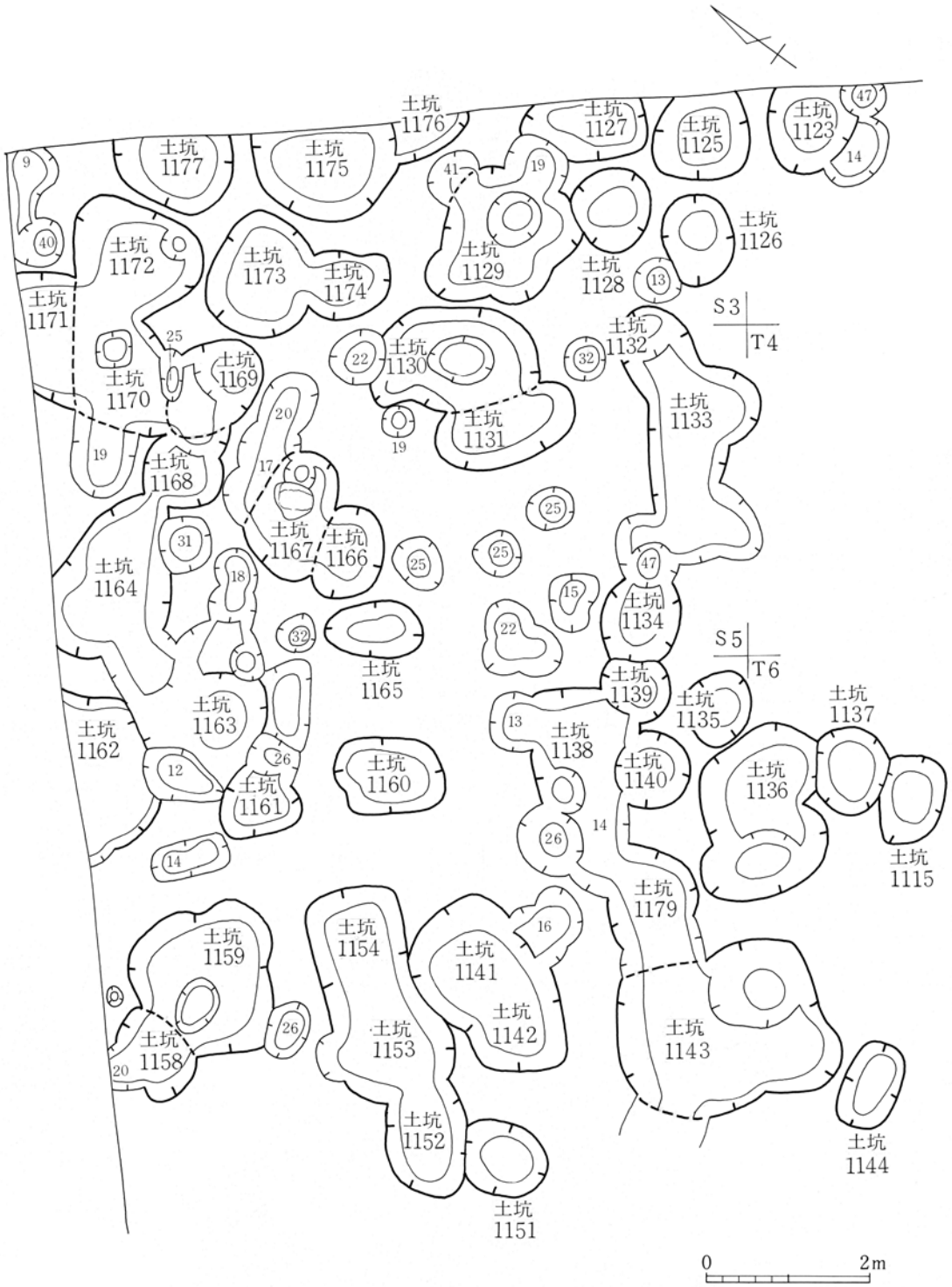
挿図 18　土坑平面図（10）



挿図 19　土坑平面図（11）



挿図 20　土坑平面図（12）



挿図 21　土坑平面図 (13)

石器については、図版に掲載した石器の概要を表２にまとめた。

なお、遺構・遺構外全体で石器を石材別にみると、総点数674点中硬砂岩314点（46.6％）緑色岩191点（28.3%）、黒曜石76点（11.3％）となっており、他にチャート４点・下呂石18点・頁岩１点・安山岩３点・花崗岩14点・粘板岩１点・水晶１点・その他となっている。器種別にみると、打製石斧は硬砂岩48点（47.1％）･緑色岩51点（50.0％）と拮抗する一方、横刃型石器では硬砂岩108点（72.5％）･緑色岩35点（23.5％）と硬砂岩が卓越する。調査地点からは硬砂岩・緑色岩の石核は出土していないことから、横刃型石器の素材を天竜川で粗割して獲得し、遺跡内に持ち込まれたと考えられる。

石核・剥片類（微細剥離をもつものを含む）や、細石器、弥生時代の石器類を除くトゥール類334点の器種別組成をみると、横刃型石器149点（44.6％）、打製石斧102点（30.5%）、石錘21点（6.3％）、磨石類10点（3.0％）、磨製石斧･粗製石匙･敲打器各８点（2.4％）、石皿６点（1.8％）、石鏃５点（1.5％）、ピエス・エスキーユ４点（1.2％）、石錐・石匙各３点（0.9％）、掻器２点、削器１点等となっている。粗製石匙が一定数あることは注目される。

第Ⅳ章　総　　括

以上のとおり、調査の結果、竪穴建物址３棟、竪穴３基、土坑622基、溝址１条、溝状址３条、それに小柱穴等が調査された。調査遺構のうち溝状址と小穴の一部が時期不明となる他は、大半が縄文時代中期中葉から中葉末に位置づくものである。

今次調査地点北側での、昭和62年に株式会社平和時計製作所の新工場移転建設に伴い実施した調査（挿図２、№３地点）結果や、その北西側で平成３年に同社の工場増設に先立ち実施した発掘調査（未報告）と比べると、竪穴建物址の数は前者の11軒・後者の23軒に比し少なく、それぞれの建物址同士の間隔も離れている。一方、土坑の数は激増している。

昭和62年の調査時において、集落存続期間は中期中葉に始まり中期終末期に至っていたことが指摘され、このうち中期中葉の集落は、№３地点の東方段丘最先端部一帯との推定がなされたところである。そして、中期後葉から終末期の中心部は、№３地点を含む工場用地とその北側に緩く傾斜する一帯で、当地方屈指の大集落を成していた可能性が指摘されている（飯田市教委　1989）。中期後葉から終末にかけての集落に関しては、上記№３地点北西隣接地の工場増設地点における調査である程度これを裏付ける調査結果が得られている。

一方、東方段丘最先端部一帯に分布するとの推定がなされた中期中葉の集落はどうであろうか。今次調査の遺構・遺物の主体が当該期であることは上記予察を大きく修正する必要はないと考えられる。しかし、当該調査地西側のトラックターミナル建設に先立つ発掘調査（同、№２地点）においては、縄文時代中期中葉から終末にかけての断片的な遺構・遺物の状況から、該期集落について周縁的な状況が把握されている（同　2021）。また、№２地点南側の諸開発において、当該期の遺構・遺物は確認されておらず、密集する土坑群を別にすれば、竪穴建物址の疎らな分布状況からも大規模な集落の存在は想定しがたい状況である。

多数把握された土坑群については、居住域外側の土地利用を含めた集落構造の全容を把握する上で、これらの位置づけが重要といえる。あるいは複数の土坑が重複し、切り合うものも多く、調査部分に連続的に広がっている。ほとんどの土坑の性格は不明と言わざるを得ないが、ほぼ完形の土器を数個体伴うものもあり、これらは墓としての様相が強いともいえ、土壙墓と考えられるものがある。松尾地区の城陸遺跡（同　2003）では、呪術的色彩が強い土偶、個人的装備とみられる石匙、意図的に破砕された土器が伴う土坑等、土壙墓群が調査されている。中期初頭の遺構群が調査された伊賀良地区の富の平遺跡（同　1996）は、竪穴建物が削平され住居内施設が把握された可能性も指摘されているものの、形態や出土遺物から墓域の一画が調査された可能性が高い。これら２遺跡で把握された墓域の様相に比し、今次調査で把握された土坑群は、土壙墓が一部あるにしても規模・形態がまちまちであり、集落構造を異にする可能性が高い。

今のところこの地区において縄文時代中期中葉から後半の集落の一部を検出したに過ぎず、具体的な全容を論ずることは困難といえるが、周辺で実施された調査等を総合的に研究することによって、本遺跡の内容が明らかにされ、かつ当地方における当該時期を代表する集落の姿を明らかにすることができるといえる。

今次調査で主体として出土した中期中葉から中葉末にかけての遺物は、城陸遺跡で指摘されているとおり、松本平から天竜川流域の伊那谷を中心に分布する平出ⅢＡ式土器と飯伊地方を中心に分布する下伊那型櫛形文土器からなる在地系、八ヶ岳西南麓から西関東に多く分布する狢沢式～井戸尻式（勝坂系土器）の中部高地・関東系、北裏Ｃ式・山田平式等東海系、関西地方から中国地方に分布する船元式の関西系等である。他地域との交流の実態については、調査担当者の力量不足もあってなお明らかではない。今後、№３地点北西側の調査結果を吟味する際、改めて検討していく必要がある。

この間に調査の主担当の退職があったとはいえ、本発掘調査報告書の刊行までに相当の期間を要したことにより、多くの皆様に多大なご不便・ご迷惑をおかけしたことを記し、結びとします。

引用参考文献

飯田市教育委員会　1989 『下原遺跡』
飯田市教育委員会　1996 『富の平遺跡』
飯田市教育委員会　2003 『城陸遺跡』
飯田市教育委員会　2021 『下の原Ａ遺跡』
佐藤全敏　2013・2014 「信濃国伊賀良荘光明寺と二つの経筒（上・下）」『信濃』65-12、66-2
下伊那誌編纂会　1961 『下伊那史』第４巻

表１　土坑観察表

SKNo.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
551	1トレ H4・H5	—×64	34	—	黒色土	なし	不明	ド552と重複
552	1トレ H4・H5	—×128	20(30)	—	漆黒土	平出ⅢA、勝坂系？ 横刃型石器	中期中葉	ド551・1012と重複 底部片上がり
553	1トレ G4・H4	—×—	19(23)	—	漆黒土	平出ⅢA、非在地系	中期中葉	ド554他と重複
554	1トレ G4・G5	140×80	13・25	楕円形	黒色土	在地系 石錘	中期中葉？	ド553・555他と重複
555	1トレ G5	—×—	19	—	黒色土	打製石斧	不明	ド554他と重複
556	1トレ F4・F5	92×68	29	(楕円形)	漆黒土	非在地系	中期中葉	重複遺構あり
557	1トレ E4・E5・F4・F5	104×—	20(23)	(楕円形)	漆黒土	なし	不明	ド558・559と重複
558	1トレ E5	—×84	7(21)	—	黒色土	非在地系？ 打製石斧	中期中葉？	ド557と重複
559	1トレ F4	—×64	21	—	漆黒土	なし	不明	ド557他と重複
560	1トレ D4・D5・E4・E5	112×76	20	楕円形	黒色土	なし	不明	
561	1トレ C5・D5	120×—	17(26)	—	黒色土	剥片	不明	重複遺構あり
562	1トレ A5・B5	112×—	12・19	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か 重複遺構あり
563	1トレ A4・B4	—×—	16(24)	—	黒色土	剥片	不明	複数遺構の重複か 重複遺構あり
564	1トレ	92×—	20	—	黒色土	横刃型石器	不明	
565	1トレ	(80)×68	17	(楕円形)	漆黒土	なし	不明	ド566と重複
566	2トレ	—×—	18	—	漆黒土	非在地系？	中期中葉？	複数遺構の重複か ド565・567・568と重複
567	2トレ	96×—	22	—	漆黒土	非在地系	中期中葉？	ド566・568と重複
568	2トレ	(124)×72	20	(楕円形)	漆黒土	なし	不明	ド566・567と重複
569	1トレ	132×104	35(58)	楕円形	暗褐色土	なし	不明	
570	1トレ	132×—	18(29)	—	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複か 重複遺構あり
571	1トレ	220×104	17	瓢箪形	黄土混 黒色土	非在地系 剥片	中期中葉	複数遺構の重複か ド572他と重複
572	1トレ	188×—	18	—	黒土混 褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か ド571と重複
573	1トレ	144×76	20	楕円形	黒色土	なし	不明	溝状址4他と重複
574	2トレ	—×68	19	(楕円形)	暗褐色土	土器小片	中期？	ド575と重複 底部片上がり
575	2トレ	120×—	21(25)	(円形)	黒色土	土器小片	中期？	竪穴8・ド574と重複
576	2トレ	176×120	28	瓢箪形	暗褐色土	なし	不明	ド580他と重複 底部片上がり
577	2トレ	—×—	11	—	暗褐色土	なし	不明	竪穴8と重複
578	2トレ	(128)×92	25	楕円形	黒色土	なし	不明	ド579・580と重複
579	2トレ	80×76	22	不整円形	暗褐色土	細隆線文	中期中葉末 ～後葉	ド578他と重複
580	2トレ	—×(116)	22	—	黒色土	細隆線文、藤内式？ 打製石斧・横刃型石 器・敲打器	中期中葉 中葉末～後 葉	ド576・578・581と重複
581	2トレ	192×—	23	—	暗褐色土	土器小片	中期	ド580・582と重複
582	2トレ	132×92	19	瓢箪形	黒土混 暗褐色土	なし	不明	ド581・584と重複
583	2トレ	92×88	18(32)	方形	漆黒土	剥片	不明	
584	2トレ	152×—	15(47)	—	黒色土	なし	不明	ド582・585・588と重複
585	2トレ	92×—	25	—	暗褐色土	剥片	不明	ド584と重複
586	2トレ	80×—	19	—	暗褐色土	なし	不明	ド587と重複
587	2トレ	76×64	25	円形	—	なし	不明	ド586・588他と重複
588	2トレ	—×—	—	—	黄土混 褐色土	なし	不明	ド584・585・587・589と重複
589	2トレ	(260)×—	—	—	黒色土	平出ⅢA、井戸尻式・ 勝坂系 打製石斧	中期中葉	複数遺構の重複か ド588・590と重複
590	2トレ	88×—	19	—	暗褐色土	土器小片 剥片	不明	ド589他と重複
591	2トレ	—×136	15(21)	—	褐土混 黒色土	抉入打製石包丁	弥生後期	竪穴6と重複
592	2トレ	136×—	23(34)	—	黒色土	なし	不明	
593	2トレ	264×—	19(31)	—	黒色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複か ド595と重複

SK№	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
594	2トレ	88×64	22	楕円形	黒色土	土器小片	中期？	
595	2トレ	—×100	21	—	黒色土	なし	不明	ド593・596と重複
596	2トレ	—×104	20(26)	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か ド595・597・598と重複
597	2トレ	100×84	22	楕円形	褐色土	なし	不明	ド595・596・598と重複
598	2トレ	80×76	34(42)	円形	黒色土	なし	不明	ド596・597と重複
599	2トレ	108×72	15	(楕円形)	黒色土	なし	不明	
600	2トレ	—×240	12	—	黒色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複か 重複遺構あり
601	2トレ	—×—	10	—	褐色土	なし	不明	重複遺構あり
602	2トレ	—×—	25	—	黒色土	土器小片	中期？	
603	2トレ	—×176	12	楕円形	黄土混 黒色土	なし	不明	ド607と重複 底部片上がり
604	2トレ	—×—	16	—	暗褐色土	なし	不明	ド605と重複
605	2トレ	—×72	13	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド604と重複
606	2トレ	—×88	15	—	黄土混 暗褐色土	在地系？、非在地系？	中期中葉？	ド607と重複
607	2トレ	108×52	26	楕円形	暗褐色土	なし	不明	ド603・606と重複
608	2トレ	—×76	27	—	暗褐色土	土器小片 剥片	中期	重複遺構あり
609	3トレ	—×100	38	(楕円形)	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複か
610	3トレ	100×64	25	楕円形	黒色土	なし	不明	
611	3トレ A24・B24	132×84	32(39)	楕円形	黄土混 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か
612	3トレ A24・B24	140×—	18(24)	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か
613	3トレ B24	84×68	20	楕円形	褐色土	なし	不明	
614	3トレ C24・D24	140×80	22(28)	楕円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か 重複遺構あり
615	3トレ D25	96×—	18	—	褐色土	なし	不明	重複遺構あり
616	3トレ E24	92×92	22	(円形)	黒色土	なし	不明	底部片上がり
617	3トレ E24	96×56	21	楕円形	暗褐色土	なし	不明	底部片上がり
618	3トレ E25	—×—	22	(楕円形)	漆黒土	土器小片	中期？	ド619と重複
619	3トレ E25	—×—	15・21	(楕円形)	漆黒土	なし	不明	複数遺構の重複か ド618・631と重複
620	E27	—×80	19	—	暗褐色土	横刃型石器・磨石	不明	
621	E26・E27・F26・F27	(108)×100	15	(円形)	黒色土	なし	不明	ド622他と重複
622	f27	—×80	14	—	暗褐色土	なし	不明	ド621他と重複
623	F26・F27・G26・G27	128×116	25	円形	黒色土	非在地系？	中期中葉？	重複遺構あり
624	H27・H28	—×80	53	(楕円形)	黄土混 漆黒土	なし	不明	ド644と重複
625	H26・H27	136×104	27	楕円形	黒色土	石鏃	不明	ド626・632と重複
626	H26・H27・I26・I27	140×120	16	(不整楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド625・627・629・641と重複
627	H25・H26・I25・I26	(216)×144	39	(楕円形)	漆黒土	土器小片	中期	ド626・628・633と重複
628	H25	—×100	29	—	暗褐色土	なし	不明	ド627他と重複
629	H25・H26	—×92	23	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド626・630他と重複
630	G25・G26	(240)×120	19(40)	(楕円形)	黒色土	なし	不明	ド629他と重複
631	E25・E26・F25・F26	—×108	20	—	褐色土混 黒色土	なし	不明	ド631と重複
632	G27	120×100	26	楕円形	漆黒土	土器小片、陶器	後期後葉？	ド625と重複
633	I25	(100)×80	19	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド627と重複
634	I24・J24	108×108	20	円形	黒色土	なし	不明	
635	I24・J24	116×84	14	楕円形	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
636	J24・J25	220×192	40	不整楕円形	焼土	勝坂系 剥片	中期中葉	複数遺構の重複か 底部片上がり
637	I25	88×84	17	円形	暗褐色土	なし	不明	

SKNo.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
638	J26	128×108	12	不整楕円形	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複か
639	J26・K26	88×84	23	方形	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
640	I26	96×84	19	楕円形	黒色土	なし	不明	
641	H26・H27・I26・I27	148×88	21	(楕円形)	暗褐色土	器台、非在地系	中期中葉	ド626と重複 底部片上がり
642	I27・I28・J27・J28	160×108	14	(不整長方形)	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 重複遺構あり
643	I28	—×68		—	黒色土	なし	不明	ド645と重複
644	H28・I28	—×—		—	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド624・645と重複
645	I28・J28	—×—		—	暗褐色土	なし	不明	ド643・644と重複
646	J28	—×100	21	(円形)	黒色土	なし	不明	重複遺構あり
647	K24・L24	184×88	14	不整楕円形	黒色土	なし	不明	ド785と重複 重複遺構あり
648	L23・L24・M23・M24	104×88	24	長方形	漆黒土	なし	不明	
649	J25・K25	(208)×160	16	(楕円形)	黒色土	非在地系？ 打製石斧	中期中葉？	ド650と重複 重複遺構あり
650	K25・L25	200×—	28	不整形	暗褐色土	なし	不明	ド649と重複 複数遺構の重複か
651	K26・K27	192×120	30	長方形	黒色土	土器小片	中期	ド652と重複
652	K26・K27	116×80	12(20)	瓢箪形	暗褐色土	非在地系？	中期中葉？	複数遺構の重複
652	L27・M27	100×—	21	—	暗褐色土			ド651他と重複
653	L27	88×76	6	方形	暗褐色土	なし	不明	
654	L27・L28	116×68	10	不整楕円形	暗褐色土	なし	不明	
655	K28・K29	128×—	13	—	漆黒土	なし	不明	
656	M24・M25・N24・N25	104×84	7	楕円形	黒色土	土器小片	不明	ド657と重複
657	N24・N25	—×116	22	(楕円形)	暗褐色土	土器小片	不明	ド656・658と重複
658	N24・N25・O24・O25	(128)×84	13	(楕円形)	黒色土	非在地系？	中期中葉？	ド657他と重複
659	M25・M26	(100)×96	21	(円形)	暗褐色土 黒色土	なし	不明	ド660他と重複
660	M26	100×100	18	円形	黒色土	なし	不明	ド659・661と重複
661	M26	120×76	15	不整楕円形	黒色土	なし	不明	ド660・662と重複
662	L26・M26	92×92	20	円形	暗褐色土	なし	不明	ド661と重複
663	M26・M27	140×88	19	長方形	黒色土	なし	不明	
664	N26	148×68	17	楕円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か 底部片上がり
665	N26	—×72	16	(不整楕円形)	黒色土	なし	不明	重複遺構あり
666	N26・N27	—×64	14	(不整楕円形)	黒色土	なし	不明	重複遺構あり
667	N27・O27	140×116	20	楕円形	漆黒土	在地系、非在地系	中期中葉	
668	N28・O28	(112)×72	13	(長方形)	黒色土	なし	不明	ド669と重複
669	M28・N28	—×92	8	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド668他と重複
670	L29・M29	—×172	12	—	黒色土	なし	不明	
671	M29・N29	—×100	19	(方形)	漆黒土	なし	不明	
672	O24・P24	132×120	35	円形	黒色土	なし	不明	重複遺構あり
673	O24	120×80	12	楕円形	黒色土	土器小片	不明	重複遺構あり
674	P24・Q24	—×120	12	(楕円形)	暗褐色土	非在地系	中期中葉	ド675他と重複
675	P24・Q24	—×75	44	(楕円形)	暗褐色土	在地系	中期中葉	ド674・676と重複
676	P25・Q25	(112)×(96)	17	(方形)	黒色土	なし	不明	ド677・678・680と重複
677	P25	—×—	13	—	黒色土	なし	不明	ド676・679・680と重複
678	Q25	120×80	18	楕円形	黒色土	なし	不明	ド676・680と重複
679	P25	112×92	13	不整楕円形	黒色土	なし	不明	ド677・680他と重複
680	P25・P26・Q25・Q26	—×100	12(61)	不整形	暗褐土混 黒色土	土器小片	不明	ド676～679・694・696と重複

SKNo.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
681	O26	132×104	10	不整長方形	暗褐色土	なし	不明	
682	P26・P27	100×88	12	不整円形	漆黒土	土器小片	中期？	
683	O27・O28	116×72	16	楕円形	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複か 底部片上がり
684	P27	—×76	7	—	暗褐色土	なし	不明	ド685と重複
685	P28	160×120	9(29)	不整形	黒色土	なし	不明	ド684他と重複
686	P28・P29	76×76	41	円形	漆黒土	なし	不明	重複遺構あり
687	O28・O29・P28・P29	80×80	15	円形	漆黒土	なし	不明	重複遺構あり
688	Q23・Q24・R23・R24	140×88	14	楕円形	暗褐色土	なし	不明	
689	R24・S24	—×80	14	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド690と重複
690	R24	—×100	17	—	黒色土	なし	不明	ド689・691と重複
691	R24・R25	—×72	14	—	黒色土	なし	不明	ド690と重複
692	Q24・Q25	96×80	43	長方形	黒色土	なし	不明	
693	R26	116×108	33	円形	黒色土	なし	不明	ド694と重複
694	Q26・R26	—×128	19・40	不整形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	ド680・693・695・696と重複
695	Q26	84×76	59	方形	黒色土	なし	不明	ド694・696と重複
696	P26・Q26	112×88	25	不整円形	黒色土	なし	不明	ド680・694・695と重複
697	R26・R27	128×96	15	不整楕円形	褐色土	なし	不明	
698	R27	112×100	15	不整円形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	ド700と重複
699	Q27・Q28・Q29	276×—	22(34)	不整形	黒土混 褐色土	剥片	不明	複数遺構の重複 ド700他と重複
700	Q28・Q29・R28 ・R29・S28・S29	156×—	28	不整形	褐土混 黒色土	非在地系 磨石	中期中葉	複数遺構の重複 ド698・699・701¥・702・714 他と重複
701	R29・S29	(184)×80	18	(不整長方形)	黒色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複か ド700・702と重複
702	R29・S29	116×100	14(34)	不整円形	黒色土	土器小片	不明	複数遺構の重複 ド700・701・703と重複
703	S29	—×88	22	長方形	黒色土	なし	不明	ド702他と重複
704	S30	156×—	11	(円形)	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり 底部片上がり
705	S24・T24	188×140	27	不整楕円形	黄土混 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か 底部片上がり
706	T24	88×(80)	7	(円形)	黒色土	なし	不明	ド707と重複
707	S24・S25・T24・T25	176×140	14	不整楕円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド706・708と重複
708	S24・S25	100×80	12	長方形	黒色土	なし	不明	ド707と重複
709	S25・S26・T25・T26	—×108	17	(楕円形)	暗褐混 黒色土	土器小片	不明	
710	T26	—×—	16	—	暗褐色土	なし	不明	
711	S26	96×88	15	円形	黒褐色土	なし	不明	ド712と重複
712	S27・T27	—×96	26	不整瓢箪形	黒色土	なし	不明	ド711他と重複
713	R27・R28・S27・S28	140×108	18(35)	不整楕円形	褐土混 黒色土	なし	不明	ド714他と重複
714	R28・S28	112×80	22	長方形	黒色土	なし	不明	ド700・713と重複
715	S27・S28・T27・T28	80×68	31	円形	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
716	F16・F17	—×—	12	—	暗褐色土	なし	不明	ド717と重複
717	F17・F18	—×—	10	—	黄土混 暗褐色土	なし	不明	ド716・721・722と重複
718	F17・G17	104×80	15	楕円形	暗褐色土	なし	不明	ド719・721と重複
719	G17	—×72	30	—	暗褐色土	勝坂系	中期中葉	ド718・720と重複
720	G17・G18	—×68	10	—	暗褐色土	なし	不明	ド719他と重複
721	F17・F18・G17・G18	—×92	16	—	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド717・718・722と重複
722	F18	—×100	17	—	黒色土	非在地系？	中期中葉？	複数遺構の重複 ド717・721と重複
723	H17・H18・I17・I18	—×112	12・28	—	漆黒土	なし	不明	ド724他と重複

SK№	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
724	H17・H18	—×—	28	—	漆黒土	なし	不明	ド723他と重複
725	H18	132×92	11(24)	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
726	H19・H20	108×88	19	楕円形	褐土混 暗褐色土	なし	不明	ド727と重複
727	H19・H20	—×76	14	楕円形	褐色土	なし	不明	ド726・728と重複
728	G19・H19	128×68	16	楕円形	褐色土	なし	不明	ド727他と重複
729	G19・G20	248×128	22	不整形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複 底部片上がり
730	F19	—×—	7	—	褐色土	なし	不明	ド731と重複
731	F19・F20	—×—	17	—	黒土混 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド730・732他と重複
732	F20・F21	—×132	18	—	暗褐色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複 ド731・736他と重複
733	G20・G21・H20・H21	176×88	12	不整長方形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 重複遺構あり
734	H21	156×92	28	楕円形	暗褐色土	なし	不明	t複数遺構の重複か 底部片上がり
735	G21	140×80	20	瓢箪形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド733・736と重複
736	F21・G21	160×160	14	(方形)	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド732・735と重複
737	F21・F22・G21・G22	—×80	14	—	暗褐色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複 ド736他と重複
738	F22	100×76	16	楕円形	暗褐色土	なし	不明	
739	F22・F23	116×—	41	—	漆黒土	なし	不明	
740	I17	—×136	22	—	漆黒土混 褐色土	在地系？、非在地系？	中期中葉？	複数遺構の重複 ド741他と重複
741	I17	112×(80)	19	(楕円形)	黒色土	在地系？、非在地系？	中期	ド740・742と重複
742	J17	—×100	—(27)	—	黒色土	細隆線文	中期中葉末 ～後葉	複数遺構の重複 ド741・743と重複
743	J17	—×108	—(22)	—	褐土混 暗褐色土	土器小片	中期？	複数遺構の重複 ド742と重複
744	I18・J18	140×104	26	楕円形	暗褐色土	なし	不明	ド745～747と重複
745	J17・J18	—×—	29	—	漆黒土	なし	不明	ド744・746・769と重複
746	J18	—×—	29	—	黒色土	なし	不明	ド744・745・747・769他と重複。礫が入る
747	J18	—×—	15	—	暗褐色土	なし	不明	ド746他と重複
748	H18・I18	152×120	8(17)	不整方形	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド749他と重複
749	H19・I19	128×120	27	不整円形	黒色土	なし	不明	ド748他と重複
750	I19・I20・J19・J20	192×136	46	長方形	黒色土	土器小片	中期？	底部片上がり
751	J20・J21	144×92	18	楕円形	褐土混 暗褐色土	なし	不明	
752	I20・I21	112×(100)	37	(不整円形)	漆黒土	なし	不明	ド753他と重複
753	H20・I20	—×108	37	—	暗褐色土	なし	不明	ド752と重複
754	I21・J21	120×96	21	不整楕円形	褐土混 黒色土	非在地系？	中期中葉？	ド755他と重複
755	I21・J21	144×76	13	(楕円形)	暗褐色土	土器小片	中期？	ド754・756他と重複
756	J21・J22	148×108	15	長方形	暗褐色土	非在地系？ 剥片	中期中葉？	ド755他と重複
757	H21・H22・I21・I22	208×140	30	楕円形	漆黒土	土器小片	中期？	複数遺構の重複か 底部片上がり
758	I22・I23	208×92	13	楕円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か
759	I23・J23	136×92	23	瓢箪形	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 底部片上がり
760	J22・K22	88×76	15	不整楕円形	暗褐色土	なし	不明	ド761・784と重複
761	J22・J23・K22・K23	80×72	19	不整楕円形	黒色土	なし	不明	ド760・763・784他と重複
762	J23	88×88	32	円形	暗褐色土	在地系	中期中葉？	重複遺構あり
763	J23・J24・K23	268×132	19	楕円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か ド761・784他と重複
764	K17	—×92	30	—	暗褐色土	なし	不明	ド765と重複
765	K17・K18・L17	(284)×124	39	不整楕円形	黒色土	土器小片	中期？	ド764・766・767他と重複
766	L17	—×72	26	—	暗褐色土	平出ⅢA？	中期中葉？	ド765他と重複
767	K18・L17・L18	136×(124)	33	不整方形	漆黒土	非在地系？	中期中葉？	ド765・768・770他と重複

SKNo.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
768	L18	152×(80)	20(33)	楕円形	黒色土	細隆線文、非在地系	中期中葉 中葉末～後葉	複数遺構の重複か ド767・773他と重複
769	J18・K18	116×80	27	楕円形	黒色土	なし	不明	ド745・746・770他と重複
770	K18・K19	—×196	27	(不整形)	黒色土	非在地系？	中期中葉？	複数遺構の重複 ド767・771・772他と重複
771	J19・J20・K19・K20	216×196	17	不整円形	暗褐色土	なし	不明	ド770・776と重複
772	K19・L18・L19	240×160	31	不整形	暗褐色土	なし	不明	ド770・773・775他と重複
773	L18・L19・M19	(120)×88	15	(楕円形)	褐土混 暗褐色土	土器小片 剥片	中期	ド768・770・772他と重複
774	M20	140×(116)	28	楕円形	黒色土	土器小片 横刃型石器	中期	ド775・788と重複
775	L19・L20	—×—	14	—	暗褐色土	土器小片	中期？	ド772・774・776～778と重複
776	K20・K21・L20・L21	—×200	33(42)	不整形	漆黒土	平出ⅢA、藤内式・勝坂系 ﾋﾟｴｽ・ｴｽｷｰﾕ	中期中葉	ド771・775・777他と重複
777	K21・L21	—×100	15	(楕円形)	褐土混 暗褐色土	在地系	中期中葉	ド775・776・788と重複
778	J21・K21	228×200	11	不整形	黒色土	細隆線文、勝坂系	中期中葉 中葉末～後葉	複数遺構の重複 ド776・783と重複
779	L21・L22	(120)×88	7	(楕円形)	黒色土	なし	不明	ド780と重複
780	L21・L22	—×—	22	—	黄土混 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か ド779・781と重複
781	K22・L22	176×(80)	15	楕円形	黄土混 暗褐色土	なし	不明	ド780・782と重複 底部片上がり
782	K22	96×88	11(43)	方形	黄土混 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド781・783と重複
783	K21・K22	140×—	18	楕円形	暗褐色土	なし	不明	ド778・782他と重複
784	K22・K23	140×120	20	不整長方形	黒色土	なし	不明	ド760・761・763・782と重複
785	K23・K24・L23・L24	140×108	22	楕円形	黒色土	なし	不明	647他と重複
786	L22・M22	128×104	27	楕円形	漆黒土	土器小片 粗製石匙・磨石	中期？	
787	L23・M23	100×100	40	方形	黒色土	土器小片	中期	
788	L20・L21・M20・M21	(180)×132	30	(楕円形)	黒色土	なし	不明	ド774・775・777と重複
789	M17・M18	120×108	14	円形	黒色土	在地系？、非在地系？	中期中葉？	重複遺構あり
790	N18・O18・O19	84×84	7	方形	暗褐色土	なし	不明	ド818他と重複
791	M18・N18	116×108	24	円形	黒色土	土器小片	中期	ド792・793と重複
792	M18・M19	120×88	30	楕円形	暗褐色土	打製石斧	不明	ド791・793他と重複
793	M19	—×76	14	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド791・792と重複
794	N19	140×72	15	楕円形	黒色土	土器小片	不明	ド795他と重複
795	N19	140×104	25	楕円形	暗褐色土	なし	不明	ド794他と重複
796	N19・N20	100×72	14	楕円形	暗褐色土	なし	不明	ド797と重複
797	M20・N20	—×80	13	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド796・798と重複
798	M20・N20	152×92	14	長方形	褐土混 暗褐色土	なし	不明	ド797と重複
799	M21	116×112	44	円形	漆黒土	横刃型石器	不明	ド800と重複
800	M21・M22・N21・N22	136×—	18	—	褐土混 黒色土	なし	不明	ド799・801他と重複
801	M22・N22	140×—	15	—	褐土混 黒色土	剥片	不明	ド800他と重複
802	N22・N23	96×68	15	楕円形	黒色土	なし	不明	
803	N23	108×84	15	楕円形	黒色土	なし	不明	ド804他と重複
804	N23・N24	80×(80)	18	円形	黒色土	なし	不明	ド803他と重複
805	M23	120×92	23	長方形	褐土混 暗褐色土	打製石斧	不明	重複遺構あり
805	P17	104×104	17	円形	暗褐色土			ド806・807と重複
806	O17・O18・P17・P18	140×120	21	楕円形	暗褐色土	平出ⅢA 細石刃	中期中葉？	ド805と重複
807	P17・P18・Q17	128×88	13(48)	楕円形	暗褐色土	平出ⅢA・細隆線文 非在地系	中期中葉 中葉末～後葉	複数遺構の重複 ド805・819と重複
808	P18	152×140	26	方形	暗褐色土	在地系、非在地系 打製石斧・石錘	中期中葉？	ド820と重複

SKNo.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
809	N18・N19・O18・O19	160×120	11	楕円形	暗褐色土	なし	不明	ド818他と重複
810	P19・Q19	112×—	10	楕円形	漆黒土混黒色土	平出ⅢA、勝坂系	中期中葉	重複遺構あり
811	P20	188×84	18	楕円形	黒色土	なし	不明	重複遺構あり
812	Q20・Q21	—×—	18(28)	—	黒色土	なし	不明	39住、ド813他と重複
813	P20・P21	—×—	21	—	黒色土	土器小片 剥片	中期？	複数遺構の重複 39住、ド812・814と重複
814	O21・P21	160×(112)	19	楕円形	褐色土	土器小片	中期	複数遺構の重複 39住、ド813と重複
815	O21	84×84	18	円形	黒色土	なし	不明	ド816と重複
816	O20・O21	(116)×100	22	(円形)	黒色土	なし	不明	ド815・817他と重複
817	O20・P20	100×92	24	円形	黒色土	なし	不明	ド816と重複
818	N18・O18・O19	156×136	5	不整円形	暗褐色土	なし	不明	ド790・809他と重複
819	P17・Q17	220×200	31	不整円形	黒色土	平出ⅢA・細隆線文 非在地系 剥片	中期中葉 中葉末～後葉	複数遺構の重複か ド807・827・828と重複
820	Q18	188×132	24	不整長方形	暗褐色土	平出ⅢA 石錘・細石刃核	中期中葉	複数遺構の重複か ド808・821他と重複
821	Q18・R18	92×80	31	円形	黒色土	土器小片	中期？	ド820と重複
822	Q18・R18	112×100	15	円形	暗褐色土	なし	不明	ド820と重複
823	Q19・R19	100×64	9	楕円形	暗褐色土	なし	不明	
824	Q20・R20	180×100	19	不整長方形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド825と重複
825	Q20・Q21・R20・R21	156×68	17	(楕円形)	黒色土	土器小片	中期？	複数遺構の重複か ド824と重複
826	O23	132×108	19	楕円形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	重複遺構あり 底部片上がり
827	R16・R17	184×(128)	28	(楕円形)	漆黒土	在地系、非在地系 打製石斧・細石刃	中期中葉	ド828・830と重複
828	Q17・R17	—×140	38	—	漆黒土	在地系、非在地系？ 剥片	中期中葉？	ド819・827・829・830と重複
829	R18・S17・S18	192×104	23	(楕円形)	黒色土	在地系？、非在地系 平滑具	中期中葉	複数遺構の重複か ド828・830・838他と重複
830	R17・S17	80×80	60	円形	黒色土	細隆線文	中期中葉末～後葉	ド827・829・831と重複
831	S17	—×88	12	—	黒色土	なし	不明	ド830・832と重複
832	S17・S18・T17	148×60	10	長方形	黒色土	非在地系？	中期中葉？	複数遺構の重複か ド831と重複
833	T17	116×80	17	楕円形	黒色土	なし	不明	
834	T17・U17	160×92	16	楕円形	漆黒土	在地系	中期中葉	複数遺構の重複か ド967・968と重複
835	U17・U18	—×108	25	—	黒色土	非在地系 石錘	中期中葉	重複遺構あり
836	T18・T19	120×—	17	—	褐土混黒色土	なし	不明	ド837他と重複
837	T19・U19	128×—	18	—	漆黒土混黒色土	非在地系	中期中葉	ド836他と重複
838	S18	88×88	21	円形	黒色土	非在地系	中期中葉	ド829他と重複
839	S18・S19	88×(88)	14	(円形)	黒色土	土器小片	中期？	重複遺構あり
840	S19・S20	140×116	22	不整形	黒色土	在地系、非在地系 横刃型石器	中期中葉	ド841他と重複
841	S20・T20	(104)×100	27	(円形)	漆黒土	非在地系？ 横刃型石器	中期中葉？	ド840と重複
842	S20	88×84	12	円形	黒色土	在地系	中期中葉？	
843	U20	—×80	16	—	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
844	T20・T21・U20・U21	—×100	7	—	暗褐色土	なし	不明	ド845他と重複
845	T21・U21	—×112	18	—	黒色土	非在地系？	中期中葉？	複数遺構の重複 ド844他と重複
846	S22	—×100	13	—	黒色土	なし	不明	39住、ド847と重複
847	R22	—×—	16	—	黒色土	細隆線文、非在地系	中期中葉 中葉末～後葉	39住、ド846と重複
848	T23	108×108	16	(円形)	黒色土	なし	不明	
849	T23・T24	192×—	14(29)	—	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複
850	R23	128×108	15	不整楕円形	黒色土	なし	不明	
851	R21	112×76	15(24)	楕円形	黒色土	土器小片	中期	39住と重複

SKNo.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
852	R19・R20・S20	—×88	15	—	黒色土	土器小片	中期？	ド853・854と重複
853	R19・R20	136×(88)	15	(楕円形)	黒色土	非在地系 剥片	中期中葉？	ド852・854と重複
854	R19・R20	128×(128)	32	(円形)	漆黒土	在地系	中期中葉	ド852・853と重複
855	T22	—×—	10	—	暗褐色土	なし	不明	
856	I10	1120×100	29	円形	暗褐色土	土器小片 打製石斧	中期	重複遺構あり
857	I10・J10	156×(120)	12	(楕円形)	黄土混 暗褐色土	土器小片 横刃型石器	中期	ミ1、ド1039と重複
858	I10・I11	104×88	19	楕円形	褐色土	土器小片	不明	
859	G11	—×—	7	—	黄土混 暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
860	G11・G12・H11・H12	—×76	17	(楕円形)	黄土混 暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
861	G12	100×—	12	—	黄土混 暗褐色土	土器小片 横刃型石器	不明	
862	G13	(160)×—	16	—	黒色土	なし	不明	ド864・876と重複
863	H13	168×(92)	23	(楕円形)	黒土混 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か ド864・865と重複
864	G13・H13	152×72	33(60)	長方形	黒土混 暗褐色土	なし	不明	ド862・863・878と重複
865	H13・I13	128×—	18	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド863と重複
866	H12・H13・I12・I13	—×112	15	(不整楕円形)	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
867	I12・J12	260×132	21(25)	不整楕円形	黄土混 黒褐色土	土器小片	中期	複数遺構の重複 ド868他と重複
868	I12・J12	136×84	18	不整楕円形	黄土混 黒褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か ミ1、ド867と重複
869	J13・J14	—×92	16	(楕円形)	黄土混 暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
870	I13・I14・J13・J14	116×—	7(26)	—	黒土混 褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 重複遺構あり
871	J14・J15	—×—	9	—	黒土混 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド872～874・908と重複
872	I14・I15・J14・J15	132×84	19	不整瓢箪形	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド871・873と重複
873	J15	120×88	16(38)	楕円形	漆黒土混 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド871・872・874・875と重複
874	J15	—×76	12(22)	(楕円形)	漆黒土混 暗褐色土	土器小片	中期？	複数遺構の重複 ド871・873他と重複
875	J15・J16	156×80	12(46)	楕円形	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド873他と重複
876	G14	212×100	25	(楕円形)	暗褐色土	在地系？	中期	複数遺構の重複 ド862・877・878・882と重複
877	G14・H14	—×84	11	—	褐色土	なし	不明	ド876・878・881他と重複
878	G14・H13・H14	152×100	25	(楕円形)	暗褐色土	土器小片	不明	ド864・876・877と重複
879	H14・H15・I14・I15	(160)×124	5	(楕円形)	黄土混 暗褐色土	なし	不明	ド880・938他と重複
880	H14・H15	104×88	48	楕円形	黒色土	なし	不明	ド879・938と重複
881	G14・G15・H14・H15	—×112	23	(楕円形)	黄土混 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド877・882他と重複
882	G14・G15	100×80	31	楕円形	黒色土	土器小片	中期？	複数遺構の重複 ド876・881・883と重複
883	F15・F16・G15・G16	204×—	23	不整長方形	黒色土	なし	不明	ド882と重複
884	H16	108×100	21	不整円形	暗褐色土	細隆線文、非在地系	中期中葉 中葉末～後葉	ド885と重複
885	H16	116×84	18	(長方形)	暗褐色土	なし	不明	ド884他と重複
886	J16	212×192	15(53)	不整形	褐土混 黒色土	土器小片 剥片	中期？	複数遺構の重複
887	I13・J13	—×92	17	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
888	H14	—×68	18	(楕円形)	黒色土	なし	不明	重複遺構あり
889	K9・K10・L9・L10	—×(132)	20	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド1041と重複
890	L10	120×88	21	楕円形	黒色土	下伊那型櫛型文	中期中葉	
891	J10・J11・K10・K11	192×184	17	(円形)	黒色土	横刃型石器	不明	ミ1、ド857・923・1040と重複
892	L10・L11・M10・M11	—×84	20	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド893・923他と重複
893	L11・M11	148×108	30	(楕円形)	漆黒土	土器小片 剥片	中期	ド892・894他と重複
894	L11・L12	152×148	18	方形	黄土混 暗褐色土	なし	不明	ド893と重複

SKNo.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
895	K11・K12・L11・L12	168×120	26(37)	不整長方形	黒色土	土器小片	中期？	複数遺構の重複 底部片上がり
896	J11・K11	88×—	16	—	黒色土	横刃型石器	不明	ミ1他と重複
897	K12・K13	120×(72)	17	(不整長方形)	暗褐色土	土器小片	中期	ド898・903他と重複
898	K12・K13	—×100	17	—	褐色土	なし	不明	ド897・902他と重複
899	L13・L14・M13・M14	172×112	12(28)	不整形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド902他と重複
900	L12・L13・M12・M13	120×108	20・43	円形	黒色土	土器小片	中期？	ド901他と重複
901	L12・M12	100×92	24	円形	黒色土	なし	不明	ド900と重複
902	K13・L13	172×72	20	不整楕円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド898・899と重複
903	K13	(188)×72	12	(楕円形)	黒色土	なし	不明	重複遺構あり
904	L14	—×164	17	—	暗褐色土	なし	不明	ド905・906他と重複
905	L13・L14・M13・M14	136×—	18	—	褐土混 暗褐色土	なし	不明	ド904・906他と重複
906	L14・M14	(148)×(116)	22(29)	(楕円形)	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド904・905・907と重複
907	L14・L15・M14・M15	288×240	10・23	不整形	黄土混 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド906他と重複
908	J14・K14・K15	256×164	13(41)	不整楕円形	黄土混 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド871他と重複
909	J15・J16・K15・K16	200×100	20	楕円形	黒色土	土器小片	中期？	重複遺構あり
910	L16・L17・M16・M17	220×212	16(23)	不整形	黒色土・ 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複
911	M15	88×76	15	円形	暗褐色土	土器小片 敲打器	不明	
912	M14	220×116	65	瓢箪形	暗褐色土	土器小片 打製石斧・横刃型石器	中期？	複数遺構の重複
913	N14	120×112	12	円形	黒色土	なし	不明	ド914他と重複
914	N13・N14	120×—	16	—	黒色土	なし	不明	ド913・931他と重複
915	M13・N13	104×100	12	円形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	ド916他と重複
916	M13・N13	168×72	17(35)	楕円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド915と重複
917	M12・M13	136×100	16	楕円形	黒色土	非在地系	中期中葉	
918	M11・M12	152×144	29	不整円形	黒色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複 ド919と重複
919	M11・M12・N11・N12	140×104	17	楕円形	暗褐色土	なし	不明	ド918・921他と重複
920	M11・N11	(152)×72	27	楕円形	黒色土	なし	不明	ド921他と重複
921	N11・N12	(156)×80	21	長方形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	ド919・920他と重複
922	M10	212×—	6	—	暗褐色土	なし	不明	40住と重複
923	K10・K11・L10・L11	—×132	23	—	黒色土	土器小片	中期	複数遺構の重複 ド891・892と重複
923	P10	—×72	17	—	暗褐色土			ド924・925と重複
924	P10・P11	104×—	27	—	暗褐色土	土器小片	中期	ド923・925と重複
925	O10・O11・P10・P11	108×88	20	楕円形	暗褐色土	なし	不明	ド924他と重複
926	O11	168×—	26	—	黒色土	細隆線文、非在地系 打製石斧・台石	中期中葉 中葉末～後葉	40住他と重複
927	P11・P12	140×124	22	楕円形	漆黒土	なし	不明	
928	P12	128×100	8	楕円形	漆黒土	土器小片	中期？	ド929・936他と重複
929	P12・P13・Q12・Q13	156×108	23	(楕円形)	漆黒土	非在地系？	中期中葉？	ド928・936他と重複
930	O12	104×96	29	円形	漆黒土	なし	不明	
931	O14	(144)×140	20(39)	(円形)	漆黒土	非在地系 石鏃・打製石斧・横刃型石器	中期中葉	複数遺構の重複 重複遺構あり
932	P14	148×104	13	不整楕円形	漆黒土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複
933	O15・P15	108×96	50	円形	漆黒土	土器小片	不明	
934	Q15・Q16・R15・R16	252×160	35	不整長方形	黒色土	非在地系 横刃型石器	中期中葉	複数遺構の重複 重複遺構あり
935	Q14・R14	—×100	21	(不整楕円形)	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド988他と重複

SKNo.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
936	Q12・Q13	—×80	15	—	黄土混 黒色土	なし	不明	ド928・929と重複
937	P10・Q10	160×104	18	瓢箪形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複
938	H15	128×—	15	(楕円形)	黄土混 褐色土	土器小片	中期？	ド879・880他と重複
939	R9・R10	164×104	12	(不整楕円形)	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か ド940・1146他と重複
940	R10・S10	128×—	16	—	黒色土	非在地系	中期中葉	ド939・941他と重複
941	S10・S11	—×136	19	—	黒色土	非在地系 打製石斧	中期中葉	ド940・942他と重複
942	T10・T11	192×—	19	—	黒色土	在地系、非在地系 横刃型石器	中期中葉	ド941・943他と重複
943	T10・T11	144×84	36	(楕円形)	漆黒土	在地系、非在地系 横刃型石器	中期中葉	ド942他と重複
944	T11・T12	112×76	14	楕円形	黒色土	非在地系	中期中葉	
945	R12・S11・S12	(148)×140	32	(円形)	漆黒土	細隆線文	中期中葉～ 中葉末	重複遺構あり
946	R11・R12	136×128	38	不整円形	漆黒土	在地系、非在地系 剥片	中期中葉	
947	Q13・R13	124×120	25	円形	漆黒土	非在地系？ 剥片	中期中葉？	ド948と重複
948	R13	112×—	21	—	漆黒土	なし	不明	ド947・949と重複
949	R13・S13・S14	152×148	20(48)	(方形)	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド948・950他と重複
950	S12・S13	100×88	15	円形	暗褐色土	なし	不明	ド949他と重複
951	S12・S13・T12・T13	176×152	19	不整長方形	黒色土	平出ⅢA 横刃型石器	中期中葉	複数遺構の重複 ド951・952他と重複
952	T12	—×88	8	—	黄土混 暗褐色土	なし	不明	ド951と重複
953	S13・T13	100×72	18	楕円形	暗褐色土	なし	不明	ド951・954と重複
954	T13・U13	—×128	25(36)	—	暗褐色土	細隆線文、非在地系	中期中葉 中葉末～後葉	複数遺構の重複 ド953・955・987他と重複
955	S14・T13・T14	—×—	26	—	暗褐土混 黄褐色土	横刃型石器	中期中葉？	ド954・956～958・987と重複
956	T14・U14	(124)×(100)	20	(楕円形)	褐土混 暗褐色土	土器小片 剥片	中期？	ド955・957・972・987と重複
957	S14・S15・T14・T15	216×—	30・41	—	漆黒土	下伊那型櫛型文、非在地系、土製円盤 打製石斧・横刃型石器・敲打器	中期中葉	複数遺構の重複 ド955・958と重複
958	S14・S15	—×104	14	—	漆黒土	なし	不明	ド955・957と重複
959	S14	136×—	16	(円形)	漆黒土	細隆線文、非在地系	中期中葉 中葉末～後葉	ド961他と重複
960	S15	108×92	29	楕円形	漆黒土	なし	不明	ド959・999他と重複
961	R15・S15	88×88	38	円形	漆黒土	在地系、非在地系 剥片	中期中葉	ド963他と重複
962	R15・R16	88×—	22	—	黒色土	非在地系	中期中葉	ド963他と重複
963	R15・R16・S15・S16	128×—	39	—	黒色土	土器小片	中期？	ド962・964他と重複
964	S16	108×—	42	(楕円形)	黒色土	なし	不明	ド963・964と重複
965	S16	100×76	35	長方形	黒色土	土器小片	中期？	ド964・966と重複
966	S16	196×112	22	瓢箪形	黒色土	土器小片	中期？	複数遺構の重複 ド965と重複
967	T16・T17	104×—	15	—	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複
968	T16・T17・U16・U17	108×96	27	円形	漆黒土	土器小片 打製石斧・石核	中期？	ド834・968他と重複
969	U16・U17	—×72	5	—	漆黒土	なし	不明	ド834・967他と重複
970	U15・U16	—×88	55	(長方形)	暗褐色土	土器小片	中期	
971	U15	108×108	42	円形	黒色土	在地系	中期中葉	重複遺構あり
972	T15・U15	—×112	18	—	黒土混 黄褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド956・973と重複
973	U14・U15	(136)×—	18	(楕円形)	暗褐色土	在地系	中期中葉？	ド972・974・1000他と重複
974	U14	(168)×(88)	19(52)	(楕円形)	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド973・975・1000他と重複
975	U14・V14	—×—	19	—	暗褐色土	なし	不明	ド974・1000他と重複
976	U13・U14	108×—	15	—	黒色土	なし	不明	ド977・987他と重複
977	U13	108×—	16	—	暗褐色土	在地系、非在地系 横刃型石器	中期中葉	ド976・978と重複

SK№	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
978	U12・U13・V12・V13	—×140	33	(不整楕円形)	黒色土	なし	不明	ド977・979・980他と重複
979	V12	—×—	22	—	暗褐色土	在地系、非在地系 打製石斧・横刃型石器	中期中葉	ド978・982他と重複
980	U12	152×—	9	(楕円形)	黒色土	在地系、非在地系 横刃型石器・有肩扇状形石器	中期中葉 弥生後期	ド978・981他と重複
981	U11・U12	160×—	21	(楕円形)	褐土混 暗褐色土	なし	不明	ド980・982・984と重複
982	U11・V11・V12	128×—	21	—	暗褐色土	なし	不明	ド979・981・983他と重複
983	U11・V11	—×100	27	—	褐土混 暗褐色土	なし	不明	ド982・984・985他と重複
984	U10・U11	188×168	17	不整円形	褐土混 暗褐色土	非在地系	中期中葉	ド981・983他と重複
985	V10・V11	—×—	16	—	褐色土	なし	不明	ド983と重複
986	V9・V10	(220)×—	30	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド1155・1156と重複
987	V9・V10	—×84	21	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド1150と重複
987	T13・T14	(140)×(68)	25	(楕円形)	黒色土			ド954～956・976・1000と重複
988	R14	—×80	16	(楕円形)	漆黒土	打製石斧	不明	ド935と重複
999	S15	64×(68)	41	(円形)	焼土混 褐色土	在地系、非在地系 剥片	中期中葉	ド961他と重複
1000	U14	—×—	19(80)	(不整形)	褐土混 暗褐色土	細隆線文、非在地系	中期中葉 中葉末～後葉	複数遺構の重複 ド956・973～975・987と重複
1001	H3	140×—	52	(楕円形)	黄土混 暗褐色土	在地系、非在地系 打製石斧・横刃型石器・石核	中期中葉	
1002	I2・I3	(136)×88	12	(楕円形)	黄土混 暗褐色土	なし	不明	ド1003・1009と重複
1003	I2・I3・J2・J3	—×136	21	(楕円形)	—	なし	不明	ド1002・1004・1006・1007・1009と重複
1004	J2	—×92	32	—	—	平出ⅢA、非在地系	中期中葉	ド1003と重複
1005	J2・J3・K2・K3	160×—	16	—	暗褐色土	なし	不明	ド1006・1008・1121と重複
1006	J2・J3	116×100	53	円形	黒褐色土	在地系、非在地系 石錐・打製石斧・石錘	中期中葉	ド1003・1005・1007・1008と重複
1007	J3	136×120	51	円形	—	土器小片 横刃型石器	中期	ド1003・1006・1008と重複
1008	J3・K3	132×—	35	—	暗褐色土	なし	不明	ド1005～1007と重複
1009	I3	—×92	17	—	暗褐色土	在地系、非在地系 横刃型石器・敲打器	中期中葉	ド1002・1003・1010・1011他と重複
1010	I3・I4	—×84	24	—	黄土混 暗褐色土	在地系 横刃型石器	中期中葉	ド1009・1011他と重複
1011	I3	(120)×60	10	(楕円形)	褐色土	なし	不明	ド1009・1010他と重複
1012	H3・H4	—×108	24	—	暗褐色土	非在地系 剥片	中期中葉	ド552他と重複
1013	I4	—×80	17	(楕円形)	黄土混 暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1014	J4・J5	104×60	51	楕円形	暗褐色土	なし	不明	ド1015と重複
1015	J4・J5	168×120	29	(楕円形)	黄土混 褐色土	なし	不明	ド1014・1065と重複
1016	J5・J6	160×152	79	円形	黄・黒土混 暗褐色土	在地系、非在地系 打製石斧	中期中葉	ド1017・1024・1056・1065と重複
1017	I5・J5	84×84	15	円形	黄土混 暗褐色土	なし	不明	ド1016と重複
1018	I5	96×72	17	楕円形	黄土混 暗褐色土	土器小片	中期	
1019	H5・H6・I5・I6	108×100	34	円形	黒褐色土	土器小片	不明	
1020	H6	(140)×88	10	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド1021と重複
1021	H6・H7	116×96	13	(不整長方形)	黄土混 褐色土	なし	不明	ド1020と重複
1022	H7・H8	136×112	17	楕円形	黄土混 暗褐色土	土器小片 剥片	中期	重複遺構あり
1023	I6	104×72	21	楕円形	黄土混 暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1024	J6	220×—	21	—	黄・黒土混 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド1016他と重複
1025	I6・I7・J6・J7	110×96	13	不整円形	黄土混 褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か
1026	I7	124×—	10	—	黄土混 暗褐色土	平出ⅢA、非在地系？	中期中葉	ド1027・1028と重複
1027	I6・I7	—×72	12(28)	—	黄土混 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド1026と重複

SKNo.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
1028	I7・J7	120×76	19	楕円形	黒褐色土	細隆線文	中期中葉末～後葉	ド1026・1029他と重複
1029	J7	112×—	14	—	黄土混暗褐色土	なし	不明	ド1028・1030他と重複
1030	J7	88×—	19	—	黄土混暗褐色土	なし	不明	ド1029と重複
1031	J7・J8・K8	100×60	14	—	黄土混暗褐色土	なし	不明	ド1032と重複
1032	J8	136×112	12	—	黄土混暗褐色土	なし	不明	ド1031と重複
1033	I7・I8	116×76	14	楕円形	黄土混暗褐色土	土器小片	不明	複数遺構の重複か
1034	H7・H8	—×100	20	—	黄土混暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1035	H8	140×—	29	—	黄土混暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1036	G8・G9	148×—	20(29)	(長方形)	暗褐色土	土器小片	不明	複数遺構の重複 ド1035他と重複
1037	I8・J8	—×88	22	(楕円形)	黄土混暗褐色土	土器小片	中期	ド1038他と重複
1038	I9	128×—	25	—	黄土混暗褐色土	なし	不明	ド1037他と重複
1039	J9・J10	(148)×(144)	8	(方形)	—	土器小片	不明	複数遺構の重複 ミ1、ド857・1040他と重複
1040	J9・J10・K9・K10	—×—	22	—	—	細隆線文、非在地系打製石斧・粗製石匙・石核	中期中葉 中葉末～後葉	ミ1、ド891・1039・1120と重複
1041	K9・L9	—×—	20	—	暗褐色土	平出ⅢA 横刃型石器	中期中葉	ド889・1045・1046と重複
1042	L9・M9・M10	—×120	18	—	黒色土	なし	不明	ド1043・1045他と重複
1043	M9	104×100	29	(方形)	暗褐色土	なし	不明	ド1042・1044と重複
1044	M8・M9	104×72	27	楕円形	黒色土	非在地系	中期	ド1043と重複
1045	L8・L9	—×132	29	—	黒褐色土	非在地系	中期中葉？	ド1041・1042・1047・1048と重複
1046	K8・K9	—×140	24	(楕円形)	褐色土	非在地系 剥片	中期中葉	ド1041と重複
1047	M8・M9	124×72	23	(不整楕円形)	黒色土	土器小片	不明	複数遺構の重複 ド1045・1122と重複
1048	L7・L8	204×—	49	—	黄土混黒褐色土	平出ⅢA・下伊那型櫛形文・細隆線文、非在地系？打製石斧・磨製石斧	中期中葉 中葉末～後葉	複数遺構の重複 ド1045・1049・1122他と重複
1049	L7	196×128	19(33)	楕円形	黒色土	下伊那型櫛型文、細隆線文	中期中葉 中葉末～後葉	ド1048他と重複
1050	K7	104×104	18	円形	黒色土	なし	不明	
1051	L6・L7	132×96	32	楕円形	黄土混暗褐色土	土器小片	中期	ド1052他と重複
1052	K6・L6	152×152	15(58)	瓢箪形	黄土混褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド1051と重複
1053	K5・L5・L6	196×—	18	—	黄土混褐色土	貉沢式・勝坂系 横刃型石器	中期中葉	複数遺構の重複 ド1054・1055他と重複
1054	L5	176×—	21	—	黄土混褐色土	なし	不明	ド1053・1055と重複
1055	L5・M5	236×136	33	楕円形	黄土混暗褐色土	平出ⅢA、勝坂系 打製石斧・横刃型石器・敲打器・磨石	中期中葉	ド1054・1055と重複
1056	J5・J6・K5・K6	(128)×—	19	—	黄・黒土混暗褐色土	平出ⅢA、勝坂系	中期中葉	ド1016・1024・1057・1065と重複
1057	K5	164×—	25	—	黄土混暗褐色土	なし	不明	ド1056・1065と重複
1058	K4	116×—	14	—	黄土混暗褐色土	なし	不明	ド1059と重複
1059	K3・L3・L4・K4	220×—	20	—	黄土混褐色土	剥片	不明	ド1058他と重複
1060	K3・L3・L4	132×124	42	円形	黄土混暗褐色土	下伊那型櫛型文、非在地系 磨製石斧	中期中葉	ド1061・1063と重複
1061	K2・K3・L2・L3	168×92	13	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド1060・1062他と重複
1062	L2	160×80	24	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド1061・1063と重複
1063	L2・L3	160×128	39	(楕円形)	黒土混暗褐色土	土器小片	中期？	ド1060・1062・1069・1071と重複
1064	L2・L3・M2・M3・M2	168×—	23	—	黄土混褐色土	土器小片	中期	ド1070と重複
1065	J5	(148)×(136)	(29)	(円形)	黒褐色土	土器小片	中期	ド1015・1016・1056・1057と重複
1066	M2・N2	—×100	38	—	黄土混暗褐色土	なし	不明	ド1067と重複
1067	M2・N2	—×—	22	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド1066と重複
1068	M3・M4・N3・N4	168×(112)	15	(楕円形)	黒色土	平出ⅢA	中期中葉	ド1069・1073と重複

SKNo.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
1069	L3・M3	—×—	18	—	黄・黒土混 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド1068・1070・1071と重複
1070	L2・L3・M2・M3	—×88	27	—	黄・黒土混 暗褐色土	なし	不明	ド1064・1069と重複
1071	L3・L4・M3・M4	180×104	27	(楕円形)	黒土混 暗褐色土	土器小片	中期？	ド1063・1069・1072・1074と重複
1072	L4・M4	116×—	15(48)	—	黄土混 褐色土	土器小片 横刃型石器	中期？	複数遺構の重複 ド1071と重複
1073	M4・N4	92×—	23	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド1068・1069・1074と重複
1074	M4・M5	120×—	40	—	黒色土	非在地系	中期中葉	ド1071・1073・1075と重複
1075	M5・N4・N5	100×—	27	—	黒色土	平出ⅢA、加曽利E系？ 剥片	中期中葉	ド1074・1076と重複
1076	M5・N4・N5	236×112	21(37)	(不整楕円形)	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド1075と重複
1077	N5・N6	132×100	19	楕円形	黒色土	勝坂式	中期中葉	底部片上がり ド1078と重複
1078	M6・N6	152×—	14	(楕円形)	黄土混 暗褐色土	なし	不明	ド1077・1079と重複
1079	M6・N6	132×—	19	(楕円形)	暗褐色土	勝坂式	中期中葉	ド1078と重複
1080	L6・M6	140×104	13(32)	楕円形	黄土混 黒褐色土	勝坂系 打製石斧	中期中葉	複数遺構の重複
1081	M7	172×120	38	楕円形	暗褐色土	なし	不明	ド1082と重複
1082	M7・N7	128×104	17	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド1081と重複
1083	N8	112×96	36	(円形)	暗褐色土	細隆線文	中期中葉末 ～後葉	重複遺構あり
1084	N8	92×84	19	方形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	
1085	O8・O9・P8	200×192	32	(方形)	暗褐色土	平出ⅢA・下伊那型櫛型文？、勝坂系	中期中葉	複数遺構の重複 40住、ド1086・1087と重複
1086	O9・P9	—×112	10	—	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 40住、ド1085他と重複
1087	P8・P9	—×108	21	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド1085・1088他と重複
1088	P8	132×112	30	円形	暗褐色土	勝坂系 横刃型石器	中期中葉	ド1087と重複
1089	P9・P10・Q9・Q10	104×80	23	楕円形	黒色土	なし	不明	
1090	P9	92×72	26	楕円形	暗褐色土	なし	不明	
1091	O7	200×180	21・32	不整円形	褐色土	平出ⅢA 打製石斧	中期中葉	複数遺構の重複 ド1092・1093他と重複
1092	O6・O7	112×72	21	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド1091・1093他と重複
1093	O6・O7	120×76	18	楕円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か ド1091・1092と重複
1094	P6・Q6	100×80	11	楕円形	暗褐色土	なし	不明	ド1095・1116と重複
1095	P6	92×—	21	—	暗褐色土	土器小片	不明	ド1094・1116他と重複
1096	O6・P6	100×64	27	楕円形	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1097	O5	148×124	56	楕円形	漆黒土	下伊那型櫛型文、細隆線文、非在地系 剥片	中期中葉 中葉末～後葉	ド1098他と重複
1098	O4・O5	—×96	20	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か ド1097・1099他と重複
1099	N4	100×—	22	—	暗褐色土	なし	不明	ド1098他と重複
1100	O2・O3	88×(88)	19	(円形)	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1101	P4・P5	116×72	21	(楕円形)	黒色土	なし	不明	重複遺構あり
1102	P3	104×84	18	(楕円形)	黄土混 黒色土	非在地系？	中期中葉	重複遺構あり
1103	P2	—×180	29	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か ド1104と重複
1104	O2	—×—	16	—	暗褐色土	なし	不明	ド1103と重複
1105	P3・Q3	136×88	15	(楕円形)	漆黒土	なし	不明	礫あり ド1106と重複
1106	P3・Q3	—×100	15	—	暗褐色土	なし	不明	ド1105と重複
1107	O2・O3	208×92	32・49	楕円形	漆黒土	なし	不明	複数遺構の重複 ド1108と重複
1108	N2・N3・O2・O3	212×92	25(32)	不整楕円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド1107他と重複
1109	Q2・Q3	200×112	27	不整楕円形	漆黒土	平出ⅢA、非在地系 土製円盤	中期中葉	複数遺構の重複 底部片上がり
1110	Q3・Q4	128×116	15	円形	漆黒土	なし	不明	重複遺構あり 礫あり
1111	Q4	172×76	29	楕円形	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり

SK№	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
1112	Q5・R5	—×92	21	—	暗褐色土	なし	不明	ド1113と重複
1113	Q5	—×104	32	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か ド1112と重複
1114	Q6	128×84	21	楕円形	暗褐色土	なし	不明	
1115	Q6・Q7・R6・R7	116×76	16	楕円形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	ド1137と重複
1116	Q7・Q8・R7・R8	—×128	27(54)	—	暗褐色土	非在地系？	中期中葉？	複数遺構の重複 ド1094・1095と重複
1117	Q8	116×96	25	長方形	暗褐色土	細隆線文、勝坂系	中期中葉	底部片上がり
1118	Q8	88×80	28	円形	暗褐色土	土器小片	中期？	
1119	Q9	120×108	18	円形	漆黒土	平出ⅢA、非在地系 剥片	中期中葉	重複遺構あり
1120	J9・K9	140×—	18	(円形)	褐色土	非在地系？ 打製石斧	中期中葉	底部片上がり ド1040他と重複
1121	K2	144×—	24	—	—	非在地系？ 剥片	中期中葉？	ド1005と重複
1122	L7・L8・M7・M8	—×—	12	—	黄土混 褐色土	平出Ⅲa	中期中葉	ド1047・1048他と重複
1123	R2	—×108	36	—	漆黒土	在地系	中期中葉？	重複遺構あり
1124	R3	168×100	30	楕円形	漆黒土	在地系？	中期中葉？	重複遺構あり 底部片上がり
1125	S2・S3	128×120	28	(円形)	黒色土	在地系、勝坂系 横刃型石器	中期中葉	
1126	S3	112×88	24	楕円形	黒土混 褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1127	S2・T2	152×—	20	(楕円形)	黒色土	なし	不明	重複遺構あり
1128	S3	104×100	29	円形	暗褐色土	抉入打製石包丁	弥生後期	ド1129と重複
1129	T3	200×168	23(50)	不整円形	黒色土	土器小片	不明	複数遺構の重複 ド1128他と重複
1130	T3・T4・U3・U4	200×128	20(31)	楕円形	黒土混 暗褐色土	土器小片	不明	複数遺構の重複 ド1131他と重複
1131	T4	176×—	25	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド1130と重複
1132	S3・S4	—×88	38	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か ド1133と重複
1133	S4	—×140	18	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド1132と重複
1134	S5	—×94	32	(楕円形)	黒色土	平出ⅢA	中期中葉	ド1139他と重複
1135	S6	84×80	21	円形	黒色土	土器小片	不明	
1136	R6・R7・S6・S7	216×160	21(38)	瓢箪形	黒色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複 ド1137と重複
1137	R6	108×88	33	楕円形	暗褐色土	在地系	中期中葉？	ド1115・1136と重複
1138	T6	—×—	14(26)	—	暗褐色土	在地系 剥片	中期中葉	複数遺構の重複 ド1139・1140他と重複
1139	S6	88×76	14	円形	黒色土	なし	不明	ド1134・1138と重複
1140	S6	92×92	24	円形	黒色土	平出ⅢA	中期中葉	ド1138と重複
1141	T7・T8	140×—	30	—	暗褐色土	下伊那型櫛型文、船元Ⅲ式 横刃型石器	中期中葉	ド1142・1153・1154他と重複
1142	T8	120×—	30	—	暗褐色土	なし	不明	ド1141と重複
1143	R7・R8・S7・S8	272×196	20(35)	不整長方形	暗褐色土	平出ⅢA、勝坂・藤内？ 剥片	中期中葉	複数遺構の重複 重複遺構あり
1144	R8	108×68	12	楕円形	暗褐色土	なし	不明	
1145	R9・S9	100×84	29	楕円形	暗褐色土	なし	不明	ド1146他と重複
1146	R9・S9	144×116	16	(長方形)	漆黒土	なし	不明	ド939・1145他と重複
1147	S8・S9・S10・T10	148×—	22	—	黄土混 暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1148	T9	80×—	18	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド1149・1150と重複
1149	T9・T10	—×76	22	(楕円形)	暗褐色土	なし	不明	ド1148・1150と重複
1150	T9・U9・U10	180×160	24	(楕円形)	黒色土	在地系？ 横刃型石器	中期	礫あり ド987・1149・1150と重複
1151	T8・T9	108×92	17	楕円形	黒土混 褐色土	なし	不明	ド1152と重複
1152	T8・T9・U8・U9	—×100	18	—	暗褐色土	なし	不明	ド1151・1153と重複
1153	T8・U8	140×—	22	—	暗褐色土	土器小片	中期	ド1141・1152・1154他と重複
1154	U7	—×120	20	—	暗褐色土	平出ⅢA系？、井戸尻？	中期中葉	ド1141・1153と重複

SK№.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
1155	U9・U10・V9・V10	100×—	13	(円形)	褐土混 暗褐色土	なし	不明	ド986と重複
1156	V9	132×—	37	—	黒色土	なし	不明	ド986・1157他と重複
1157	U8・U9・V8・V9	148×144	35(49)	(円形)	漆黒土	平出ⅢA、非在地系 横刃型石器	中期中葉	ド1156他と重複
1158	V8	108×—	20	(長方形)	黒色土	在地系	中期中葉？	ド1159他と重複
1159	U7・U8・V7・V8	180×172	22(41)	(不整円形)	暗褐土混 黒色土	平出ⅢA、勝坂・藤内？ 横刃型石器	中期中葉	複数遺構の重複 ド1158他と重複
1160	T6・U6	132×92	12	楕円形	暗褐色土	非在地系 横刃型石器	中期中葉	
1161	U6・V6	100×—	15	(円形)	暗褐色土	勝坂系	中期中葉	ド1163他と重複
1162	V6・V7・W6	200×—	11	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド1163他と重複
1163	V5・V6	160×—	29	(円形)	黒色土	在地系？	中期中葉？	ド1161・1162他と重複
1164	V5・W5	—×140	31	(楕円形)	黒色土	平出ⅢA、勝坂式 打製石斧	中期中葉	複数遺構の重複か ド1168他と重複
1165	U5	120×72	18	楕円形	暗褐色土	なし	不明	
1166	U5	116×(76)	25	(楕円形)	暗褐色土	土器小片	不明	ド1167と重複
1167	U4・U5	156×(92)	12	(楕円形)	黒色土	なし	不明	礫あり ド1166他と重複
1168	V4	136×—	17	(円形)	暗褐色土	平出ⅢA	中期中葉	ド1164・1169と重複
1169	V4	(140)×100	19(34)	(楕円形)	暗褐色土	土器小片	中期	複数遺構の重複 ド1168・1170他と重複
1170	V4	—×—	13(27)	—	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 ド1169・1171・1172他と重複
1171	W3・W4	160×—	23	—	暗褐色土	なし	不明	ド1170と重複
1172	V3	168×—	28(48)	—	黒色土	土器小片 剥片	中期中葉？	複数遺構の重複 ド1170と重複
1173	U3・V3	148×128	28	(円形)	黒土混 暗褐色土	下伊那型櫛形文、非在地系 剥片	中期中葉	ド1174と重複
1174	U3・V3	—×80	20	(楕円形)	黒色土	土器小片	中期	ド1173と重複
1175	U2・U3	172×—	53	—	黒色土	在地系、非在地系 剥片	中期中葉	ド1176と重複
1176	T2・U2	—×—	15	—	黒色土	なし	不明	ド1175と重複
1177	V2・V3	140×—	45	—	暗褐色土	非在地系	中期中葉	
1179	S7	—×116	13	—	暗褐色土	非在地系	中期中葉	重複遺構あり

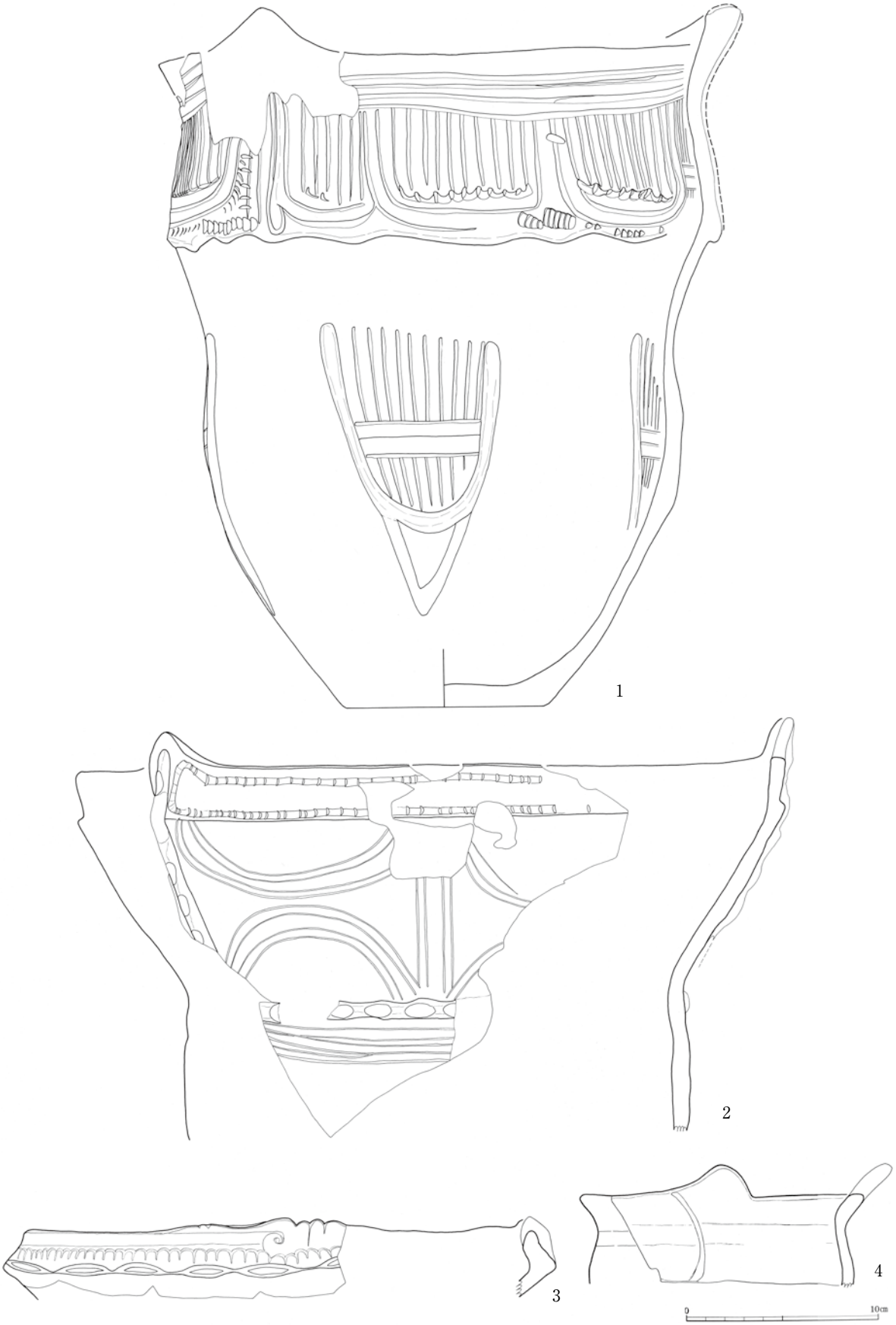
表２　石器観察表

図版No.	遺構名	器　種	遺存状況	石　材	法　量				備　考
					長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	
第15図1	竪建38	打製石斧	刃部折損	緑色岩	—	3.8	1.5	—	
第15図2	竪建38P4	横刃形石器		硬砂岩	5.8	7.8	1.2	55	
第15図3	竪建38P4	横刃形石器		硬砂岩	5.0	6.7	1.4	41	
第15図4	竪建38P8	横刃形石器		硬砂岩	7.2	7.0	1.3	80	
第15図5	竪建38	磨石		硬砂岩	10.5	8.8	3.8	530	
第15図6	竪建39	打製石斧		緑色岩	12.5	4.3	1.7	110	
第15図7	竪建39	打製石斧		硬砂岩	13.8	4.4	1.8	116	
第15図8	竪建39	打製石斧		緑色岩	12.9	5.3	1.7	118	
第15図9	竪建39	打製石斧		硬砂岩	9.1	2.1	0.8	14	
第15図10	竪建39	打製石斧	刃部折損	硬砂岩	—	4.5	1.1	—	
第15図11	竪建39	打製石斧	刃部折損	硬砂岩	—	4.8	1.5	—	
第15図12	竪建39	打製石斧	刃部側折損	緑色岩	—	4.0	0.8	—	
第15図13	竪建39P22	打製石斧	刃部側折損	緑色岩	—	4.5	2.2	—	
第15図14	竪建39P22	削器		緑色岩	14.1	4.5	1.5	85	
第15図15	竪建39	磨製石斧		緑色岩	15.6	3.5	2.1	186	未製品
第15図16	竪建39	打製石斧		緑色岩	—	5.0	1.5	—	
第15図17	竪建39	石錘		硬砂岩	7.7	3.6	1.5	49	
第15図18	竪建39P4	横刃形石器		硬砂岩	5.3	7.5	1.1	53	
第16図1	竪建39	横刃形石器		緑色岩	4.1	6.9	0.9	19	
第16図2	竪建39	横刃形石器		緑色岩	5.7	7.7	1.3	61	
第16図3	竪建39	横刃形石器	一部折損	硬砂岩	8.2	—	2.4	—	
第16図4	竪建39 4	磨石		花崗岩	10.7	7.0	3.7	426	
第16図5	竪建39 5	石匙		安山岩	6.2	2.6	0.7	11	
第16図6	竪建39	石匙		安山岩？	3.0	4.9	0.6	8	
第16図7	竪建39	石鏃		黒曜石	2.3	1.9	0.4	1	
第16図8	竪建39P7	ﾋﾟｴｽ・ｴｽｷｰﾕ		黒曜石	1.5	0.9	0.4	1以下	
第16図9	竪建40	打製石斧		硬砂岩	11.5	4.9	2.4	142	
第16図10	竪建40P1	打製石斧		緑色岩	7.7	3.4	1.0	30	
第16図11	竪建40	打製石斧		硬砂岩	14.1	4.2	3.6	188	刃部に被熱
第16図12	竪建40	大形粗製石匙		硬砂岩	11.5	4.9	1.6	78	
第16図13	竪建40	横刃形石器		硬砂岩	6.9	8.9	1.4	92	
第16図14	竪建40	横刃形石器		硬砂岩	6.1	9.5	1.2	71	
第16図15	竪建40	磨石	一部欠	花崗岩	6.8	*4.7	4.1	(180)	
第16図16	竪建40	石皿		花崗岩	—	—	7.8	—	No.1
第16図17	竪建40	石皿		花崗岩	—	—	7.0	—	炉、No.3
第17図1	竪建40	石皿		花崗岩	43.5	36.4	13.0	—	
第17図2	竪建40	石核		黒曜石	2.8	2.9	1.5	12	
第17図3	竪建40P7	ﾋﾟｴｽ・ｴｽｷｰﾕ		黒曜石	1.4	1.4	0.6	1	
第17図4	竪7P1	石錐		下呂石	3.6	1.6	0.4	1	
第17図5	竪7	打製石斧		緑色岩	10.1	4.6	1.7	94	
第17図6	竪7	横刃形石器		硬砂岩	6.1	6.8	1.4	56	
第17図7	ミ状2	横刃形石器		硬砂岩	4.0	6.6	0.9	22	
第17図8	土554	石錘		硬砂岩	3.3	2.3	0.8	10	
第17図9	土558	打製石斧		硬砂岩	10.0	4.3	2.0	102	
第17図10	土580	打製石斧		緑色岩	9.7	4.0	1.5	72	
第17図11	土580	横刃形石器		硬砂岩	5.3	8.6	1.5	46	
第17図12	土580	横刃形石器		硬砂岩	3.4	4.7	1.0	19	
第17図13	土580	敲石	一部欠	緑色岩	—	5.2	3.7	—	
第17図14	土591	抉入打製石包丁		硬砂岩	4.6	9.0	1.7	56	
第17図15	土620	横刃形石器		硬砂岩	3.8	7.0	1.0	25	
第17図16	土620	磨石		花崗岩	8.6	8.4	6.8	745	
第18図1	土649	打製石斧		緑色岩	—	4.2	1.7	—	
第18図2	土700	磨石	折損	花崗岩	15.7	—	6.4	—	
第18図3	土756	大形粗製石匙		緑色岩	11.2	5.6	1.6	89	
第18図4	土808	打製石斧		緑色岩	8.5	4.4	1.5	71	
第18図5	土820	石錘		硬砂岩	7.1	3.6	1.6	70	

図版No.	遺構名	器　種	遺存状況	石　材	法　量				備　考
					長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	
第18図6	土827	打製石斧		硬砂岩	11.3	4.4	1.4	71	
第18図7	土835	石錘		緑色岩	6.5	3.9	1.7	59	
第18図8	土835	石錘		硬砂岩	5.6	3.8	1.6	48	
第18図9	土841	横刃形石器		硬砂岩	6.5	8.6	2.1	124	
第18図10	土912	打製石斧		緑色岩	9.1	4.3	1.6	95	
第18図11	土926P1	打製石斧		硬砂岩	10.5	4.9	2.0	122	
第18図12	土977	横刃形石器		硬砂岩	4.2	6.2	1.2	32	
第18図13	土931	打製石斧		硬砂岩	11.7	4.5	2.3	152	
第18図14	土931	横刃形石器		硬砂岩	5.7	—	1.3	—	
第18図15	土942	横刃形石器		硬砂岩	5.4	7.6	1.2	56	
第18図16	土957	打製石斧		硬砂岩	11.0	4.7	2.3	154	
第18図17	土957	打製石斧		硬砂岩	11.9	5.3	2.2	136	
第18図18	土957	打製石斧		不明（堆積岩）	12.2	4.0	1.6	104	
第19図1	土957	横刃形石器		硬砂岩	5.1	9.7	1.8	58	
第19図2	土957	敲石		硬砂岩	6.7	2.3	1.6	40	
第19図3	土980	横刃形石器		硬砂岩	4.4	6.4	1.1	36	
第19図4	土988	打製石斧		緑色岩	11.7	5.1	1.3	97	
第19図5	土988	打製石斧		硬砂岩	10.3	4.9	1.3	(67)	
第19図6	土1001	打製石斧		緑色岩	14.8	5.5	2.3	276	
第19図7	土1001	横刃形石器		硬砂岩	5.8	8.7	1.3	68	
第19図8	土1006	石錘		硬砂岩	6.0	6.0	1.3	63	
第19図9	土1009	横刃形石器		硬砂岩	6.3	8.7	1.3	66	
第19図10	土1009	敲石		緑色岩	9.8	5.3	4.0	336	
第19図11	土1016	打製石斧	基部折損	緑色岩	—	4.0	1.9	—	
第19図12	土1040	大形粗製石匙		緑色岩	10.8	5.4	1.2	(102)	
第19図13	土1040	打製石斧		硬砂岩	9.0	4.1	1.1	56	
第19図14	土1048	打製石斧		緑色岩	11.0	5.0	2.6	186	
第19図15	土1048	打製石斧		硬砂岩	12.6	4.0	1.7	118	
第19図16	土1048	磨製石斧	基部側1/2	緑色岩	—	4.1	2.7	—	表面に錆付着顕著
第19図17	土1055	横刃形石器		硬砂岩	4.2	7.8	1.6	39	
第19図18	土1055	横刃形石器		硬砂岩	4.2	8.0	1.2	41	
第19図19	土1055	磨製石斧	刃部折損	硬砂岩	—	4.2	2.7	—	
第19図20	土1055	磨石	欠損	花崗岩	—	—	—	—	
第19図21	土1055	敲石	欠損	緑色岩	12.3	—	5.7	—	
第20図1	土1060	磨製石斧	折損	緑色岩	14.5	4.8	2.8	—	両側縁に敲打痕
第20図2	土1080	打製石斧		硬砂岩	11.5	4.9	1.8	126	
第20図3	土1091	打製石斧		硬砂岩	10.2	4.6	1.5	81	
第20図4	土1120	打製石斧		緑色岩	10.0	4.9	1.2	77	
第20図5	土1125	横刃形石器		硬砂岩	5.0	7.1	0.8	50	背部節理面で折れ
第20図6	土1125	横刃形石器		硬砂岩	6.4	7.1	1.2	57	
第20図7	土1128	石錘		硬砂岩	4.4	3.3	1.2	26	
第20図8	土1141	横刃形石器		硬砂岩	5.7	6.4	1.2	44	
第20図9	土1150	横刃形石器		硬砂岩	5.6	10.9	1.5	108	
第20図10	土1150	横刃形石器		硬砂岩	4.8	8.5	1.4	59	
第20図11	土1157	横刃形石器		硬砂岩	5.4	8.3	1.7	83	
第20図12	土625	石鏃		黒曜石	2.5	(1.9)	0.3	1	
第20図13	遺構外	ﾋﾟｴｽ・ｴｽｷｰﾕ		黒曜石	1.4	1.2	0.5	1以下	
第20図14	土806	細石刃		黒曜石	2.6	0.7	0.2	1以下	
第20図15	土827	細石刃		黒曜石	2.9	0.8	0.3	1以下	
第20図16	土946	細石刃		黒曜石	3.3	1.5	0.7	3	
第20図17	遺構外	打製石斧		硬砂岩	13.2	4.9	2.0	148	
第20図18	遺構外	打製石斧		緑色岩	11.7	4.8	1.7	110	
第20図19	遺構外	打製石斧		緑色岩	12.9	4.9	1.8	(138)	
第20図20	遺構外	打製石斧		硬砂岩	12.8	4.2	2.1	140	
第21図1	遺構外	打製石斧		緑色岩	—	4.0	1.5	—	
第21図2	遺構外	打製石斧	刃部摩耗	硬砂岩	11.1	3.4	1.7	88	

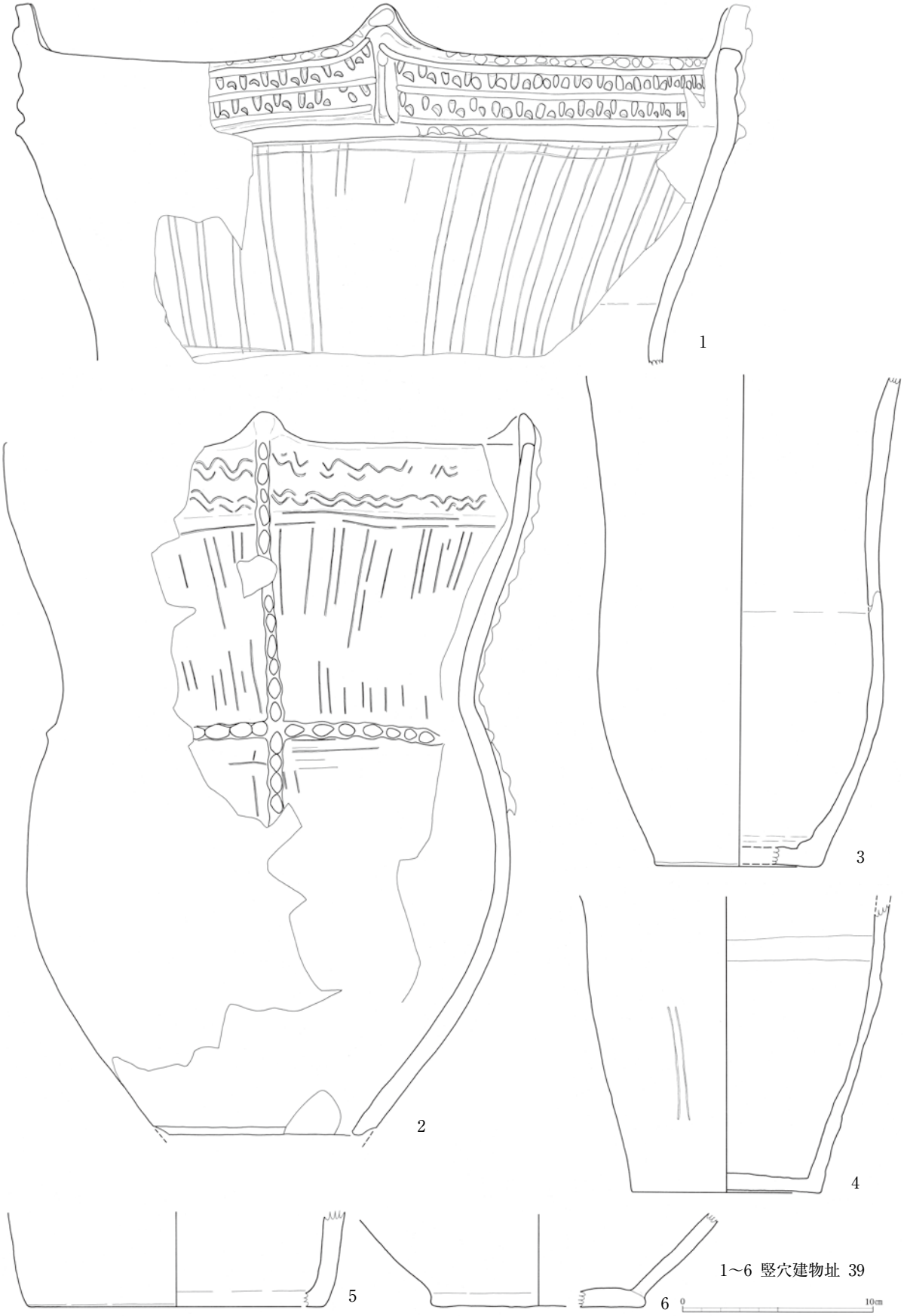
図版No.	遺構名	器　種	遺存状況	石　材	法　量				備　考
					長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	
第21図3	遺構外	打製石斧		硬砂岩	10.8	3.4	1.9	87	
第21図4	遺構外	打製石斧		硬砂岩	10.4	4.5	2.2	95	
第21図5	遺構外	打製石斧		緑色岩	11.7	4.4	1.7	118	
第21図6	遺構外	打製石斧		緑色岩	10.9	4.5	1.6	110	
第21図7	遺構外	打製石斧		硬砂岩	9.7	5.0	3.2	172	
第21図8	遺構外	打製石斧		硬砂岩	9.8	4.0	1.7	73	
第21図9	遺構外	打製石斧		硬砂岩	9.9	4.4	1.5	89	
第21図10	遺構外	打製石斧		緑色岩	8.2	4.7	1.8	98	
第21図11	遺構外	打製石斧		硬砂岩	7.5	4.3	1.6	57	
第21図12	遺構外	打製石斧		珪岩？	5.7	4.1	1.1	24	
第21図13	遺構外	打製石斧		緑色岩	9.1	3.9	1.8	78	
第21図14	遺構外	打製石斧		緑色岩	10.8	3.9	1.8	82	
第21図15	遺構外	打製石斧		緑色岩	11.7	4.1	1.6	87	
第21図16	遺構外	横刃形石器	節理面で折損	硬砂岩	8.4	—	2.5	—	
第21図17	遺構外	横刃形石器		硬砂岩	6.5	7.2	2.1	120	
第21図18	遺構外	横刃形石器		硬砂岩	4.8	9.1	1.4	65	
第21図19	遺構外	石錘		硬砂岩	5.1	4.7	1.4	43	
第21図20	遺構外	石錘		硬砂岩	5.5	4.0	1.4	45	
第21図21	遺構外	石錘		硬砂岩	5.4	4.1	1.5	54	
第21図22	遺構外	大形粗製石匙		緑色岩	8.4	5.0	1.0	47	
第21図23	遺構外	大形粗製石匙		緑色岩	10.2	4.0	1.4	72	
第22図1	遺構外	大形粗製石匙		硬砂岩	14.5	4.9	1.7	132	
第22図2	遺構外	石匙		安山岩	4.3	3.9	0.8	—	
第22図3	遺構外	石匙	つまみ部欠損	不明（頁岩？）	—	4.8	0.8	—	
第22図4	遺構外	打製石斧		緑色岩	9.3	3.6	1.0	53	
第22図5	遺構外	磨製石斧	基部欠損	緑色岩	—	5.1	3.3	—	
第22図6	遺構外	磨製石斧	刃部一部欠	緑色岩	15.4	5.1	3.5	(436)	基部被熱
第22図7	遺構外	敲石		緑色岩	6.2	5.0	2.9	142	
第22図8	遺構外	敲石		硬砂岩	8.8	5.2	4.5	250	
第22図9	遺構外	石皿		花崗岩	32.1	—	7.5	—	
第22図10	遺構外	台石		花崗岩	44.0	35.8	7.9	—	
第22図11	遺構外	石鏃		黒曜石	1.7	1.5	0.4	1	
第22図12	遺構外	石錐		下呂石	2.7	1.6	0.8	3	
第22図13	遺構外	削器		安山岩	4.6	5.6	1.7	42	
第22図14	遺構外	ﾋﾟｴｽ・ｴｽｷｰﾕ		黒曜石	2.2	1.6	0.4	1	

第１図　下の原Ａ遺跡出土土器（1）



1～4 竪穴建物址 39

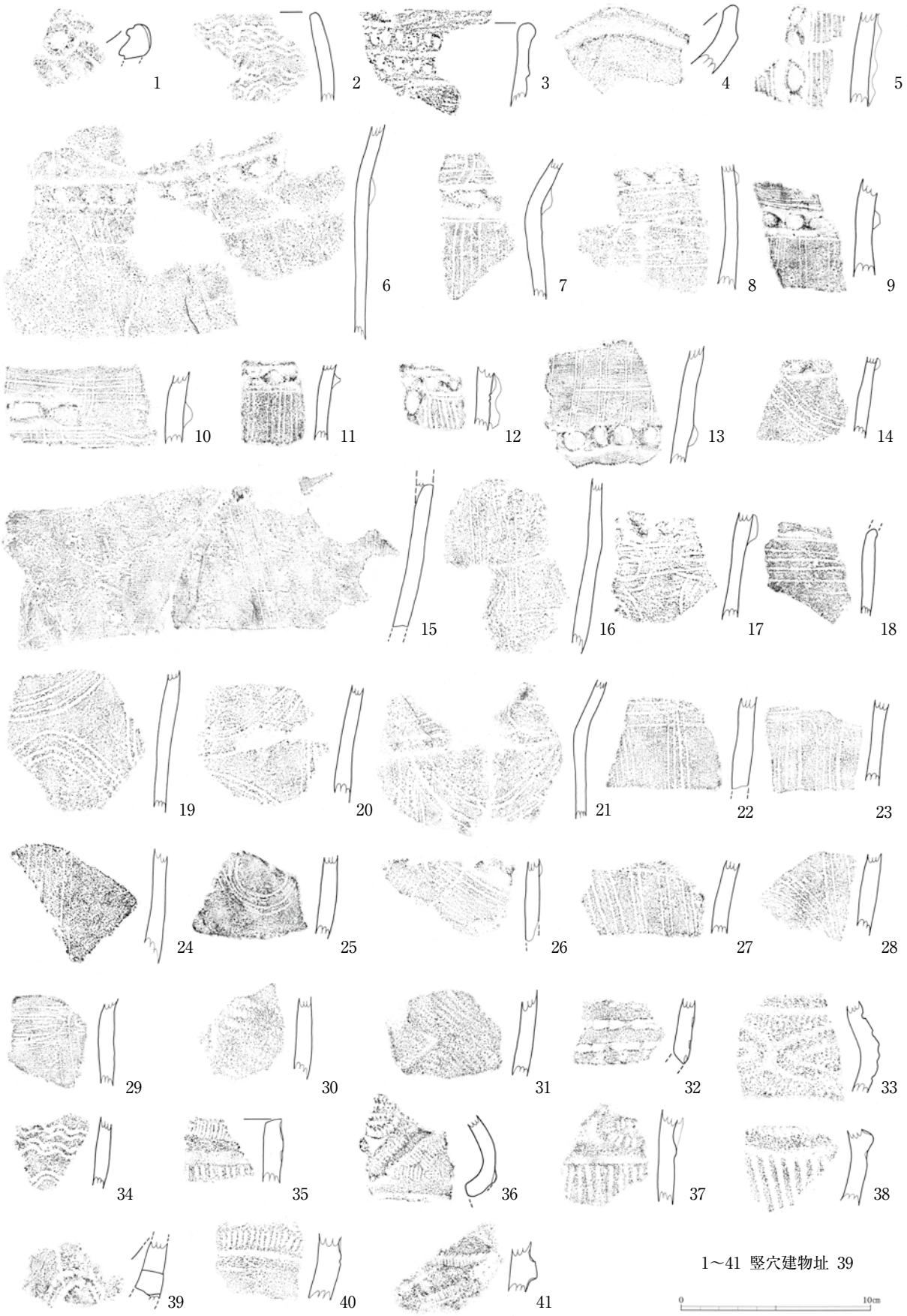
第２図　下の原Ａ遺跡出土土器（2）



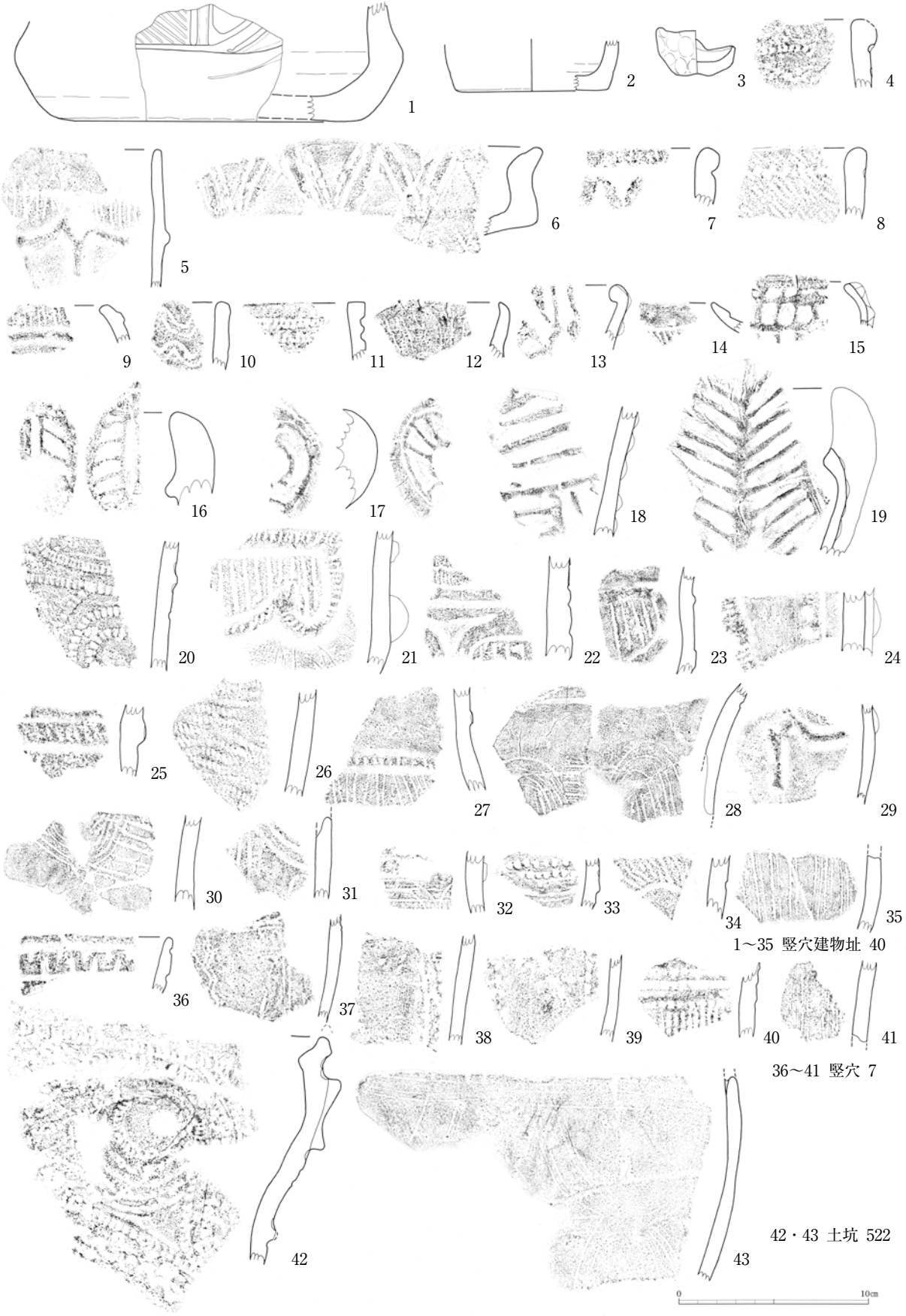
第３図　下の原Ａ遺跡出土土器（3）

1～7 竪穴建物址 39

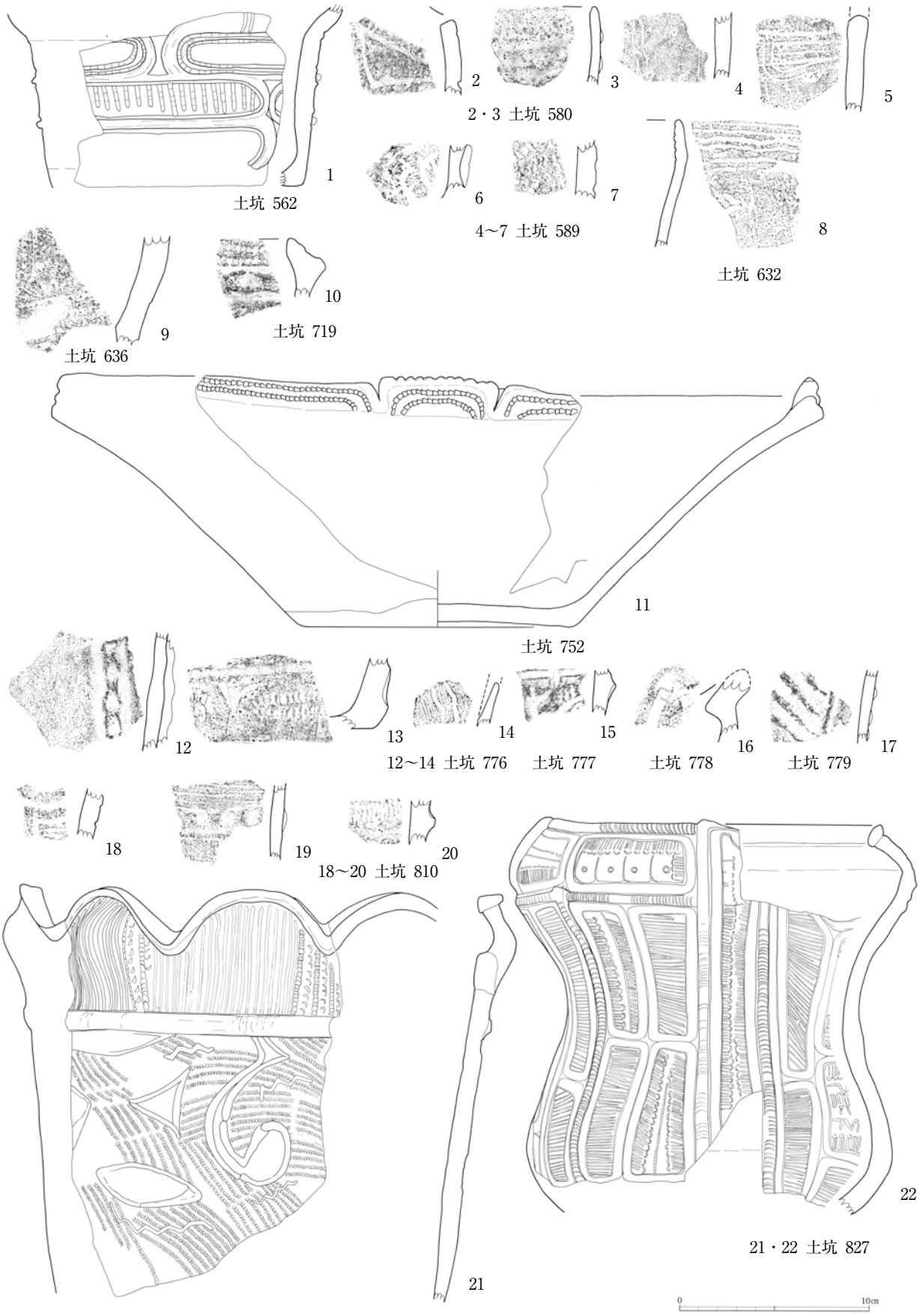
第４図　下の原Ａ遺跡出土土器（4）



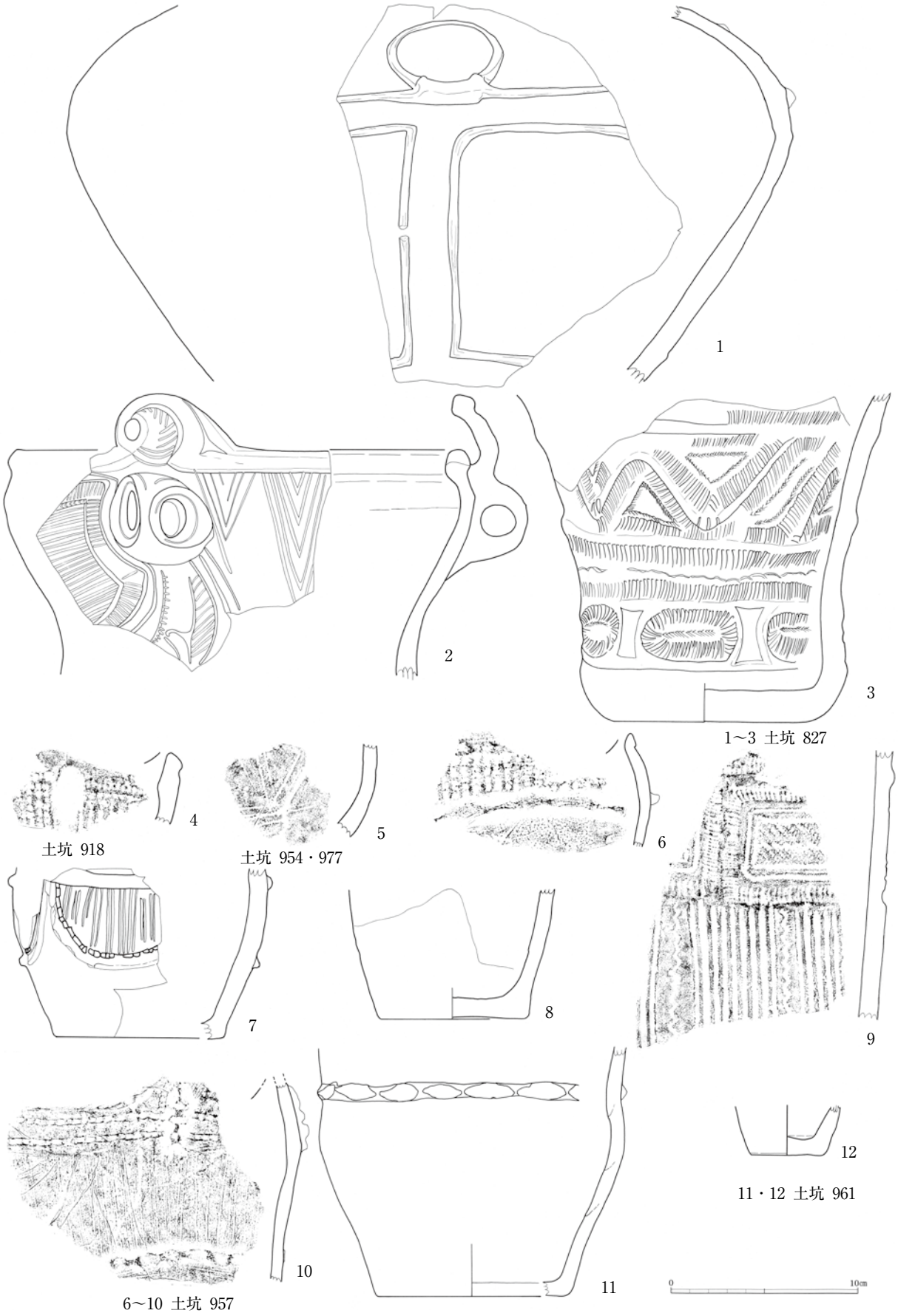
第５図　下の原Ａ遺跡出土土器（5）



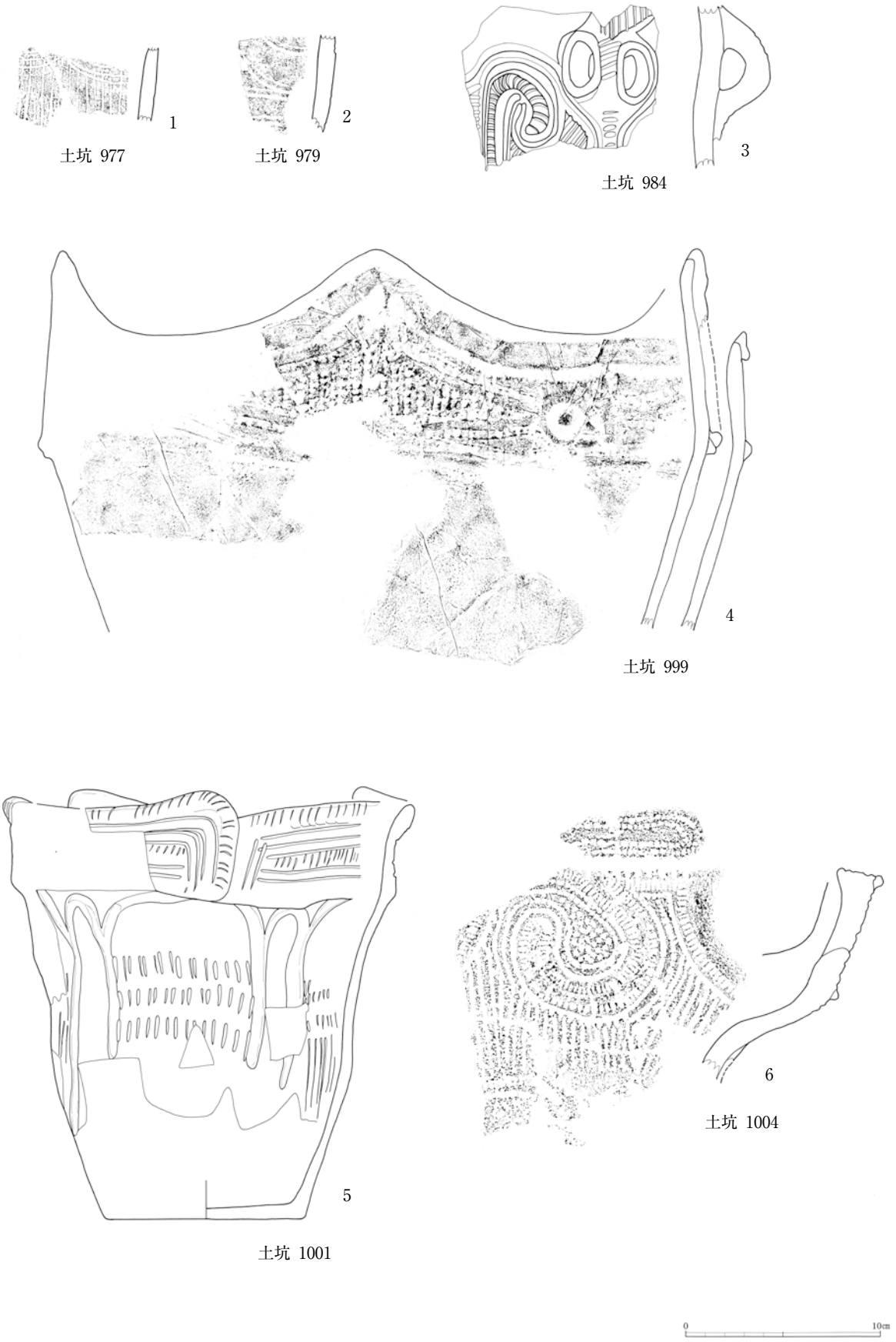
第６図　下の原Ａ遺跡出土土器（6）



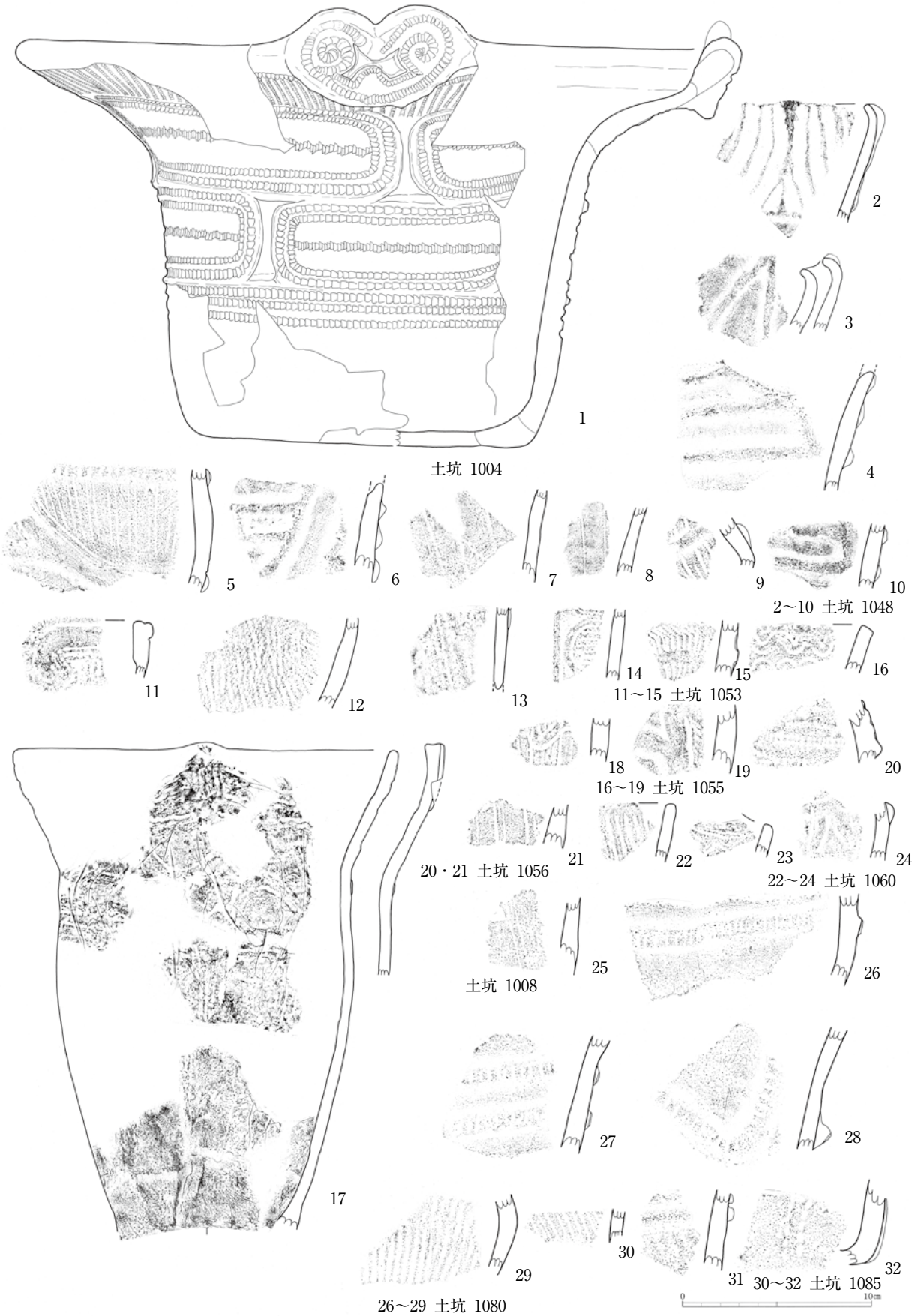
第７図　下の原Ａ遺跡出土土器（7）



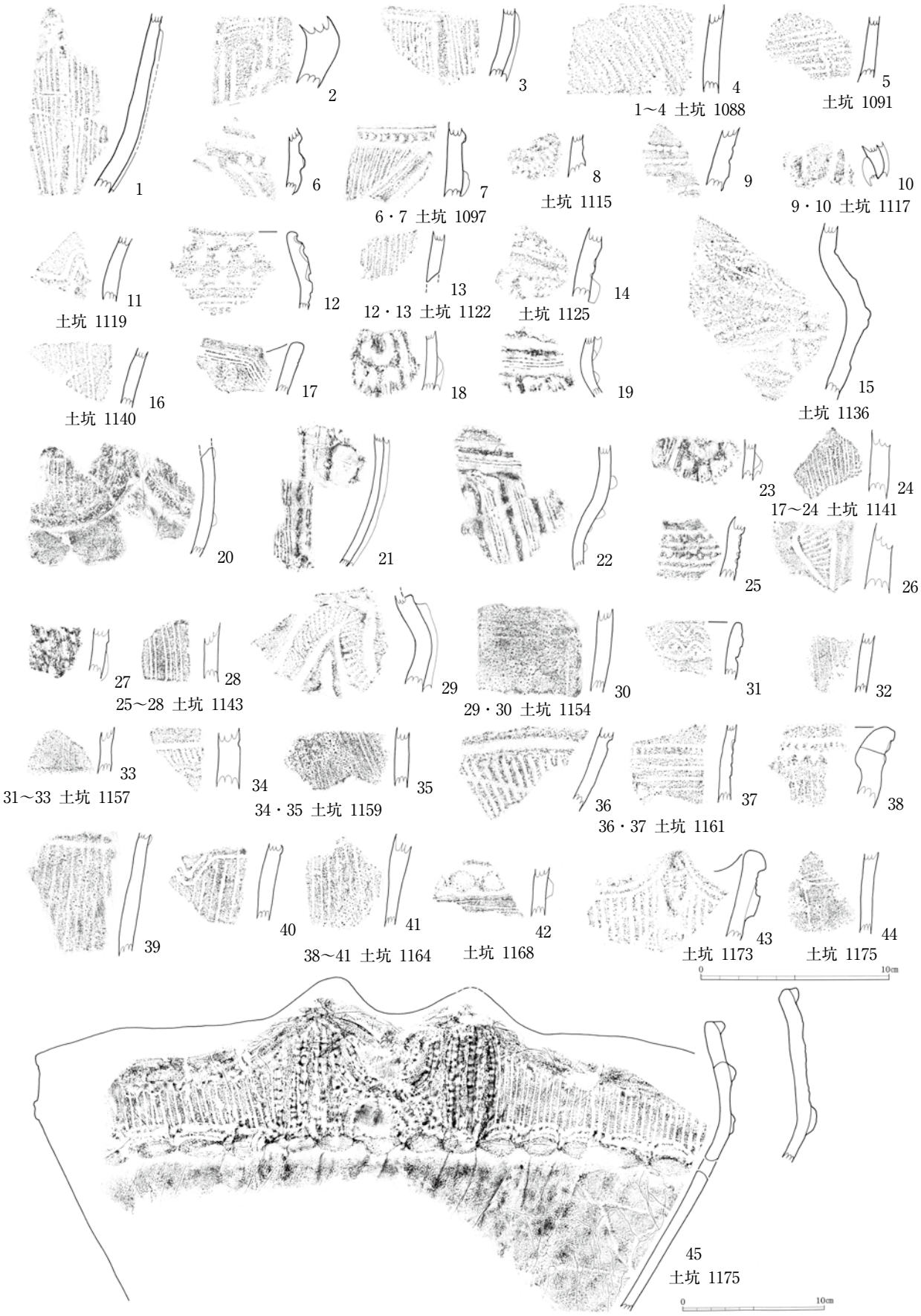
第８図　下の原Ａ遺跡出土土器（8）



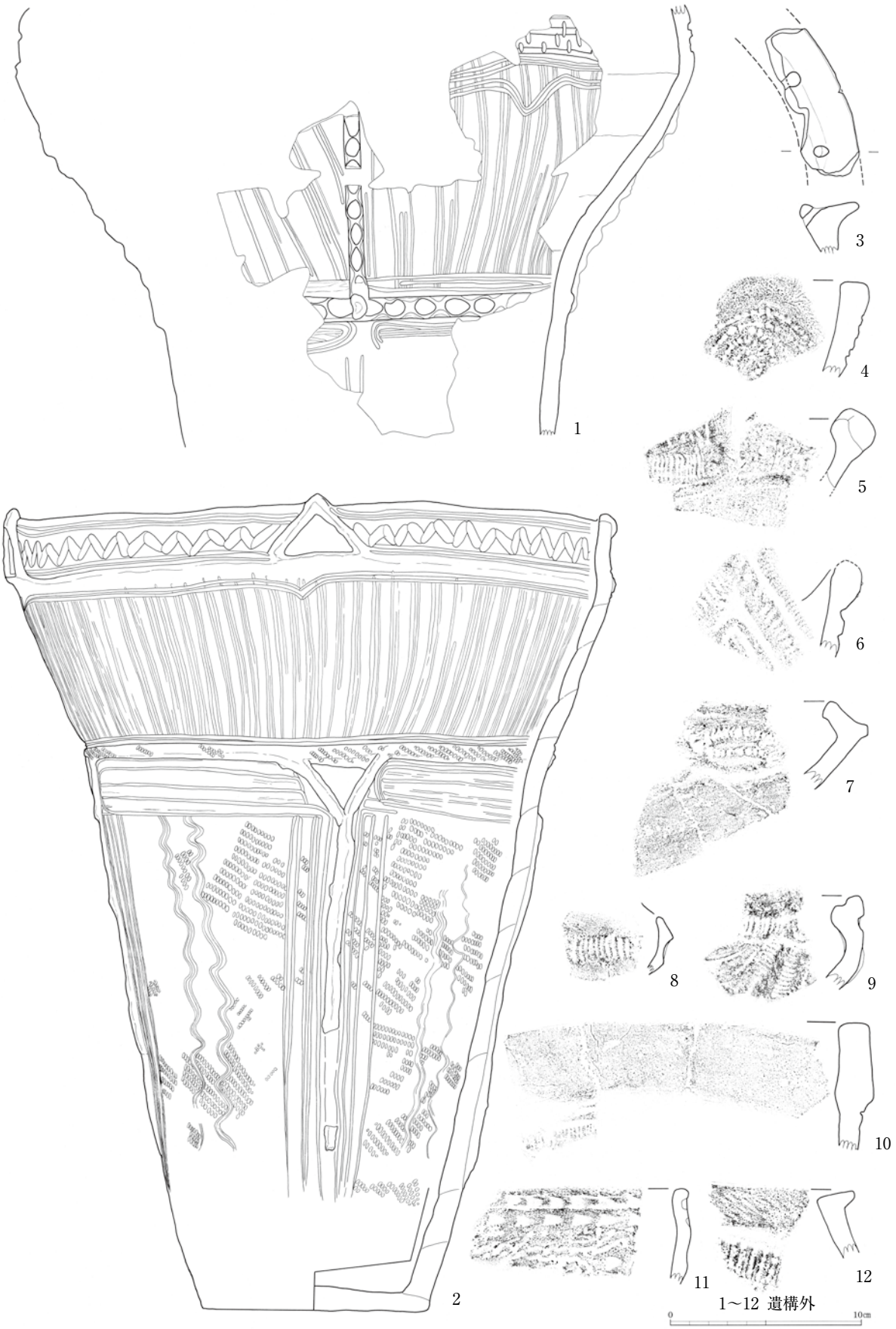
第９図　下の原Ａ遺跡出土土器（9）



第10図　下の原Ａ遺跡出土土器（10）

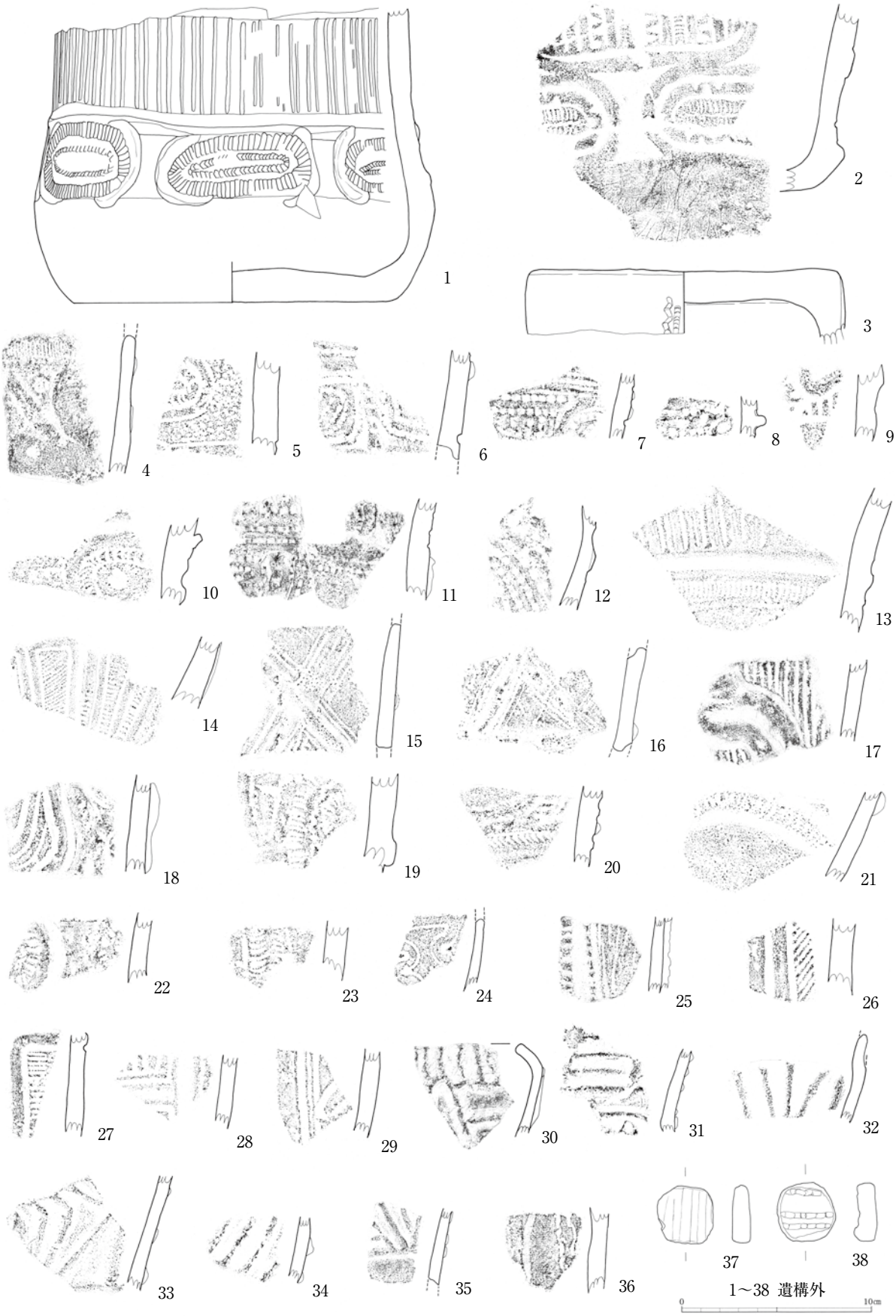


第11図　下の原Ａ遺跡出土土器（11）

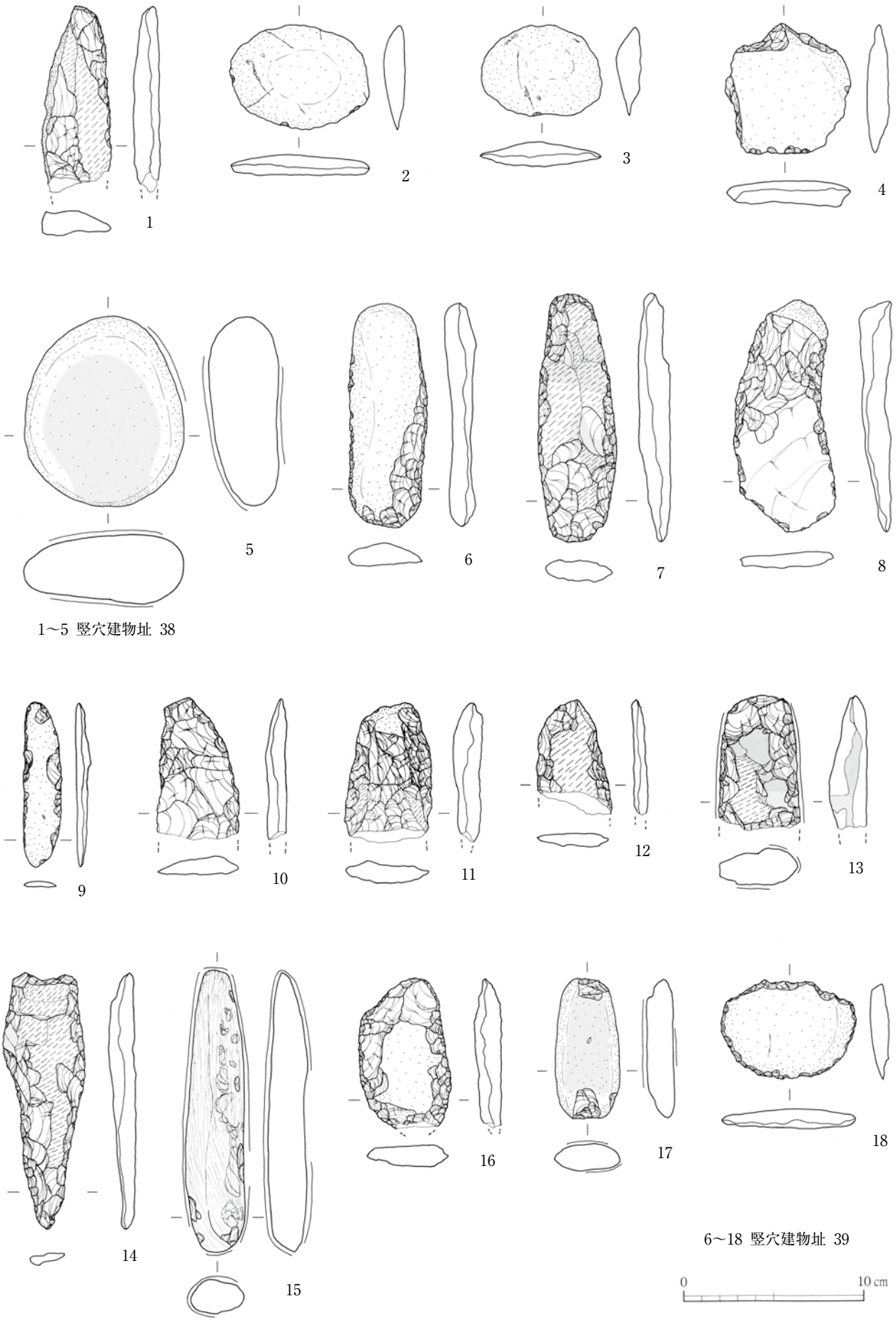


第12図　下の原Ａ遺跡出土土器（12）

第13図　下の原Ａ遺跡出土土器（13）

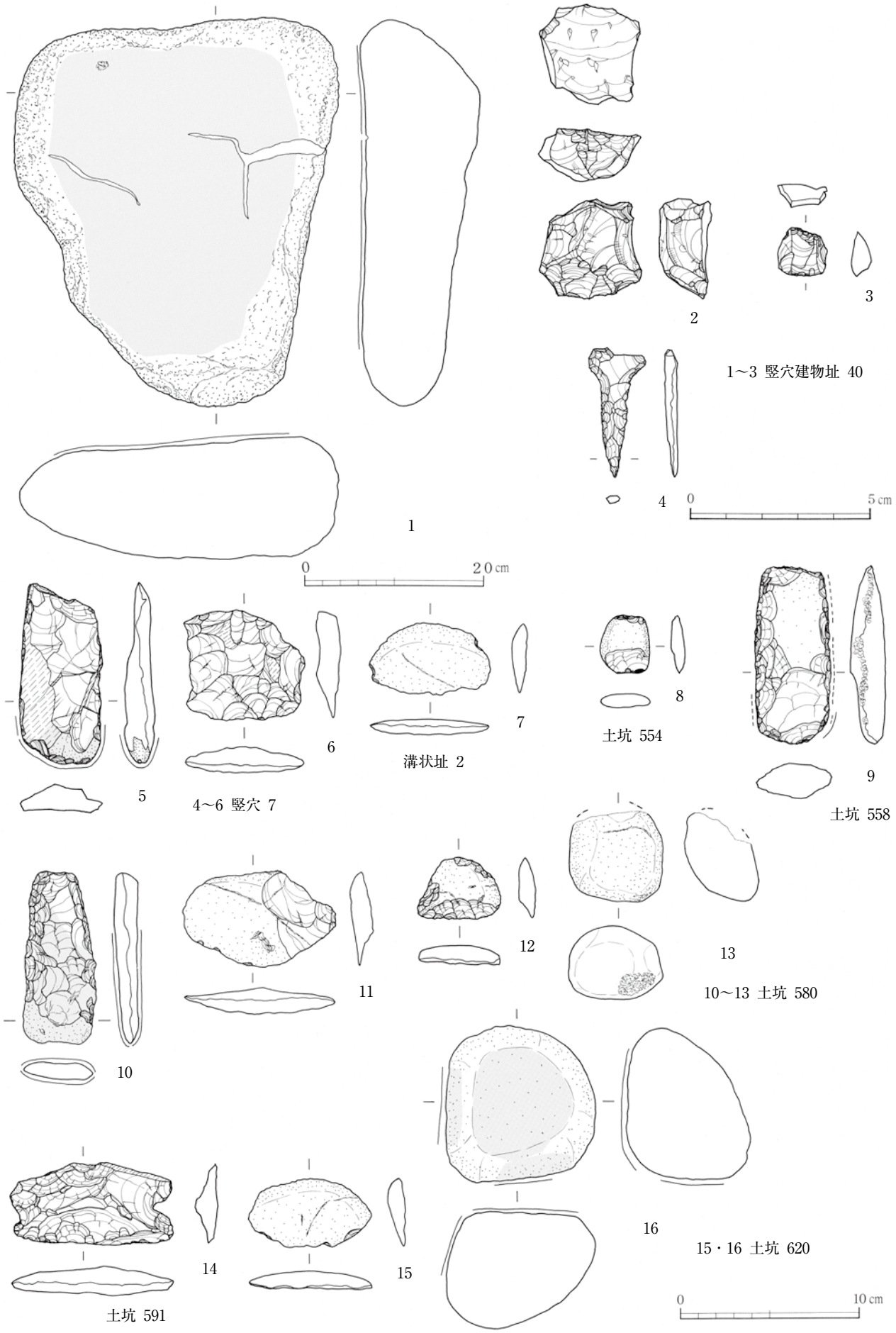


第14図　下の原Ａ遺跡出土土器（14）

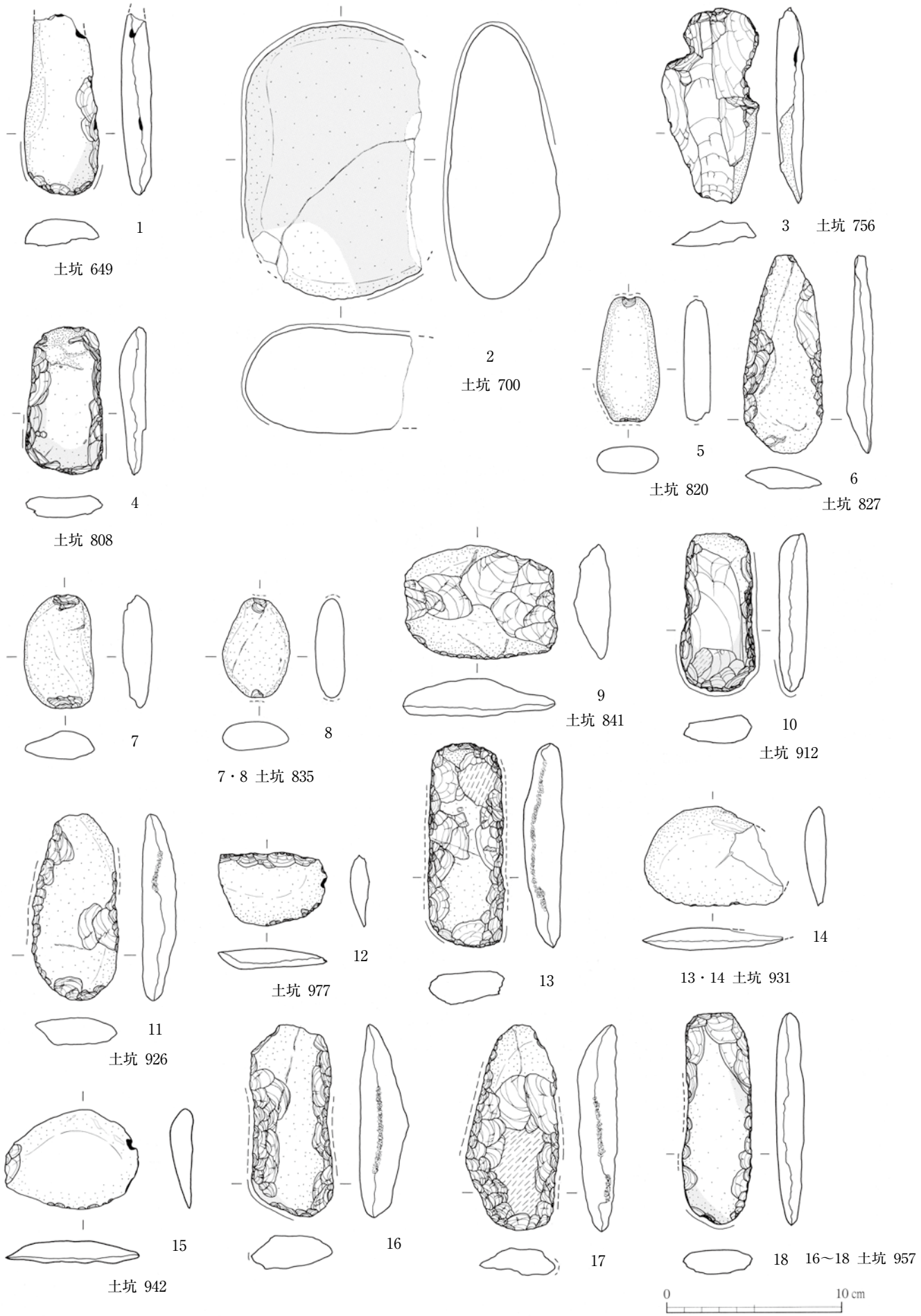


第15図　下の原Ａ遺跡出土石器（1）

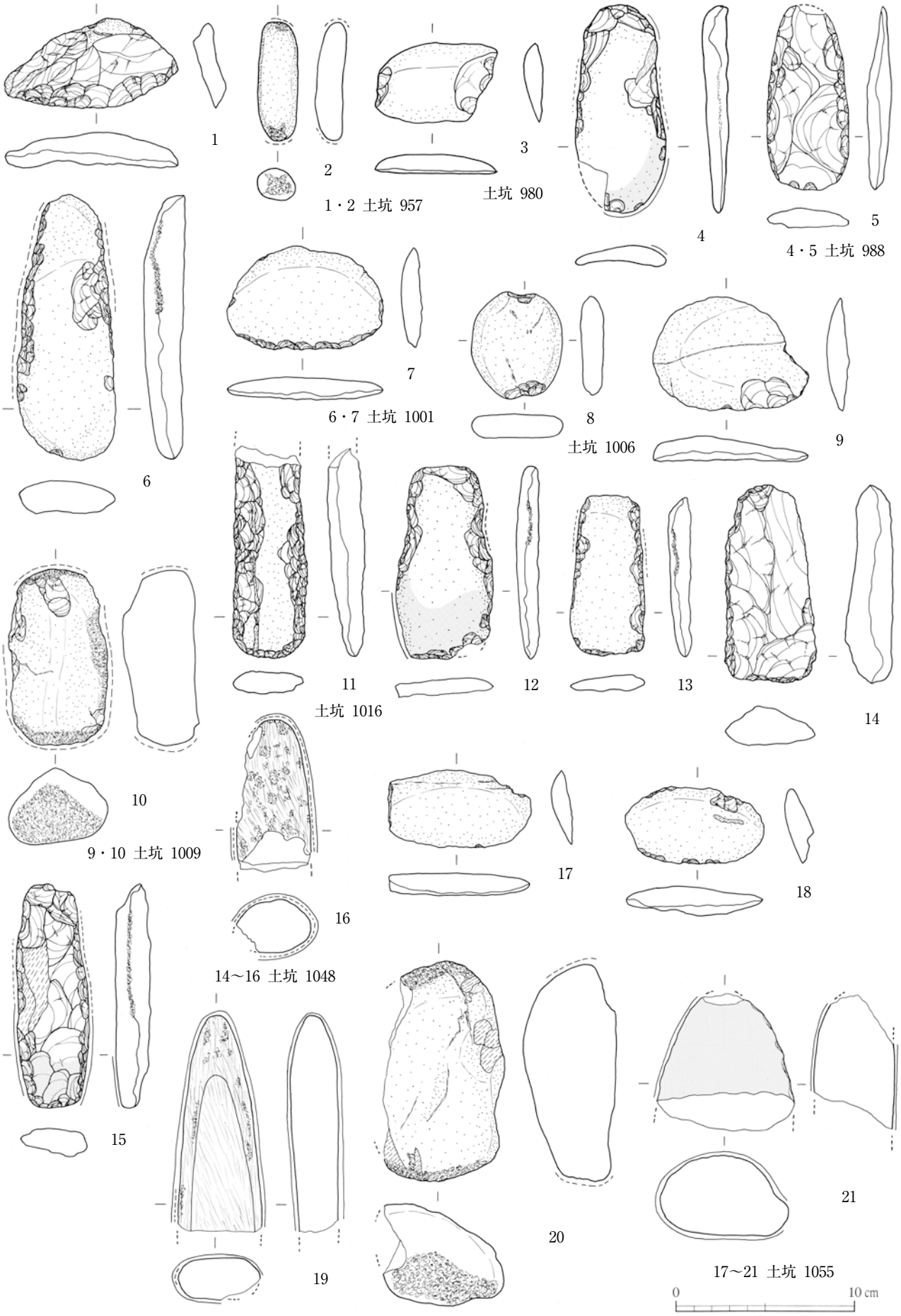
第16図　下の原Ａ遺跡出土石器（2）



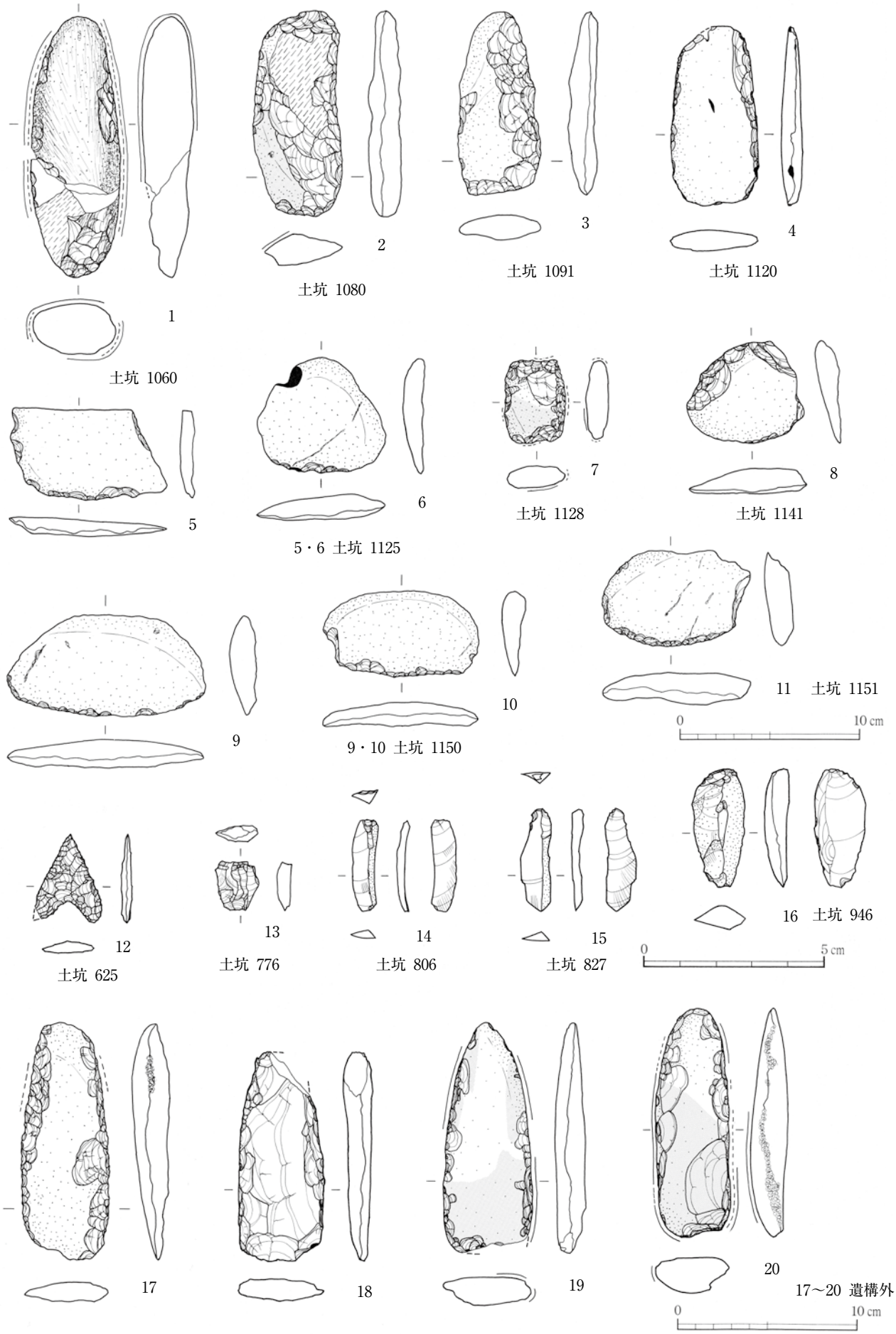
第17図　下の原Ａ遺跡出土石器（3）



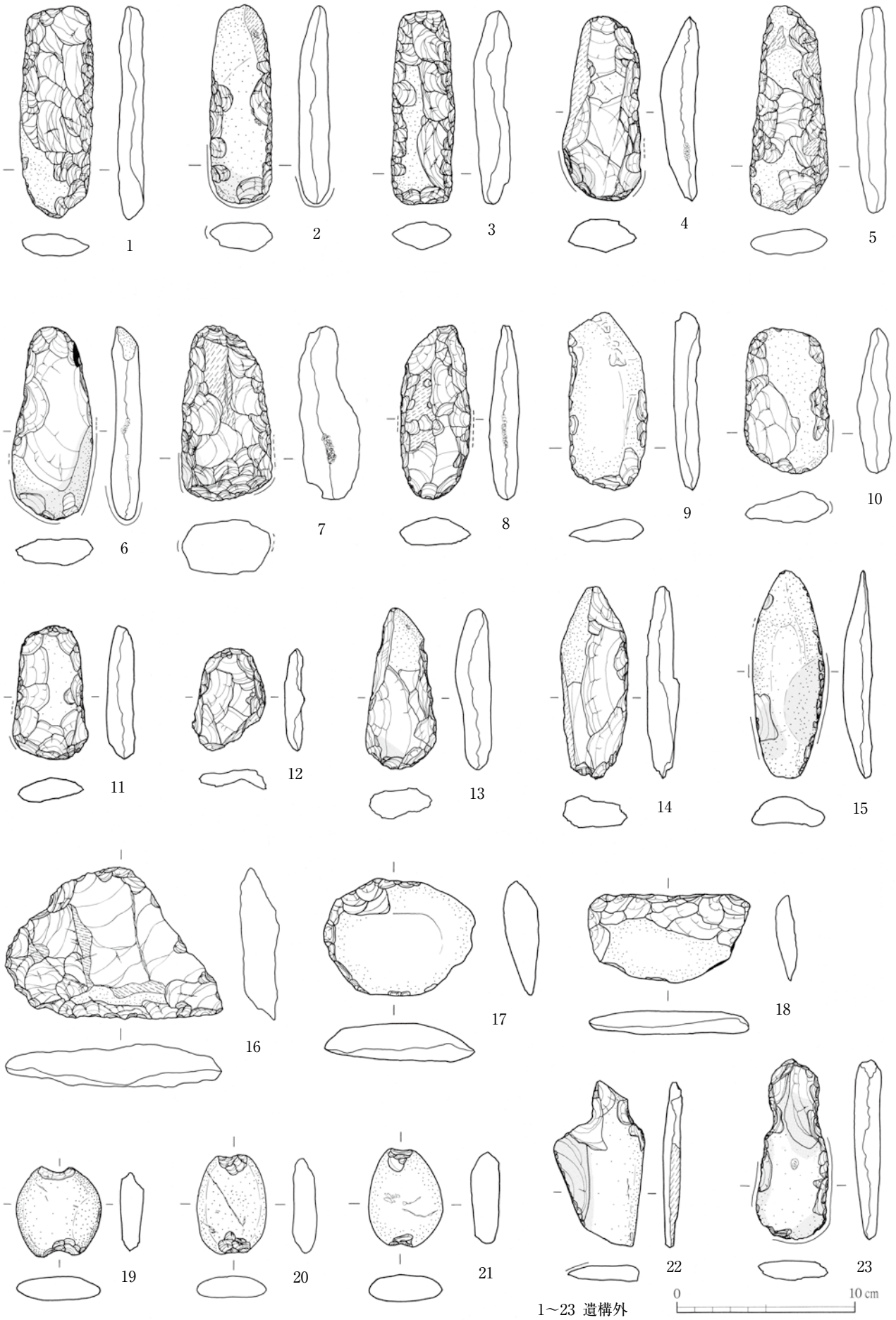
第18図　下の原Ａ遺跡出土石器（4）



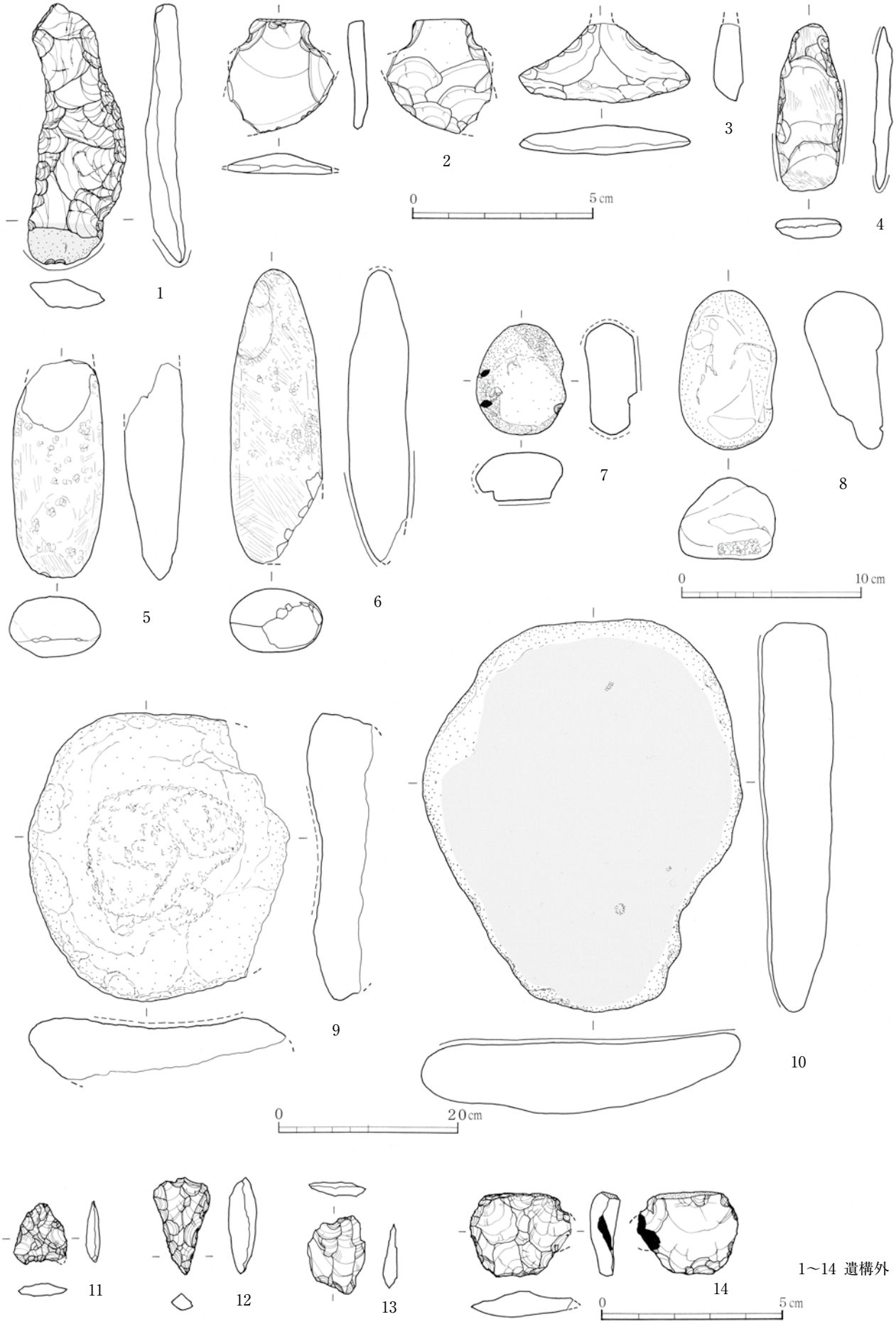
第19図　下の原Ａ遺跡出土石器（5）



第20図　下の原Ａ遺跡出土石器（6）



第21図　下の原Ａ遺跡出土石器（7）



第22図　下の原Ａ遺跡出土石器（8）

遺構全景（南東から）

遺構全景（南西から）

調査区全景

図版２

竪穴建物址38

同　炉

同遺物出土状況

竪穴建物址38
遺物出土状況（P4脇）

竪穴建物址39

同　炉

図版４

竪穴建物址39遺物出土状況

同P7遺物出土状況

同貯蔵穴

竪穴建物址40

同

同　炉

図版６

竪穴建物址40炉

土坑625 ～ 631周辺

土坑799周辺

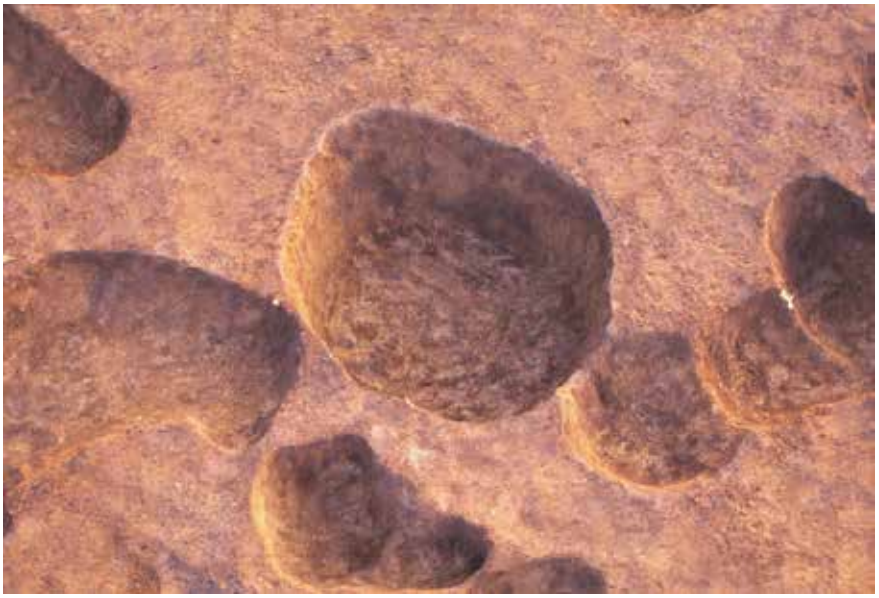
土坑827遺物出土状況

土坑835 ～ 844周辺

土坑971他

図版８

土坑1001



土坑1097

1トレンチ（北西→南東）

3トレンチ（北西→南東）

重機作業風景

発掘作業風景

図版 10

発掘作業風景

同　上

全体清掃

竪穴建物址38

図版 12

竪穴建物址39

竪穴建物址39

竪穴建物址39

竪穴建物址40

土坑752

土坑827

土坑1001

土坑961

土坑1004

土坑1004（右下）・遺構外（左上）

土坑1177

土坑1055

図版 18

遺構外

報告書抄録

ふりがな	しものはらAいせき
書　　名	下の原Ａ遺跡
副 書 名	株式会社中村の事務所及び倉庫建設に先立つ埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書
巻　　次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	馬場保之
編集機関	長野県飯田市教育委員会
所 在 地	〒395-8501　長野県飯田市大久保町2534番地　TEL. 0265-22-4511
発行年月日	令和4年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
下の原（しもはら）Ａ遺跡（いせき）	飯田市（いいだし） 下殿岡（しもとのおか） 454-10	20205	287	35° 29′ 32″	137° 48′ 59″	1991.10.5 ～ 1992.1.10	1769㎡	民間開発

所収遺跡名	種　別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
下の原Ａ 遺跡	集落跡	縄文時代 中期	竪穴建物址 土坑	縄文時代 土器・石器	・縄文時代中期中葉から中葉末の集落の一端を調査した

要　約

竪穴建物址３棟、竪穴３基、土坑622基、溝址１条、溝状址３条等が調査され、大半の遺構が縄文時代中期中葉から中葉末に位置づくものである。

これまで周辺で行われてきた発掘調査で指摘された該期集落の分布状況については、新たな所見を得た。東方段丘最先端部一帯に分布するとの推定がなされた中期中葉の集落は、今次調査地点南側では当該期の遺構・遺物は確認されていないことから、今次調査で把握された密集する土坑群を別にすれば、竪穴建物址の疎らな分布状況からも大規模な集落の存在は想定しがたい状況である。

多数把握された土坑群については、居住域外側の土地利用を含めた集落構造の全容を把握する上で、これらの位置づけが重要といえる。ほとんどの土坑の性格は不明と言わざるを得ないが、ほぼ完形の土器を数個体伴うものもあり、これらは墓としての様相が強いともいえ、土壙墓と考えられるものがある。市内の縄文時代中期の墓域が調査された城陸遺跡や富の平遺跡で把握された墓域の様相に比し、今次調査で把握された土坑群は、規模・形態がまちまちであり、集落構造を異にする可能性が高い。

今次調査で主体として出土した中期中葉から中葉末にかけての遺物は、平出ⅢＡ式土器と下伊那型櫛形文土器からなる在地系、狢沢式～井戸尻式（勝坂系土器）の中部高地・関東系、北裏Ｃ式・山田平式等東海系、船元式の関西系等である。他地域との交流の実態については、なお明らかではない。

下の原A遺跡

株式会社中村の事務所及び倉庫建設に
先立つ埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書

2022年3月　発行

編集・発行　長野県飯田市大久保町2534番地
飯田市教育委員会

印　　刷　杉本印刷株式会社